

令和6年度

教育に関する事務の管理及び
執行状況の点検及び評価報告書

令和7年9月

加賀市教育委員会

■ はじめに

加賀市教育委員会では、国の方針である「個別最適な学び」や「協働的な学び」を全小中学校で進めるため、令和5年1月に、子どもの今も未来も幸せにwell-beingを実現する学びの改革として「学校教育ビジョン」を策定しました。また、令和6年3月には、市の教育振興に関する指針として「加賀市教育大綱」に位置付けております。

一方、国においても、令和5年6月に「第4期教育振興基本計画」が閣議決定されており、「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を掲げ教育政策の方針などが示されています。

本市といたしましては、こうした教育を取り巻く社会環境の変化や新たな教育政策に対応した、より良い教育施策の充実を図っているところです。

現在、加賀市教育委員会は、教育庶務課、学校指導課、生涯学習課、文化課、スポーツ課の5課、また、関係部署との協働体制のもと、次代を担う人材育成に向けて心の教育や学校教育の充実を図り、家庭・学校・地域社会が一体となった子どもたちの健全育成に努めるため、様々な施策を実施しております。

本報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、令和6年度における加賀市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その報告書として公表するものであります。

これにより、本市の教育行政の取組みをより多くの皆様に知っていただき、ご理解、ご協力とともに、ご意見を賜わることにつながれば誠に幸いです。

なお、点検及び評価にあたりましては、法第26条第2項の規定に基づいた学識経験者の知見を、金沢学院大学 スポーツ科学部 スポーツ科学科 米澤利明 特任教授からいただいております。

令和7年9月

加賀市教育委員会

目 次

第2次加賀市総合計画基本構想における教育施策の位置づけ・・・・・・・・・・	1
「学校教育ビジョン」（加賀市教育大綱に位置づけ）	
教育委員会施策等の実施概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
令和6年度科目別決算（歳出）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
法第26条第2項に基づく学識経験者の知見・・・・・・・・・・・・・・・・	6
点検評価一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
各施策の点検評価調書	
1 事務事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	12
2 公の施設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
教育委員会の会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	108
教育委員会の主な活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	112

第2次加賀市総合計画 基本構想における教育施策の位置づけ

平成28年12月に策定した第2次加賀市総合計画 基本構想では、教育施策を次のように位置づけている。

第2次加賀市総合計画 基本構想

将来都市像

分野別施策の体系

自然・歴史・伝統が息づく、住んでいたい、来てみたいまち

地域の強みを活かし、ともに進める人まちづくり

基本方針	1 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり ▶ 家庭教育支援の充実と環境の構築 ▶ 魅力ある学校教育内容の充実 ▶ 時代に即した、安全・安心の学習環境づくり ▶ スポーツ活動の振興 ▶ 生涯学習の振興
基本方針	2 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり ▶ (歴史・文化を積極的に活用した) 戦略的な観光振興策の推進 ▶ 伝統文化の継承・文化活動の充実
基本方針	3 ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり ▶ ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり ▶ 地元就職の促進とPRの推進
基本方針	4 いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり
基本方針	5 みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり ▶ 市民交流・まちづくり活動の活性化 ▶ 若者などの移住・定住の促進 ▶ ボランティア活動の推進
基本方針	6 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり ▶ 良好な歴史的景観の保全(重要伝統的建造物群保存地区、藩政時代がしのばれる大聖寺のまちなみ等)
基本方針	7 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

加賀市教育大綱に位置づけ

加賀市学校教育ビジョン

**BE
THE
PLAYER**

自分で考え
動く 生み出す
そして社会を変える

- 01 学びを変えるプロジェクト
- 02 誰一人取り残さないプロジェクト
- 03 未来は自分で創るプロジェクト
- 04 地域と一緒にプロジェクト

■ 教育委員会施策等の実施概要

令和6年度の加賀市教育委員会施策の実施概要は次のとおりです。

「安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり」に関することでは、子育て支援・サービスの充実として、子どもたちが放課後や土曜日等に安心・安全に過ごし、多様な体験・活動を行う場を提供するため、年間を通して、市内9カ所にて「放課後子ども教室」を実施しました。

魅力ある学校教育内容の充実では、国の方向性に沿った「そろえる教育」から「伸ばす教育へ」の転換を図るため、令和5年1月に公表しました「学校教育ビジョン」に位置付ける4つのプロジェクトを計画に基づき実施しました。

「学びを変えるプロジェクト」では、令和5年度から市内全小中学校・全教職員で積み上げてきた学びの改革の実践をベースに、組織の継続性の担保を見据えた仕組みづくりを行ったほか、教職員の働き方改革を推進するため、書写担当講師の配置による教職員の持ち授業時間数の軽減、学校の草刈り業務や校内清掃などを一部外部委託するなど、教職員が子どもたちとじっくり向き合い、寄り添えるような教育環境の整備を図りました。また、全国各地からの視察を全小中学校で分散して受け入れ、外部からの評価や意見をもらいながら、着実に質の向上も図りました。さらに、学びの空間デザイン事業として多目的教室などを5校で改修し、子どもの学習環境を改善しました。

「誰一人取り残さないプロジェクト」では、子どもの多様な居場所を教室以外にも拡張していくという考え方を全面に出した「不登校支援プラン」を策定し、子どもたちの現状分析を行いながら、不登校の状況に応じた支援策を拡充しました。具体的には、学校内での教室以外の居場所としてスクールサポートルームを3校から15校に拡充、1人1台PC端末から直接相談できるチャット相談「ブリッジ」の継続導入、児童センターやメタバース空間による子どもの居場所づくりなどを行った結果、全国的にも増加傾向となっている不登校児童生徒数について、増加に歯止めがかかりました。

「未来は自分で創るプロジェクト」では、小中一貫型に全面リニューアルした「KAGA STEAM プログラム」を始動し、小学校1年生からプログラミングに触れ、小学校6年生ではテクノロジーを使った年間30時間程度の長期プロジェクトに挑戦し、技術力を上げた中学2年生では課題解決型の探究プログラムに年間40時間程度かけて挑むなど、他の地域にはない特色あるプログラムを実現しました。さらに、「KAGA STEAM Presentation」にて、STEAM 実施校代表が集まり、1年の集大成

として、STEAM 学習での実践を発表する機会を創出しました。

「地域と一緒にプロジェクト」では、生徒の選択肢拡大、専門的な指導の充実のため、令和5年度に策定した「学校部活動改革プラン」に基づき、土日の地域クラブの開設を進めました。また、学校教育ビジョンの進捗状況の報告や子どもの学びを体験できる市民・保護者向けの「Be THE PLAYER FES」を開催し、これからの加賀市の教育について一緒に考える機会を創出しました。

安全・安心の学習環境づくりでは、令和4年度から実施していた東和中学校改築・改修事業について、駐輪場等の外構工事を終え、一連する全ての工事が完了しました。また、庄小学校及び山中小学校の特別教室の冷房化、小中学校校舎のトイレ洋式化及び施設照明のLED化を行い、教育環境の充実を図りました。

スポーツ活動の振興では、「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024」の開催に加え、今年度から「加賀温泉郷ウオーク 2024」を開催し、市民の健康増進を図りました。また、スポーツ施設の活用と整備として、屋内プールをサウディング調査の結果を踏まえ、加賀温泉駅南側へ建設することとし、公募型プロポーザルにより新プールを整備することとしました。

生涯学習の振興では、「加賀市家庭教育支援推進計画」に基づき、子どもが将来親になるために必要な知識の学びとして、乳幼児と触れ合う講座を市内小学校9校で実施したほか、市民文化講演会を加賀市医師会と共催して実施しました。講演会では、脳科学者であり作家としても著名な茂木健一郎氏を迎え、「人工知能 AI が変える近未来の社会」と題してお話いただきました。また、図書館では「加賀市市民読書活動推進基本計画」に基づき、全ての市民を対象とした読書を促すための講座やイベントを行ったほか、郷土資料や聖藩文庫のデジタル化を進め、公開可能なものは順次公開し、郷土の歴史や文化を後世に伝えるとともに利用者の利便性の向上を図りました。

「観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり」に関することでは、中谷宇吉郎雪の科学館が開館 30 周年を迎えたことを記念し、科学映画の上映会や 30 年のあゆみを紹介した特別展などの特別企画事業を行いました。また、加賀依緑園のオープンに合わせ、記念式典を実施しました。

「能のまち加賀市」の発信と推進のため、能のまち推進協議会において有識者との意見交換や情報共有を行ったほか、能楽を楽しむきっかけ作りとして、大人向けの謡と仕舞教室、小学校での能の実演やワークショップを行いました。加えて、「すゑひろがりずと楽しむ狂言の世界」を開催し、伝統芸能を身近に感じてもらう機会を設けました。さらに、次世代の育成を目的に、加賀市文化会館を会場に市内の高校生を招き、(公財)石川県音楽文化振興事業団との共催で、野村萬斎氏が出演す

る「山月記・名人伝」の公演を行いました。

「ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり」に関することでは、「コンピュータクラブハウス加賀」にて、デジタルスキルの更なる底上げを図ることを目的に、子どもたちの興味関心に合わせた各種ワークショップを多数実施し、実践の場として、十万石まつりでプロジェクションマッピングを披露するなど、様々なテクノロジー・アートに触れる機会と、達成感・成就感を得られる場を提供しました。

「豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり」に関することでは、重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立・加賀東谷の両地区において、建造物の保存修理を進め、伝統的な景観の維持を図りました。

城下町大聖寺においては、国の「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づく歴史的風致形成建造物である市指定名勝「江沼神社庭園」について、庭園整備事業の基本計画となる保存活用計画に則り、整備工事の実施設計に着手しました。

また、市指定無形文化財「お松囃子」の保存継承をはじめ、指定文化財の修理や保護、管理にかかる経費の補助を行いました。

公の施設に関することでは、九谷焼美術館において、「特別展 開窯 200 年記念 吉田屋窯」を開催し、市内外で高い評価を得るとともに、九谷焼発祥の地であることを広く発信しました。さらに、東京を皮切りに「全国巡回展 飯田屋八郎右衛門の世界展」を開催しました。令和 6 年能登半島地震で被害を受けた深田久弥山の文化館及び重要文化財「江沼神社長流亭」の修理を行ったほか、中谷宇吉郎雪の科学館では、建物周囲や前庭の地盤沈下による通路、埋設配管への被害に加え、周辺の公園にも被害があったため、一体的に復旧するための長期的な整備作業を進めることとしました。

スポーツ施設については、様々なスポーツを通じた市民の健康づくりとサービスの向上のため、施設の適正管理に努めました。

「図書館」については、中央図書館及び山中図書館における窓口等業務など運営業務の一部を委託し、民間事業者が有する専門的な知識などを導入することで、窓口業務での図書館サービスの向上、定期的なおはなし会の開催などの利用促進を図りました。

■ 令和6年度 科目別決算（歳出）

10款 教育費

（単位：千円、％） △は減を示す

所属名	款項目	科目名	当初 予算額 (A)	補正 予算額 (B)	前年度 繰越額 (C)	流用 増減額 (D)	予算現額 (E) (A)+(B)+(C)+(D)	支出額 (F)	翌年度 繰越額 (G)	不用額 (H) (E)-(F)+(G)	執行率 (I) [(F)+(G)] / (E)
教育庶務課	10.1.1	教育委員会費	2,801				2,801	2,770		31	98.9
	10.1.2	事務局費	314,800	20,586			335,386	316,357		19,029	94.3
	10.2.1	学校管理費(小学校)	281,518	△ 5,699			275,819	265,736		10,083	96.3
	10.2.2	教育振興費(小学校)	305,231	33,011			338,242	312,086		26,156	92.3
	10.2.3	学校建設費(小学校)	137,985	319,259	116,647		573,891	219,906	341,630	12,355	97.8
	10.3.1	学校管理費(中学校)	147,498	2,073			149,571	146,456		3,115	97.9
	10.3.2	教育振興費(中学校)	149,840	32,754			182,594	168,040		14,554	92.0
	10.3.3	学校建設費(中学校)	88,435	92,615	155,054		336,104	221,525	106,315	8,264	97.5
	10.6.1	学校保健費	20,497				20,497	19,809		688	96.6
	10.6.2	学校給食費	554,363	11,791			566,154	547,627	1,671	16,856	97.0
	10.6.3	学校体育振興費	17,300				17,300	12,652		4,648	73.1
	11.3.1	文教施設災害復旧費	0	14,100	8,250		22,350	21,380		970	95.7
	13.2.8	三森良二郎奨学基金費	50			5	55	55		0	100.0
	13.2.19	学校施設整備基金費	5			△ 4	1	0		1	0.0
	13.2.20	本川弘一科学奨励基金費	5			△ 4	1	1		0	100.0
学校指導課	10.1.2	事務局費	50	5,400			5,450	4,979		471	91.4
	10.1.3	教育指導費	253,101	8,020			261,121	230,761		30,360	88.4
	10.6.1	学校保健費	2,800				2,800	2,336		464	83.4
生涯学習課	10.5.1	生涯学習総務費	220,544	△ 18,052			202,492	198,085		4,407	97.8
	10.5.2	生涯学習振興費	33,735	2,030			35,765	33,705		2,060	94.2
	10.5.3	教育文化施設費	124,358	5,127			129,485	128,399		1,086	99.2
	10.5.5	青少年対策費	0	539			539	82		457	15.2
文化課	10.5.2	生涯学習振興費	28,582				28,582	10,718	11,250	6,614	76.9
	10.5.3	教育文化施設費	256,397	38,364			294,761	284,078	2,800	7,883	97.3
	10.5.4	文化財保護費	51,844	7,462			59,306	50,325	6,000	2,981	95.0
スポーツ課	10.6.4	社会体育総務費	1,875				1,875	1,591		284	84.9
	10.6.5	社会体育振興費	23,295	5,315			28,610	27,717		893	96.9
	10.6.6	体育施設費	367,981	517	17,710		390,798	376,507		14,291	96.3
子育て支援課	10.4.1	幼稚園費	1,024				1,024	0		1,024	0.0
合 計			3,385,914	575,212	297,661	△ 3	4,263,374	3,603,683	469,666	190,025	95.5

11款 災害復旧費

（単位：千円、％） △は減を示す

所属名	款項目	科目名	当初 予算額 (A)	補正 予算額 (B)	前年度 繰越額 (C)	流用 増減額 (D)	予算現額 (E) (A)+(B)+(C)+(D)	支出額 (F)	翌年度 繰越額 (G)	不用額 (H) (E)-(F)+(G)	執行率 (I) [(F)+(G)] / (E)
教育庶務課	11.3.1	文教施設災害復旧費	0	14,100	8,250		22,350	21,380		970	95.7
文化課	11.3.1	文教施設災害復旧費	0	74,400		△ 60	74,340	7,458	66,800	82	99.9
スポーツ課	11.3.1	文教施設災害復旧費	0	2,800	0	60	2,860	2,860		0	100.0

令和6年度 加賀市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について

加賀市教育委員会は、令和5年1月、新たに加賀市教育大綱として位置づいた「学校教育ビジョン」を策定し、「BE THE PLAYER 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」というスローガンを掲げて、「加賀市の公立全小・中学校の教育を抜本的に変える」という未来に向けての教育改革を進められています。これまでの「加賀市の教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価」の報告書については、透明性の高い報告書であると同時に、加賀市教育委員会の情報公開に対する真摯な姿勢と省察的実行力の確かさを確認することのできる優れたものでしたが、本報告書は、この「子どもの『今』も『未来』も幸せに well-being を実現する学びの改革」を踏まえて、「第2次加賀市総合計画基本構想」を推進するための教育施策の実施状況及び評価と今後の方向性等がより分かりやすく、より理解しやすいものになっています。本報告書が高く評価できる優れた点について、主なものを3点挙げると、

- 1、教育委員会の各施策がそれぞれ「第2次加賀市総合計画基本構想」にしっかり位置付けられ、分野ごとに各施策の点検評価がまとめられていること。これにより、各施策の目的やねらいがより一層明確になるとともに、教育分野以外の施策を含めた計画全体との関連も把握しやすいようになっています。
- 2、点検及び評価が「事務事業」と「公の施設」の2つに分けられていること。「事務事業」と「公の施設」を分けて点検評価したことで、それぞれの評価規準をより明確にすることができ、それぞれの体系内での効果の比較等がより一層可能になっています。
- 3、「点検及び評価」のシートが教育改革の趣旨に沿って改善されていること。それにより各事務事業の目的、各公の施設の設置目的がよりはっきりしました。それぞれの成果と決算等のエビデンスによる内部評価の実施に基づいて今後の方向性が示されるというように、より厳正な点検評価の度合いの高い、より信頼性を増したものになっています。

さて、突如として現れ、世界中の国や人々を巻き込んだ新型コロナウイルスの影響がやっとな落ち着きをみせ、令和6年度はお互いの顔全体や表情を見ながらの対面での教育ができるようになりました。しかしながら、コロナ禍ののちも令和6年1月1日の能登半島地震による被害、9月には同じく能登半島で発生した豪雨災害等大きな災害に見舞われました。加賀市の教育においても、災害の影響を受けて様々な教育活動の縮小や地域の文化的行事等の変更を余儀なくされるなど、多くの困難と苦労を乗り越えて、教育改革を進めてきた多大な努力について改めて敬意を表します。今後も教育改革が着実に推進され、加賀市の教育のさらなる発展に着実につながっていくことを期待しつつ、令和6年度の各教育施策それぞれの点検及び評価報告の内容を踏まえて、事務事業、公の施設について総括的に論評します。

まず初めに基本方針1「安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり」に関して、なかでも基本方針1-④（魅力ある学校教育内容の充実）の点検評価報告内容をふまえて論評します。

「学校教育ビジョン」では、「子どもの『今』も『未来』も幸せに well-being を実現する学びの改革」を実現するために、次の4つのプロジェクト（「学びを変えるプロジェクト」「誰一人取り残さないプロジェクト」「未来は自分で創るプロジェクト」「地域と一緒にプロジェクト」）を始動しています。特に「学びを変えるプロジェクト」では、「そろえる」教育から一人一人を「伸ばす」教育へと転換させるための学びの改革に真正面から取り組み、着実に推進されたこと、大変素晴らしいと思います。学びの改革はすなわち授業改革であり、従来から慣れ親しんだ授業スタイルからの大幅な変更が求められ、その変更を可能にするための教職員の授業力・指導力の向上、そして何より意識の改革が大きなカギとなります。これについては、「研修観の転換」を進めつつ加賀市全体の小・中学校教職員の教員研修の充実を図ったことのみならず、新たな教員への伴走支援など、きめ細かな支援に継続的に取り組まれました。今後も、「学校教育ビジョン」の具現化のための小・中学校教職員の授業力・指導力向上と意識改革の確実な実現等に向け、継続的なご支援を期待します。

また、加賀市がこれまでも力を入れてこられた総合的な学習の時間や算数科や理科の授業での系統的プログラミング教育をリニューアルしたこと、地域の課題の解決を目指し探究的に学ぶ小学校1年生からの小中一貫型の「加賀 STEAM プログラム」を策定したことなど、学びの改革に向けて本格的に実施されていることを高く評価したいと思います。さらに、学校部活動を地域に段階的に移行していく「学校部活動改革プラン」の策定は、中学校の学校部活動の問題の解決や教員の「働き方改革」にも関連する極めて先進的な取組と考えられます。全国の注目も集める取り組みの一つとして、成果を大いに期待します。

また、子どもたちの国際感覚を養うため、他国の子どもたちとの触れ合いは重要であり、令和6年度も26名の児童が台湾を訪問しました。今後も現実的には、国際的な紛争や新たな感染症の脅威などの心配もあって、海外に出向いての人と人との対面での交流などは無防備に進めづらい面もあると思いますが、より一層 ICT 支援等を強化し、交流やつながりの継続がなされることを願っています。

次に、公の施設についての点検評価報告内容をふまえて論評させていただきます。石川県九谷焼美術館をはじめ展覧施設では、入館者数の増加に取り組んでおられますが、これらの施設の展示物等は、加賀市ならではの貴重な文化遺産です。入館者数を増やし、加賀市ならではの文化の発信とともに、これらの文化遺産を教育に活かし、未来に伝えていく義務があると思います。加賀市のもつ豊かな文化財の継承発展への支援は、児童生徒による地域理解と地域活性化のための課題解決学習等につなげていくためにも極めて重要なことだと思います。これからも予期せぬ災害に見舞われるリスクもあるかもしれませんが、豊かな文化財と学校の学びとが継続的に融合していくことを期待したいと思います。

最後に、総括として。今後もこのすばらしい「学校教育ビジョン」実現のための施策が着実に進み、より成果を上げて、加賀市の子どもたちが真のアクティブ・ラーナーとして未来の幸せをつかむことを心から願います。

金沢学院大学 特任教授 米澤 利明

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 事務事業一覧

将来への備え

成長戦略

1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり

①妊娠期から出産までの支援

	事務事業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
--	------	-----	----	----	---	---	---	---	-------

②子育て支援・サービスの充実

			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	2	04	学校給食費無償化事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	2	12	4
1	2	11	放課後子ども教室開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	13	4
1	2	13	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業	教育庶務課	継続	一般	10	6	2	14	4
1	2	14	子ども会活動への支援事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	15	4
1	2	21	奨学金制度の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2	16	4

③家庭教育の充実と環境の構築

			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	3	01	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5	17	4

④魅力ある学校教育内容の充実

			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	4	02	小中学校の教育推進事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	18	4
1	4	03	国際教育交流事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2	19	4, 9
1	4	04	指導力向上による学校教育環境の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	20	4
1	4	05	学校保健の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	1	21	4
1	4	06	学校図書館の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	2	1	22	4
1	4	07	特別支援教育の充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	2	2	23	4
1	4	08	いじめ・不登校の解消事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	24	4
1	4	09	教育総合支援センターの充実事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	25	4
1	4	10	中谷宇吉郎科学奨励事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2	26	4
1	4	11	小中学校活性化事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	27	4
1	4	12	英語力向上事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	28	4
1	4	13	教職員研修事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	29	4
1	4	15	STEAM教育推進事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	3	30	4
1	4	16	本川弘一科学奨励事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2	31	4
1	4	17	学校教育ビジョン推進事業	学校指導課	継続	一般	10	1	3	32	4

⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり

			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	5	01	学校普通教室等冷房化事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	3	33	4
1	5	02	学校トイレ洋式化整備事業	教育庶務課	継続	一般	10	3	3	34	4
1	5	03	小学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	2	1	35	4
1	5	04	中学校施設の適正管理事業	教育庶務課	継続	一般	10	3	1	36	4
1	5	05	小中学校 I C T 整備事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	2	2	37	4
1	5	06	学校給食施設の適正管理事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	6	2	38	4

⑥スポーツ活動の振興

			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	6	01	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業	スポーツ課	継続	一般	10	6	5	39	4
1	6	02	加賀温泉郷ウオーク開催事業	スポーツ課	継続	一般	10	6	5	40	4
1	6	03	スポーツ教室の開催事業	スポーツ課	継続	-	-	-	-	41	4
1	6	04	ニュースポーツ大会の開催事業	スポーツ課	継続	一般	10	6	5	42	4
1	6	05	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業	スポーツ課	継続	-	-	-	-	43	4
1	6	06	スポーツ競技の育成支援事業	スポーツ課	継続	一般	10	6	5	44	4
1	6	07	スポーツ教室の開催の運営支援事業	スポーツ課	継続	-	-	-	-	45	4
1	6	08	スポーツ推進委員による開催事業	スポーツ課	継続	-	-	-	-	46	4
1	6	09	スポーツ施設の充実事業	スポーツ課	継続	一般	10	6	6	47	4, 11

1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり											
⑦生涯学習の振興											
			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
1	7	01	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業	教育庶務課	継続	一般	10	1	2	48	4
1	7	02	市民文化講演会開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	49	4
1	7	03	ふるさと学習の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	50	4
1	7	04	かがやき市民大学の促進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	51	4
1	7	05	蔵書の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3	52	4
1	7	06	レファレンス（相談機能）能力の向上事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3	53	4
1	7	07	行政資料・郷土資料の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3	54	4
1	7	08	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3	55	4
1	7	09	青少年健全育成の推進事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5	56	4
1	7	10	読書活動推進の充実事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	3	57	4
2. 観光と歴史、文化の振興による賑わいのあるまちづくり											
①戦略的な観光振興施策の推進											
			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
2	1	03	北前船日本遺産推進事業	文化課	継続	一般	10	5	2	58	8, 11, 12, 15
②三温泉共創による地域の魅力づくりの推進											
③都市圏への戦略的観光プロモーションの推進											
④海外都市交流とインバウンド観光の推進											
⑤国内都市との広域交流の推進											
⑥伝統文化の継承・文化活動の充実											
			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
2	6	02	伝統文化・芸能伝承の支援事業	文化課	継続	一般	10	5	2	59	11, 12
2	6	03	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業	文化課	継続	一般	10	5	3	60	11, 12
2	6	04	文化体験プログラムの充実事業	文化課	継続	一般	10	5	3	61	11, 12
2	6	05	市民文化活動の促進と支援事業	文化課	継続	一般	10	5	3	62	11, 12
3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり											
①産学官連携によるまちづくりの振興											
②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援											
			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
3	2	08	コンピュータクラブハウス加賀運営事業	生涯学習課	廃止	一般	10	5	2	63	4, 8, 9, 12
③企業誘致の推進											
④地元就職の促進とPRの推進											
			事 務 事 業	担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
3	4	01	ロボレーブ世界大会派遣事業	学校指導課・教育庶務課	継続	一般	10	1	2	64	4, 8, 9, 12
⑤新規創業の支援											
⑥商工業の振興											
3. ものづくりと雇用創出で、活力と勢いのあるまちづくり											
⑦伝統産業の継承・活性化											
⑧農林水産業の振興											
4. いつまでも元気で健やかに暮らし続けられるまちづくり											
①地域福祉の充実											
②地域包括ケアシステムの構築											
③健康づくりの推進											
④医療提供体制の充実											
⑤高齢者福祉の充実											
⑥障がい者福祉の充実											

5. みんなが手を取り、いきいきと安心して暮らせるまちづくり

①市民交流・まちづくり活動の活性化

	事 務 事 業			担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
5	1	03	公民館大会の開催事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	2	65	11

②若者などの移住・定住の促進

	事 務 事 業			担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
5	2	05	高校魅力化事業	教育庶務課	縮小	一般	10	1	2	66	4, 11

③独身男女の願いを叶える出会いの創出

④人権が尊重される社会の形成

⑤男女共同参画の推進

⑥ボランティア活動の推進

	事 務 事 業			担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
5	6	01	地域ヤングボランティア育成事業	生涯学習課	継続	一般	10	5	5	67	4

⑦防災対策の充実

⑧空き家対策の推進

⑨交通安全・防犯の充実

6. 豊かな自然を守り育てる、美しく快適なまちづくり

①自然環境の保全

②良好な歴史的景観の保全

	事 務 事 業			担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
6	2	01	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化課	継続	一般	10	5	4	68	11, 12
6	2	02	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業	文化課	継続	一般	10	5	4	69	11, 12
6	2	03	加賀大聖寺藩十万石再生事業	文化課	継続	一般	10	5	2	70	11, 12
6	2	04	文化財の適正管理事業	文化課	継続	一般	10	5	4	71	11
6	2	05	景観保存活動の支援事業	文化課	縮小	-	-	-	-	72	11, 12
6	2	06	九谷磁器窯跡整備事業	文化課	継続	一般	10	5	4	73	11, 12
6	2	07	文化的景観保護推進事業	文化課	継続	一般	10	5	4	74	11, 12

③交通ネットワークの充実

④地域公共交通の充実

⑤上下水道の適正管理

⑥憩いの場の充実

7. 将来を見据えた、効率的な行財政で支えるまちづくり

①市政への市民参画の促進

②広報・広聴体制の充実

③公共施設の適正な維持管理

④計画的な行財政運営

0. 自然・歴史・伝統が息づく 住んでいたい 来てみたいまち

デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）

	交 付 金 事 業			担当課	評価	会計	款	項	目	頁	SDGs※
9	1	06	デジタル教育環境推進事業	学校指導課・子育て支援課	継続	一般	10	1	3	75	

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 公の施設一覧

【原則 対象施設について】

- ① 市職員（臨時を含む）を配置している施設
- ② 公募による指定管理者制度導入施設
- ③ 非公募だが一般市民や観光客の利用に供する施設
（地域活動の拠点となっている施設は除く）

事業番号	事業内容	公の施設名	担当課	評価	会計	款	項	目	頁
A01	A 展覧施設	加賀市美術館管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	76
A02		中谷宇吉郎雪の科学館管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	77
A03		北前船の里資料館管理	文化課	優	一般会計	10	5	3	78
A04		九谷焼美術館管理	文化課	優	一般会計	10	5	3	79
A05		魯山人寓居跡いろは草庵管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	80
A06		九谷焼窯跡展示館管理	文化課	優	一般会計	10	5	3	81
A07		深田久弥山の文化館管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	82
A08		山中温泉芭蕉の館管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	83
A10		大聖寺鴻玉荘管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	84
A11		加賀依緑園管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	85
B01	B 体育施設	加賀体育館管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	86
B02		武道館管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	87
B03		大聖寺グラウンド管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	88
B04		大聖寺テニスコート管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	89
B05		陸上競技場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	90
B06		相撲場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	91
B07		スポーツセンター管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	92
B08		山中健民体育館管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	93
B09		山中弓道場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	94
B10		中央公園野球場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	95
B11		山中球場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	96
B12		片山津野球場管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	97
B13		グラウンド(山代・動橋)管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	98
B14		中央公園テニスコート管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	99
B15		水泳プール管理	スポーツ課	良	一般会計	10	6	6	100
B17		橋立自然公園管理運動広場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	101
B18		黒崎多目的広場管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	102
C01	C 貸館施設	セミナーハウスあいりす管理	生涯学習課	可	一般会計	10	5	3	103
C02		加賀市文化会館管理	文化課	良	一般会計	10	5	3	104
	D 入浴施設								
	E 屋外施設								
G03	G その他	中央図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	105
G04		山中図書館管理	生涯学習課	良	一般会計	10	5	3	106
G08		かが健康グリーンパーク管理	スポーツ課	優	一般会計	10	6	6	107

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(1)②5
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1204	事務事業名	学校給食費無償化事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	給食費を全額助成することで保護者の経済的な負担を軽減し、もって少子化対策の一環とする。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	平成28年度より多子世帯等の児童生徒の給食費の助成を開始し、対象者の拡大を順に図り、令和4年9月から対象者を全児童生徒に拡大した。これにより、令和5年度から事業名を多子世帯等児童生徒学校給食助成事業から学校給食費無償化事業に変更し、令和6年度においても継続して助成を行った。 食材料費等の高騰が続く中、これまで通りの栄養バランスや給食の質を保った学校給食を提供し、また保護者の経済的負担の軽減となった。									
	令和6年度支給対象児童生徒数 3,591人									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
①	一般会計	10	6	2	7	1	学校給食費無償化事業	229,767		
②										
③										
	関連決算額合計							229,767		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	学校給食費無償化 対象者	目標	全児童生徒			=	100 (%)	令和6年度においても全児童生徒に給食費を全額助成している。		
		実績	全児童生徒							
		目標				=	(%)			
		実績								
		目標				=	(%)			
		実績								
	内部評価の決定理由		令和4年9月から、対象者を全児童生徒に拡充して給食費を全額助成し、物価高騰による影響額も含めて助成を行っている。 このことにより、児童生徒の給食費を負担している全ての保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られており、今後も継続が必要である。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
物価高騰による影響がまだ続いている中で助成を継続していくことは、小中学校及び義務教育学校に在籍している児童生徒をもつ保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られることが見込まれるため今後も必要である。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)⑤2
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1211	事務事業名	放課後子ども教室開催事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

文部科学省実施の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省実施の「放課後児童健全育成事業」を、新・放課後子ども総合プランに基づき連携して取り組み、放課後対策を推進することにより、地域社会の中で子どもたちが放課後等に安全・安心で健やかに過ごすことができる居場所を確保することを目的とする。

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

実施状況

市内の9団体が地域住民の参画を得て、地域の特性を生かして子どもたちに様々な体験をさせることで社会性・自主性・創造性などの豊かな心を育み、コミュニティの充実を図っている。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	2	3	2	豊かな心育成費	3,993
②								
③								
関連決算額合計								3,993

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
効果・波及効果	達成率			分析結果	
教室参加延べ人数	目標	14,000	=	115 (%)	子どもの安全安心な居場所事業として、地域学校協働活動を推進できた。
	実績	16,144			
	目標		=	(%)	
	実績				
	目標		=	(%)	
	実績				
内部評価の決定理由	市内9か所で教室を実施し、放課後や土曜日等の子どもの安全・安心の居場所づくりとして、様々な体験活動やふるさと学習、交流活動の取り組みを推進し、地域住民の参加・協力のもと、円滑に事業を進めることができた。				

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

今後の方向性

全学校区に配置された地域学校協働活動推進員が、令和7年度から本格的に放課後子ども教室に関わっていく事になる。教室・推進員・市で協議を行い、放課後子ども教室及び推進員の効果的な活用方法を確立する必要があり、今後、地域の人と人々を繋ぐ推進員の活動を、子どもたちの居場所づくりに繋げる方策を検討する。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	②子育て支援・サービスの充実	

事業番号	1213	事務事業名	義務教育の円滑な実施のための学費支援事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	生活困窮により就学困難な児童又は生徒の保護者の経済的な負担を軽減するために、学校での学用品費の一部を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る。援助するにあたっては、保護者からの申請書を審査し、支援が必要と認められたものに対して、学用品・給食費等を援助する。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	一定所得額以下の世帯における保護者の経済的負担を軽減することができた。 学校に加え、お悔やみデスクや子育て支援課との連携により、家庭の状況が変わった世帯に対して、就学援助制度を説明し、理解してもらうことが可能となった。 令和6年度の支給対象者は、児童292名、生徒197名、合計489名であった。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	2	2	2	1	準要保護児童援助費	5,961
	②	一般会計	10	3	2	2	1	準要保護生徒援助費	12,257
	③	一般会計	10	6	1	2	1	準要保護児童生徒医療援助費	0
	④	一般会計	10	6	2	6	1	準要保護児童生徒給食援助費	29,088
	関連決算額合計								47,306
	内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	
効果・波及効果		達成率				分析結果			
経済的支援を必要とする世帯に対しての支援率		目標	100%		=	100 (%)	申請に対し適切に審査し、経済的支援を必要とする世帯に対し支援をすることができた。		
		実績	100%						
		目標			=	(%)			
		実績							
		目標			=	(%)			
		実績							
内部評価の決定理由		生活困窮により就学困難な児童生徒の保護者に対し、就学援助費を支給することで保護者の経済的負担を軽減している。今後も義務教育の円滑な実施のため、生活困窮世帯の経済的負担の軽減を図っていく必要がある。							
今後の方向性		次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	就学困難な児童及び生徒の保護者の経済的負担が軽減され、子育て支援の推進が図られている。今後も継続して支援を図り、他課(子育て支援課、相談支援課、税料金課等)と連携し、該当者に制度の説明を行い、更なる周知に努める。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	②子育て支援・サービスの充実	

事業番号	1214	事務事業名	子ども会活動への支援事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

子どもたちの健やかな育成を推進し、豊かな心を育み健康でたくましい子を育てるため、子ども会活動を支援することで、青少年の健全育成を図る。

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

各地区の子ども会の親睦や交流、仲間作りを目的に、春にスポーツセンターで開催される各地区対抗の「レクレーション大会」や、秋にスポーツセンター及びセンター前広場で開催される、子どもたちが主体となり企画から運営まで行う「子どもまつり」に助成を行った。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	87
②								
③								
関連決算額合計								87

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
効果・波及効果		達成率		分析結果	
参加者数	目標	1,600	=	75	目標値はコロナ禍前の実績値であるが、少子化が進み達成が困難となっている。
	実績	1,200		(%)	
	目標		=	(%)	
	実績				
	目標		=	(%)	
	実績				
内部評価の決定理由		市内の子ども達の交流、仲間づくりが目的であり、イベントの開催内容や企画運営を通して子どもの協調性・自主性が養われるとともに、異年齢の子ども達との遊び、交流を通して、思いやりの心や規律性、協調性を学ぶことができる。子どもの数が減少していくなか、子ども達の健やかな成長のために、多くの子どもたちが関わり、交流する子ども会活動の支援については、今後も継続する必要がある。			

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

昨今の少子化により、コロナ禍以前と同様の運営は困難であると判断し、事業規模を縮小し、補助額も減額することになったが、地域の子どもが子ども会活動に参加する機会を失う状況に陥らないよう、引き続き理事会等に出席し、子ども会の運営状況を注視しながら、今後も継続して支援を行っていく。

今後の方向性

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	2(1)④1
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	②子育て支援・サービスの充実		

事業番号	1221	事務事業名	奨学金制度の充実事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	経済的な問題を抱えながら進学を希望する学生・生徒のうち、審査基準を満たす者に対して奨学金の給付や貸付による支援を行い、将来地域に貢献できる優秀な人材を養成する。 ※向学心に富み、学術優秀ながらも経済的理由で就学困難な者に対し、奨学金を下記①は給付、②③は貸与し、本市にとって有為な人材を養成し、更に教育の振興に寄与する。 ①加賀市三森良二郎奨学金 ……加賀市内にある高校及び大学等就学困難者 ②加賀市育英資金貸与 ……高校及び大学等就学困難者 ③加賀市緊急学生支援貸付金……大学等就学困難者				

実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)				
	加賀市三森良二郎奨学金では、高校生・大学生合わせて25人からの申請があり、そのうち選考基準を満たした14人に新規の給付を行った。加賀市育英資金貸与については、高校生・大学生合わせて4人からの申請があり、コロナ禍により中止していた選考審査会を再開し、選考基準を満たした3人に新規の貸付を行った。 令和2年度から開始した加賀市緊急学生支援貸付金事業については、新型コロナウイルス感染症が収束に向かってきたため、令和6年度から貸与規則の改正を行い、災害等の影響により家計が急変した大学就学困難者に貸与することとし、2人に貸与を行った。申請者数は減少傾向にあるが、能力や意欲がありながら、経済的事情により就学を躊躇する者が、就学機会を得る一助となった。 ①加賀市三森良二郎奨学金 ……市内高校に進学する就学困難者 新規奨学生6人(応募者6人) 大学に進学する就学困難者で、卒業後の居住要件のない者 新規奨学生5人(応募者16人) 大学に進学する就学困難者で、卒業後の居住要件のある者 新規奨学生3人(応募者3人) ②加賀市育英資金貸与 ……高校及び大学就学困難者 新規奨学生3人(応募者4人) ③加賀市緊急学生支援貸付金……大学就学困難者のうち、市内に居住している者 新規奨学生0人(応募者0人) 大学就学困難者のうち、市外に居住している者 新規奨学生2人(応募者2人)				

令和6年度決算								
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	1	2	3	2	三森良二郎奨学金	9,683
②	一般会計	10	1	2	3	3	奨学資金費	2,176
③								
関連決算額合計								11,859

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	効果・波及効果		達成率		分析結果	
	貸与型奨学金制度 R5年度卒業生加賀市定着率	目標	21(人)	=	90	奨学金を受給していた者の9割は地元に着 しているの、地域活性化の一因になってい る。
		実績	19(人)		(%)	
		目標		=		
		実績			(%)	
		目標		=		
		実績			(%)	
内部評価の決定理由		奨学金の貸与・給付の申請者が毎年一定数いることから、経済的事情で就学を躊躇する学生・生徒は毎年いると考えられる。よって、有効性は高いと思われる。 また、本事業の費用は篤志家による寄付金が構成の大部分を占めているので、費用対効果は低いとも、高いとも判断できない。 世帯の経済状況や学力に一定の制限を設けているが、経済的事情で就学を諦める者の減少に資するため、事業を継続していくことが望ましい。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)				
	給付の申請者に対し、貸与の申請者は年々減少傾向にある。 給付型奨学金においては、一定の条件を満たす生徒について募集枠を確保し、(三森良二郎奨学金の高校生への給付については、全員を加賀市内の高等学校に進学するものとする。大学生への給付については過半数を大学卒業後5年間に加賀市内に居住する者とする。)より一層の支援を行っていくとともに、地域活性化と絡めた奨学金の魅力づくりを進めていく。				

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)⑤1
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	③家庭教育支援の充実と環境の構築		

事業番号	1301	事務事業名	家庭教育の啓発・周知活動の推進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

子どもたちが健やかに成長する上では、家庭の果たす役割が重要であるが、近年核家族化や地域とのつながりの変化等により家庭の教育が大きく変化している。そのような中で、全ての親が安心して子育てできるよう学校・企業・地域・行政がそれぞれの役割を果たし、市全体で家庭への支援を行うことを目的とする。

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

実施状況

学校・PTA・子ども会育成協議会や公立・法人立保育園の代表者等で構成する「家庭教育推進会議」を书面開催し、相談から見える家庭教育や、学校教育などの現状、課題、成果を共有し、関係機関との連携や関係者とのネットワークの構築を図った。

また、「親子ふれあい体験事業（ようこそ赤ちゃん）」を市内の小学校9校で実施し、命の大切さや子どもを育てる親の思いなどを実感してもらい機会を作り家庭教育の充実を図った。目標値には達しなかったものの、前年度の5校から9校に増加したことは、大きな成果といえる。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	82
②								
③								
関連決算額合計								82

有効性 （高い／普通／低い）	高い	費用対効果 （高い／普通／低い）	普通	内部評価 （拡充／継続／縮小／廃止）	継続
効果・波及効果		達成率			分析結果
親子ふれあい体験 事業実施校	目標	10	＝	90 （％）	命の大切さや親への感謝の気持ちを育み、将来親となるために必要な学びの機会を提供できた。
	実績	9			
	目標		＝	（％）	
	実績				
	目標		＝	（％）	
	実績				
内部評価の決定理由		本事業は、学校、地域住民、地域活動団体、事業者、行政など社会全体が連携して取り組むことにより、きめ細やかな家庭教育支援を推進している。また、親子ふれあい体験事業は全9校で実施し、助産師からの講話、赤ちゃんに触れ合を通して、子どもたちは人が育つことの重みを理解し、育ててくれた親や周りの人への感謝の気持ちを育むとともに、将来親となるために必要な学びの機会につながった。			

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

今後の方向性

「第2期加賀市家庭教育支援推進計画」に基づき、学校・地域住民・地域活動団体・企業・行政等が連携して、親子ふれあい体験を実施することで、より一層の家庭教育支援の推進を図る。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③2
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1402	事務事業名	小中学校の教育推進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	英語教科の課題に取り組む機会を設け、実用英語技能検定試験合格を目指すことによって、英語科の学習意欲と学力向上を図る。 数学教科について、基本段階でのつまづきによる学習意欲低下を解消するために、生徒それぞれの個に応じた学習支援を毎週2回実施する。 また、経済的、地理的に通塾が困難な生徒に対する学習支援とも位置づけ、市全体としての学力向上を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	公営塾として中学生を対象に「M・S・C(数学スキルアップクラブ)」と「かがっ子休日スクール(中学生英語)」の2つの講座を開催。 ・M・S・C(数学スキルアップクラブ)について 中学校校下6会場で週2回開催。生徒96名が参加し、個々のレベルに応じた学習支援を行っている。 ・かがっ子休日スクール(中学生英語) 実用英語技能検定試験合格を目指す生徒を対象に、学期毎に市民会館で5回ずつ開催した。昨年度に比べ、英語検定試験合格率はⅢ期に56%に低下したものの、Ⅰ期82%、Ⅱ期93%である。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	4,204
②									
③									
	関連決算額合計							4,204	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	「数学の成績が伸びた」と実感した生徒の割合		目標	令和5年度の97.1%以上		＝	101.5 (%)	受講した生徒のほとんどが成績の伸びを実感することができた。	
			実績	令和6年度98.6%					
	受講者の英語検定試験合格率(3～5級全体)		目標	令和5年度の85%以上		＝	90.6 (%)	Ⅲ期の合格率が56%と低いが、Ⅰ期、Ⅱ期では88%が合格している。	
			実績	令和6年度77%					
	「英語力が伸びた」と実感した生徒の割合		目標	令和5年度の98.0%以上		＝	100.3 (%)	受講した生徒のほとんどが成績の伸びを実感することができた。	
			実績	令和6年度98.3%					
	内部評価の決定理由		「M・S・C」、「かがっ子休日スクール(中学英語)」この2つの講座において、講師の個別指導によって苦手意識やつまづきを解消している。それにより、生徒の学習意欲と学力の向上が期待される。						
	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
今後の方向性	M・S・Cの講座は、経済的、物理的理由により、塾に通うことが難しい生徒を支援し、数学への苦手意識やつまづきを解消する。また、学習習慣を確立し、学力向上を図る。 かがっ子休日スクールの講座は、引き続き実用英語技能検定試験の受験合格を目指し、市全体の学力向上を図っていく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③5
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1403	事務事業名	国際教育交流事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	他国の児童生徒と触れ合うことによって他国の文化を知り、視野を広げ豊かな国際感覚を培うため、台湾・シンガポール等の友好都市協定を締結した都市の小中学生との交流を行う。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことから、昨年度より可能な範囲で交流を再開した。令和6年度は本市から26名の児童が10月21日から24日までの4日間で嘉義大学付属実験国民小学校(台湾)に訪問し、歓迎会や授業への参加等を通しての交流をしたり、石川県にゆかりのある人物により完成されたダムや、建築に携わった百貨店を見学し、歴史について学んだ。 また、11月21日には、山代小学校の6年生が石門小学校とオンラインでの交流を行い、自己紹介やそれぞれの国で流行っていることを伝える等により、異文化交流を行った。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	4,979	
	②									
	③									
	関連決算額合計								4,979	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	他国の学校で 異文化交流を行う		目標	1校		=	200 (%)	嘉義小学校に訪問し、児童の交流を実施した。 また、石門小学校とはオンラインで交流を行った。		
			実績	2校						
			目標			=	(%)			
			実績							
			目標			=	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		本事業の実施を通して、加賀市の児童生徒が世界に視野を広げる機会を設けることができるため、継続することが望ましい。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
今後も隔年ごとに台湾への派遣が想定されるが、少人数に多額の費用がかかる実情があることから、派遣する児童の選考方法については、作文や面接により選考基準を明確にすることが求められる。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④1
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1404	事務事業名	指導力向上による学校教育環境の充実事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

事務事業を実施する目的と概要

令和の日本型学校教育を踏まえた石川県の学力向上の重点である「個別最適な学び」と『協働的な学び』を一体的に充実させた『主体的・対話的で深い学び』の実現の具現化に向け、具体的な指導法や評価の在り方の研究・開発を行い、各学校における授業改善の取組を推進する。

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

山代中学校は、令和6年度から3年間の県指定を受け、「令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究」を実施した。校内研修会の講師をして金沢大学准教授 加藤 隆弘氏、および文部科学省主任視学官 田村 学氏を招聘し、授業づくりに必要な指導法の研究・開発に取り組んだ。
研究発表会には、市内の全学校及び市外、県外からも含め約100人の参加者で取り組みを振り返ることができた。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	200
②								
③								
関連決算額合計								200

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
効果・波及効果	達成率			分析結果	
研究発表会に参加して、新たな学びや気づきがあった教職員の割合	目標	90	=	101	研究発表会や2学期と3学期に開催した公開校内研修会を通して、市内外に幅広く研修の内容や取組の概要を広めることができた。また、他校も参加型で全体会をすることで学びを広げることができた。
	実績	91		(%)	
	目標		=		
	実績			(%)	
	目標		=		
	実績			(%)	
内部評価の決定理由	研究発表会時の研究授業や全体会、年間を通じて開催した公開校内研修会を通して、山代中学校の研究推進の内容や研究授業における授業実践を広めることができた。また、推進校での取組を、市内外の参加した先生と共に全体会をすることで、各校への今後の取組の推進につなげることができた。				

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

令和7年度においても、令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究の推進校として、山代中学校が2年目の実践に取り組む。今後も山代中学校の取組を積極的に市内の学校に普及し、市内全体の授業改善の取組につなげていく。

目的・概要

実施状況

内部評価

今後の方向性

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1405	事務事業名	学校保健の充実事業
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課
		グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	加賀市立学校における保健管理、安全管理、児童生徒及び教職員の健康の保持増進の体制づくりを推進する。 学校保健安全法に基づく児童生徒及び教職員の健康診断、環境衛生検査等を実施し、その結果に基づく治療等、必要な措置を取るよう指導を行う。また、学校活動に対する安全保険に加入するとともに、学校保健運営に必要な備品や消耗品等を充実させ、適正な学校保健事務を進める。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	嘱託医師を配置し、児童生徒の健康管理を促進した。 (校医19人、歯科医18人、眼科医2人、耳鼻科医2人、薬剤師18人) 健康診断の受診については、全校の児童生徒・教職員に受診を促した。 受診人数 児童生徒(4,055人) 教職員 (254人) ストレスチェックの受検については全教職員(384人)に実施した。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	6	1	1	1	嘱託医報酬費	7,663	
②	一般会計	10	6	1	1	2	健康診断費	5,063		
③	一般会計	10	6	1	1	3	一般経費	7,083		
	関連決算額合計							19,809		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	教職員の健康診断受診率(人間ドック含む)	目標	全教職員			=	97.6	やむを得ず(育休中・休職中等)受診できなかった教職員を除き、概ね健康診断を受診できていることがわかる		
		実績	401/411				(%)			
		目標				=				
		実績					(%)			
		目標				=				
		実績					(%)			
	内部評価の決定理由		本事業を通して、児童生徒及び教職員が健康で安全に学校生活を送ることができている。今後も心身の健康の保持増進を図るため継続していくことが望ましい。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
教職員については、集団で行う健康診断や個人的に人間ドックなどを受診する方法で健康管理を行っている。今後も、全職員がいずれかの方法で毎年健診を受けていることを確認するとともに、児童生徒については全ての検診に対して受診を促す。 また、教職員を対象に実施しているストレスチェックについては、教職員自身がメンタルヘルス不調となることを未然に防止するためのものとして今後も実施していくとともに、面接指導など積極的に受診できるような環境づくりや学校への呼び掛けを継続して行う。										

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1406	事務事業名	学校図書館の充実事業
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課・学校指導課
		グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

事務事業を実施する目的と概要

令和3年度に制定された「加賀市読書活動推進条例」に則って全ての子どもが読書活動に取り組む環境づくりを推進していく。それに向けて各学校図書館に新たな蔵書を追加し、古くなった蔵書と入れ替える等、児童生徒の読書環境を充実させるとともに、学校図書館司書を配置し、児童生徒の図書の貸し出しの促進を図る。

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

学校図書の充実化を進めた結果、文部科学省が学級数に応じて定める標準蔵書冊数に対する加賀市の蔵書数の達成率は、小学校174%、中学校143%、全体で164%となり、昨年度と同様の結果であった。また貸出冊数について、一人あたりの貸出冊数は小学校74.1冊、中学校11.6冊、全体で51.6冊となり、昨年度より小学校では6.5冊減、中学校は0.1冊増、全体では4.1冊減となった。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	2	1	1	2	会計年度任用職員給与費	38,760
②	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	4,993
③	一般会計	10	3	1	1	2	会計年度任用職員給与費	19,762
④	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	2,979
関連決算額合計								66,494

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
-------------------	----	---------------------	----	-----------------------	----

内部評価	効果・波及効果	達成率				分析結果
	蔵書冊数達成割合	目標	前年度の達成率164%以上	＝	100 (%)	蔵書冊数は昨年と変わっていない。ニーズに応じた蔵書を増やしていきたい。
		実績	達成率164%			
	児童生徒一人あたりの貸出冊数	目標	一人あたり50冊以上	＝	103.2 (%)	小学校で貸出冊数が減ってしまったが、一人あたりの目標冊数は達成できている。
		実績	一人あたり51.6冊			
		目標		＝		
実績			(%)			

内部評価の決定理由
小中学生時に、より多くの本に親しむことは、人間形成に不可欠であり、事業は有効である。学校現場では、朝読書の実施や保護者、地域の方々による読み聞かせ、また、学校職員による読み聞かせの実施など、児童生徒の興味関心が広がるような図書との出会いの場をいろいろと設定している。変化の激しい時代に対応した教育活動を展開していくためには、蔵書の入れ替えは必要不可欠であり、事業を継続していく。

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

各学校図書館に今日的課題に対応する新たな蔵書を追加し、古くなった蔵書と入れ替える等、蔵書数の確保に努める。また児童生徒にとってより充実した読書環境を整えられるよう、学校司書への研修も内容を工夫し、充実させていく。

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1407	事務事業名	特別支援教育の充実事業
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課
		グループ	学校指導課グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	特別支援学級・通級指導教室の教材用備品を整備し、教育環境の充実を図る。 各学校に教育支援員を配置し、児童生徒の学習支援・生活支援を行い教育環境の充実に務める。 医療的ケアに対する看護師の配置や環境整備を行い、学校における医療的ケアの充実を図る。 特別支援教育アドバイザーとして、特別支援教育の専門性と経験をもつ元教員を配置し、児童生徒の授業参観や教員への指導助言を行うことで、教員の質の向上を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	特別支援学級や通級指導教室において、教材用備品を揃え、教育環境を充実させた。 各校に教育支援員を配置し、学習支援・生活支援を行うことで教育環境の充実に務めた。また、特別支援教育コーディネーターや教育支援員を対象とした夏季研修会を行い、インクルーシブ教育について学ぶことで教員、教育支援員の質の向上に務めた。 特別教育支援アドバイザーが学校訪問をし、特別支援学級のや通常学級の教員に指導助言を行い、特別支援教育の充実を図った。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	4,525
	②	一般会計	10	2	2	1	1	振興奨励費	652
	③	一般会計	10	2	2	1	6	指導体制支援費	105,936
	④	一般会計	10	3	2	1	1	振興奨励費	323
	⑤	一般会計	10	3	2	1	7	指導体制支援費	36,893
	関連決算額合計								148,329
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	特別支援教育アドバイザーが希望した学校に訪問し、指導助言を行う	目標	学期に2回以上		＝	100 (%)	希望する学校に訪問し、指導助言をすることができた。		
		実績	令和6年度100%						
	教育支援員を希望する学校に配置し、教育環境の充実を図る	目標	希望するすべての学校に配置		＝	100 (%)	希望する学校に配置をすることができた。しかし、希望に応じた人数を配置できない学校もあった。		
		実績	令和6年度100%						
	夏季研修会を実施し、教員の質の向上に努める	目標	研修会に各校2名以上が参加		＝	110 (%)	全ての学校から2名以上が研修会に参加し、学ぶ場を設定することができた。		
		実績	市内23校より51名が参加						
	内部評価の決定理由		特別支援教育の環境充実のために、教材用備品等を揃えることができた。 教育支援員を配置し、学習支援・生活支援を行うことで教育環境の充実を図った。 特別支援教育アドバイザーによる学校訪問や特別支援教育コーディネーター対象の夏季研修会を実施することで、教員の質の向上を図った。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
特別支援教育アドバイザーの学校訪問による授業参観、指導助言や、教員や教育支援員の質を向上させていく。 教職員対象の研修会を実施し、インクルーシブ教育の視点での授業づくり、学校づくりに務める。 教育支援員の配置数、教材用備品等の充実を含めた体制の強化を図っていく。									

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④3
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1408	事務事業名	いじめ・不登校の解消事業	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ 学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	全国的に不登校児童生徒が増加傾向にある中、令和6年度は本市において増加に歯止めがかかっている。これを踏まえ、引き続き未然防止や早期対応に重点を置いた取組を推進する。 子どもが主役の授業づくり、学校内外の居場所づくり、スクールカウンセラーとの連携による相談体制の充実、SOSを出しやすい雰囲気づくりなど、複数の観点から支援を進める。 全小中学校にスクールカウンセラーを配置し、児童生徒一人一人に寄り添った支援を行うことで、問題行動や不登校の未然防止を図り、安心・安全な教育環境の改善につなげる。										
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)										
	加賀市では、「いじめから子どもを守る条例」と「いじめ防止基本方針」に基づき、法の定義に沿った「いじめの認知」や、「認知＝子どもに寄り添えた数」という考え方を各校に周知してきた。これにより教職員の意識が高まり、小さいいじめの見過ごしや抱え込みが減少したと考えられる。初動対応の重要性も継続して伝えており、解決に時間を要するケースはあるものの、早期対応の意識は定着しつつある。いじめの認知件数が零の学校はない。 不登校支援マニュアルの見直しと周知により、相談体制や組織的対応を強化している。スクールソーシャルワーカーや子育て応援ステーションと連携し、個に応じた支援も進めている。市内15校にスクール・サポート・ルーム(SSR)と支援員を配置し、教室に入りづらい児童生徒への柔軟な個別支援を行った。SSRと教室の併用など、実情に応じた対応を行った。										
	令和6年度決算										
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)		
	①	一般会計	10	1	3	7	1	委員報酬費	15		
	②	一般会計	10	1	3	7	2	運営費	2		
	③	一般会計	10	1	3	8	1	委員報酬費	613		
	④	一般会計	10	1	3	8	2	運営費	199		
	⑤	一般会計	10	1	3	10	1	学校教育改革推進費	55,657		
	関連決算額合計								56,486		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果				
	SOSの出し方に関する取組の実施	目標	80%			＝	81 (%)	中学校においてSCを講師として、SOSの出し方に関する取組が定着してきた。今後は、小学校にも取組が広がるように周知する。			
		実績	65%								
	不登校児童生徒数に占める新規の割合を減らす	目標	40%			＝	98 (%)	令和6年度は本市において増加傾向に歯止めがかかっている。小学校は増加傾向(48%)中学校は減少傾向(34%)にある。			
		実績	41%								
		目標				＝	(%)				
		実績									
	内部評価の決定理由		いじめの認知数には、学校間で差が見られる。法の定義に基づく「いじめの認知」や、「いじめの認知＝子どもに寄り添えた数」という考え方を、学校訪問等の機会を通じて繰り返し伝える。小さいいじめの見過ごしや、教職員による抱え込みが生じないように、継続的に指導行う。合わせて、自らSOSが出せるような取組や関係性の向上や雰囲気づくりに努める。 不登校については、教職員が不登校支援に対する理解を深めた上で、早期対応マニュアルに基づき、早期対応やケース会議を実施し、児童生徒一人ひとりに応じた支援を継続する。さらに、支援センターと連携し、早期対応アウトリーチやチーム会を行いながら、情報共有と支援策の検討を重ねる。								
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)									
多様な学びの場や相談体制を整備してきたが、情報が本人や保護者に十分に届かず、活用につながっていない現状がある。いじめ防止については、各校の基本方針に基づく未然防止の取組の実効性を高めるとともに、アンケートや面談、SOSの出し方に関する取組を通じた早期発見・対応を継続的に行う。初動対応には、組織的かつ迅速に全力であったる。 不登校については、子どもだけでなく保護者の不安や困難にも丁寧に対応する必要がある。「不登校サポートブック」やスクールカウンセラー(SC)、スクールソーシャルワーカー(SSW)を活用し、保護者支援と関係機関との連携を強化する。教職員が不登校支援の理解を深め、授業改善を含め組織的に取り組むことで、校内外の居場所(SSR・Being・ビーさぽ・児童センター等)と連携をさらに充実させ、個に応じた支援を進める。											

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)④2
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1409	事務事業名	教育総合支援センターの充実事業
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課
		グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	学校教育の充実及び振興を図るため、教育総合支援センターは各支援機関とのハブとなり、一人ひとりに支援を確実に届けることを目的として、全ての子どもたちに「居場所」があり「社会とのつながり」がもてるよう、様々な機関と連携し、不登校支援施策を総合的に実施する施設を目指す。 ①補導巡視…教育総合支援センター職員による巡視指導 ②教育相談…電話・面接等による教育相談 ③学校復帰支援…適応指導教室(Being)の運営 ④広報啓発…機関誌の発行、SNS発信、イベント、研修会等の開催								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	令和6年度 ①補導巡視…教育総合支援センター職員による校外指導及び特別指導(58回 延116人 声掛け1人) ②教育相談…電話・面接等による教育相談(297件) ③学校復帰支援…Being教室への通所延べ人員(758人) ④広報啓発…機関誌の発行 (Being通信:13回、SNS発信(定期的)、保護者座談会2回、研修会3回) 「教育総合支援センター」とし、不登校支援のハブ機能を強化。学びの改革を進めるための教育開発室研究部の推進。それぞれの機能の連携強化を図った。 教育総合支援センター運営検討委員会を年1回開催								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	1	3	9	1	会計年度任用職員給与費	40,017
②	一般会計	10	1	3	9	2	教育開発推進費	93	
③	一般会計	10	1	3	9	3	教育支援相談推進費	2,305	
	関連決算額合計							42,415	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	教育開発室の活動が授業改善につながったと回答した教員の割合		目標	90%	=	86	研究員と取組の目的を共有して、何のための教育改革なのかを言語化できるように努める		
			実績	82%		(%)			
	教育総合支援センターの取組を外部に広報する。(月2回程度: SNS、通信、イベント、研修会)		目標	100%	=	90	今年度からSNSを活用したり、保護者向けの座談会を開催したりして、取組の周知を図り、センターの活動を知らってもらう機会が増えた。		
			実績	90%		(%)			
			目標		=				
			実績			(%)			
	内部評価の決定理由		教育開発室研究部の活動が授業改善につながったと回答した割合が82%であった。部会によって差が見られたが、部員になったことで意図的に実践を行い、結果的に授業改善につながった。 実践したことを他校に紹介することで、波及効果が期待できる。 教育総合支援センターの組織を見直すことで、取組の焦点化や重点化を図っていきたい。今後も広報活動を工夫していく。						
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	不登校に関する悩みの相談窓口として受け皿となりつつ、必要な支援につなげていくコーディネート機関として機能できる仕組みをつくる。子どもだけでなく、保護者・学校とも「バランスよく関わる」。アウトリーチ(訪問支援)により、「つながりに行く・伴走する」。そして、中長期的支援を視野に、地域のNPOや福祉機関とも「連携して対応する」。 教育開発室では、加賀市学校教育ビジョンの推進に向けて、組織を見直し3つの部会を1つに統合し、研究員を募集して活動を活性化させる。 SNS等を活用して、教育総合支援センターの活動を積極的に発信し、保護者支援にも力を注ぐ。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1410	事務事業名	中谷宇吉郎科学奨励事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	郷土出身の偉大な科学者「中谷宇吉郎」の偉業を後世に伝えとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、市内の小学生、中学生、若手研究者について、科学の研究成果について公募し、秀でたものを表彰する。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	本事業では「加賀市科学作品展」において優れた成績を収めた作品が選考の対象となる。 本川弘一科学奨励事業と区別するため、平成29年度から募集要項に「物理・地学等」と研究分野を明記。 平成20年度から中学生の募集を全国規模に拡充したが、新規申込者が見込めないため、中学生の全国規模での募集を廃止。 令和6年度は、小学生の部4件、中学生の部1件、若手研究1件の応募があった。小中学生においては、科学に興味のある児童生徒からの応募によるもので、加賀市の科学教育の振興に役立っている。 また、中谷宇吉郎の名前を冠し、募集しているので、氏の偉業をPRすることにもなっている。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	235	
	②									
③										
	関連決算額合計							235		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	全小学生に対する 「加賀市科学作品展」 への応募数		目標	130点		＝	63 (%)	令和6年度は応募率が減少し、63%となった。		
			実績	82点						
	全中学生に対する 「加賀市科学作品展」 への応募数		目標	19点		＝	74 (%)	令和6年度は応募率が減少し、74%となった。		
			実績	14点						
			目標			＝				
			実績							
	内部評価の決定理由		本事業は、本市の科学振興を図り、青少年の科学に対する関心を高めることができる。また、郷土の著名人の功績をPRすることができる。 この2点を成すには、今後も継続していく必要がある。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
市内の児童生徒の応募を増やすため、学校との連携により、夏休みの自由研究の募集の際、本事業について、児童生徒、保護者へ周知し、応募数増に努める。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③1
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1411	事務事業名	小中学校活性化事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	「令和の日本型学校教育」の構築に向けて、課題に応じた研究主題を掲げ、研修会を行うことで、子どもたち一人ひとりに育成すべき資質能力の向上を図る。 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら授業改善を推進していく。そのために、各小中学校が抱える課題の克服に向けて専門職員等を派遣するなどの様々な支援を行い、校内研修会の充実を図ることで、教職員の指導力の向上と、児童生徒の確かな学力の定着をめざす。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	庄小学校において、東京学芸大学 非常勤講師 佐野亮子 氏を招聘し、持続可能な単元内自由進度学習や指導力向上を目的とした研修会を開催した。また、山中中学校において、國學院大學 教授 杉田 洋 氏を招聘し、授業や学級経営等との往還的指導を通して、生徒に確かな資質・能力を育てる特別活動の研修会を開催した。東和中学校において、東京都立学校スクールカウンセラー 初川 久美子 氏を招聘し、特別支援の視点から生徒のつまずきを授業づくりに活かす研修会を開催した。山代中学校においては、令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究の指定を受け、主体的、対話的で深い学びを推進する目的で、竹中哲男授業アドバイザーを定期的に招聘し、授業改善を図ってきた。第3回目の研修会はずべての学校とも講師からいただいた指導・助言をもとに公開授業を実施し、参観した市内小中学校の教員とともに実践研究を深めることができた。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	3	2	1	学校教育研究費	538	
②										
③										
	関連決算額合計							538		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	小中学校の職員の研修会の参加人数		目標	250		=	122	4校で合計305名の先生方の参加があった。授業力向上を意識して多くの参加者があり、波及につながった。		
			実績	305			(%)			
			目標			=				
			実績				(%)			
			目標			=				
			実績				(%)			
	内部評価の決定理由		教職員の指導力を高めることで、教科のねらいの達成だけでなく、自律した学び手の育成にもつながる。研修の取組を市内立中学校に広げることで、市全体の学びの質の向上が期待できる。 各校の課題に応じた研究主題のもと、専門的な指導・助言を受けて校内研修を活性化することで、授業改善と学校研究が進む。 本市では、加賀市学校教育ビジョンの具現化に向けて授業改善に取り組んでおり、今後も実情や課題に応じた研修の充実を図っていく必要がある。							
次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)										
今後の方向性	小学校1校・中学校1校において、市指定研修会を実施し、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた授業改善の取組を推進する。(令和7年度実施校 加賀市立金明小学校 加賀市立片山津中学校) また、令和5年1月に策定した「加賀市学校教育ビジョン」をやり切ることを目指し、授業交流や研修会等を実施し、学びの改革や教師の授業力向上に努める。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1412	事務事業名	英語力向上事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

実施状況

内部評価

今後の方向性

事務事業を実施する目的と概要

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	1	3	6	1	英語教育推進費	34,500
②								
③								
関連決算額合計								34,500

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
効果・波及効果	達成率			分析結果	
ALT及び英語授業補助指導者配置校数	目標	23	=	100 (%)	全校に配置することが実現できている。その効果を高めるための取組につなげていく必要がある。
	実績	23			
	目標		=	(%)	
	実績				
	目標		=	(%)	
	実績				
内部評価の決定理由	ALT及び英語授業補助指導者を計画的に各学校に配置したことで、外国語でのコミュニケーションによる言語活動を行う機会を多く持つことができるようになり、英語力向上につながっている。 小学校においては、英語に触れる機会が増えており、実際に外国語でコミュニケーションを行い、意欲的に授業に参加する姿が見られた。中学校についても、ネイティブの英語に触れたり、ALTにコミュニケーションをとり話す力を伸ばす機会が増えている。				

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

来年度も引き続きALT及び英語授業補助指導者の積極的かつ効果的な活用を進めていき、子どもが英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を育てていく。
一方で、毎年ALTが入れ替わることでALT同士の継続的な人間関係が築きにくいことや、また、学校での役割が授業以外では少ないためコミュニケーション不足によりALT本人が孤独を感じ、早々に帰国してしまう場合がある。
よって、特に新任のALTには長期間勤務をしてもらうためにコミュニケーションを密にとり、環境に慣れていけるよう働きかけていく必要がある。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③3
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1413	事務事業名	教職員研修事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	加賀市学校教育ビジョンの実現に向け、市内教職員全員で「子どもに委ねる学び」をより確かなものとし、2学期以降の授業力・指導力の向上を図る。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	加賀市教職員夏季全体研修会では、山形大学学術研究院准教授 鈴木貴子氏・恩納村教育委員会主任指導主事 本山陽一郎氏・門真市教育委員会教育センター長 岡田和樹氏・発達研修ユニットみつばち 初川久美子氏の4名の協働推進者からそれぞれの取組を講演いただいた。そして、NPO法人「学校の話しよう」により、これまでの実践をふりかえりながら講演について対話するワークショップが実施され、加賀市学校教育ビジョンの具現化に向けて研修会を開催し理解を深めた。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	3	1	1	教職員研修費	292	
②	一般会計	10	1	3	1	2	教育指導研究費	810		
③	一般会計	10	1	3	10	1	学校教育改革推進費	2,745		
	関連決算額合計							3,847		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	今日のワークショップは、あなたにとって気づきや学びのある時間でしたか		目標	95		=	98	ワークショップを取り入れ、対話で交流することを通して、教職員が学びを実感できる研修となっている。		
			実績	93			(%)			
			目標			=				
			実績				(%)			
			目標			=				
			実績				(%)			
	内部評価の決定理由		市立小中学校教職員が加賀市学校教育ビジョンの具現化に向け、課題や方向性について共通理解の上、教育活動を進めていく上で重要な役割を果たしている。加賀市のお互いの取組状況を知り、協働推進者から価値づけをしていただき、さらなる推進の意欲向上につながる充実したものになった。今後も継続した研修会等の実施が必要である。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
教職員の資質向上をめざす中核の事業であり、これまで通り継続していく。今後も加賀市学校教育ビジョンの具現化につながるように、年度ごとに必要に応じた内容でワークショップ型等の研修設計をし、市立教職員の授業力・指導力の向上を図る。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)②1
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1415	事務事業名	STEAM教育推進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要											
	人口減少や地方創生など、今の大人たちが経験していない、答えのない問いがあふれている。そこで必要となる、常識を疑い、問い続け、本質的な問題を発見し、創造的に課題解決する力を育てていく必要がある。そこで、小学校1年生から系統的に学ぶプログラミング教育の充実と、教科横断的な教育や総合的な学習の時間のカリキュラム・マネジメントに取り組み、探究型のSTEAM教育の実践を推進していく。											
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)											
	小学1年生から9年間の「加賀STEAMプログラム」を本格実施した。 具体的には小学1年生の授業ではビスケットランドの機能を活用し、自分で描いた絵にプログラムを作って動かす体験を行ったほか、「スクラッチ」「マイクロビット」「3D プリンタ」「レーザー加工機」「Canva」など様々なSTEAM教材やデジタル技術を活用しながら、全小中学校で身近な課題解決をテーマとした課題解決型の探究プログラムに挑んだ。 また、市内全小中学校(小学6年生と中学2年生)による学習成果の場として「KAGA STEAM Presentation 2024」を実施した。											
	令和6年度決算											
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)			
	①	一般会計	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	21,247			
②												
③												
	関連決算額合計							21,247				
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続			
	効果・波及効果		達成率				分析結果					
	今年のSTEAM教育は、将来役に立つと感じますか (小学校アンケート)	目標	95		=	101 (%)	重点校での実施した結果、小学校でも実感を持っているので、より効果的なものへとプログラムを組む。					
		実績	96									
	今年のSTEAM教育は、将来役に立つと感じますか (中学校アンケート)	目標	95		=	94.6 (%)	重点校での実施した結果、小学校以上に効果を中学生が実感していることがわかるので、効果的である。					
		実績	89.9									
		目標			=	(%)						
		実績										
	内部評価の決定理由		これまでの小学校4年生からのプログラミング教育を、小学校1年生から中学校3年生まで段階的に系統立てて身につけていけるようにプログラムを作成し、市内全小中学校で本格実施をした。一人一台端末を活用し、小学校1年生からプログラミングの楽しさを体験できる魅力あるプログラムとなっている。さらに、小さい頃から身につけてきたデジタル技術と、教科等で育成した資質・能力を活用し、問題発見能力や、課題を解決していく資質能力をSTEAM教育を通じて育成することができる。									
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)										
STEAM教育を通して、テクノロジーに特化することなく探究的な学習の更なる充実を目指す。そのために、総合的な学習の時間を中心に、探究的な学習が深まりのあるものになるようにカリキュラム・マネジメントを進める。そして、STEAM教育と探究的な学びの融合を図り学習内容を充実させるとともに、小中一貫型のSTEAMプログラムの実践を振り返り、より充実したプログラムの開発に努める。												

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1416	事務事業名	本川弘一科学奨励事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	郷土出身の世界的医学博士である「本川弘一」の功績を称えとともに、加賀市の科学教育の振興と青少年の豊かな教養を備えた人間形成を目指し、科学の研究成果について市内から公募し、秀でた者を表彰する。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	本事業では「加賀市科学作品展」において優れた成績を収めた作品が選考の対象となる。 平成29年度から事業を実施し、中谷宇吉郎科学奨励事業と区別するため、募集要項に「生物・科学」と研究分野を明記。 令和6年度は、小学生の部2件、中学生の部0件、合計2件の応募があった。市内の科学に興味のある生徒からの応募によるもので、加賀市の科学教育の振興に役立っている。 また、本川弘一の名前を冠し募集しているので、氏の偉業をPRすることにもなっている。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	2	3	1	教育振興助成費	11	
②										
③										
	関連決算額合計								11	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	全小学生に対する 「加賀市科学作品展」 への応募数		目標	130点		＝	63 (%)	令和6年度は応募率が減少し、63%となった。		
			実績	82点						
	全中学生に対する 「加賀市科学作品展」 への応募数		目標	19点		＝	74 (%)	令和6年度は応募率が減少し、74%となった。		
			実績	14点						
			目標			＝	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		本事業は、本市の科学振興を図り、青少年の科学に対する関心を高めることができる。また、郷土の著名人の功績をPRすることができる。 この2点を成すには、今後も継続していく必要がある。							
次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)										
今後の方向性	市内の児童生徒の応募を増やすため、学校との連携により、夏休みの自由研究の募集の際、本事業について、児童生徒、保護者へ周知し、応募数増に努める。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	④魅力ある学校教育内容の充実	

事業番号	1417	事務事業名	学校教育ビジョン推進事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課	グループ	学校指導グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要																																																			
	学校教育ビジョンでは、「BE THE PLAYER 自分で考え 動く 生み出す そして社会を変える」というスローガンと4つのプロジェクトを掲げ、旧来型の画一的な「そろえる」教育から一人ひとりを「伸ばす」教育へと転換を進め、子どもの「今」も「未来」も幸せにする学びの改革を推進する。 ①学びを変えるプロジェクト ②誰一人取り残さないプロジェクト ③未来は自分で創るプロジェクト ④地域と一緒にプロジェクト																																																			
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)																																																			
	①学びを変えるプロジェクトでは、市内全小中学校・全教職員で積み上げてきた学びの改革の実践をベースに、組織の継続性の担保を見据えた仕組みづくりを行ったほか、全国各地からの視察を全小中学校で分散して受け入れ、外部からの評価や意見をもらいながら、着実に質の向上も図った。 ②誰一人取り残さないプロジェクトでは、子どもの多様な居場所を教室以外にも拡張していくという考え方を全面に出した「不登校支援プラン」を策定し、子どもたちの現状分析を行いながら、不登校の状況に応じた支援策を拡充し、全国的にも増加傾向となっている不登校児童生徒数について、増加に歯止めがかかった。 ③未来は自分で創るプロジェクトでは、小中一貫型に全面リニューアルした「KAGA STEAMプログラム」を始動し、小学校1年生からプログラミングに触れるなど、他の地域にはない特色あるプログラムを実現した。 ④「地域と一緒にプロジェクト」では、「学校部活動改革プラン」に基づき、土日の地域クラブの開設を進めた。また、市民等向けの「Be THE PLAYER FES」を開催し、加賀市の教育について一緒に考える機会を創出した。																																																			
	令和6年度決算																																																			
	<table><tr><th></th><th>会計</th><th>款</th><th>項</th><th>目</th><th>細目</th><th>細々</th><th>細々目名</th><th>決算額(千円)</th></tr><tr><td>①</td><td>一般会計</td><td>10</td><td>1</td><td>3</td><td>10</td><td>1</td><td>学校教育改革推進費</td><td>107,071</td></tr><tr><td>②</td><td>一般会計</td><td>10</td><td>1</td><td>3</td><td>2</td><td>4</td><td>STEAM教育推進費</td><td>21,247</td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td colspan="8">関連決算額合計</td><td>128,318</td></tr></table>									会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	①	一般会計	10	1	3	10	1	学校教育改革推進費	107,071	②	一般会計	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	21,247	③									関連決算額合計							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)																																												
①	一般会計	10	1	3	10	1	学校教育改革推進費	107,071																																												
②	一般会計	10	1	3	2	4	STEAM教育推進費	21,247																																												
③																																																				
関連決算額合計								128,318																																												
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)		高い		費用対効果 (高い/普通/低い)		高い		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続																																									
	効果・波及効果			達成率					分析結果																																											
	学校に行くのは楽しいと思う割合			目標		90%		=	98.4		学びを変えるプロジェクトは改革途中段階であるため、引き続き、子どもが主体的な学びを推進していく。																																									
				実績		88.6%			(%)																																											
	授業中、自分の考えをいろいろな方法で表現していると思う割合			目標		80%		=	102		子どもたちは授業中に自分の考えを表現するようになってきている																																									
				実績		81.6%			(%)																																											
				目標				=																																												
実績						(%)																																														
内部評価の決定理由			全体は当初計画どおりで進行している。特に、学びを変えるプロジェクトは、国の方向性に沿った「そろえる教育」から「伸ばす教育へ」の転換を図る教育改革を進めている。推進するにあたって、全国からも多くの教育関係者の視察を受け入れており、視察者からも高評価も受けていることから、引き続き学校教育ビジョンに基づく学びの改革を推進していく。																																																	
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)																																																			
	学校教育ビジョンに基づき、さらに質を高めていくことと、組織としてこの学びの改革を踏まえた取組の継続性を担保するための仕組みづくりを行う。 また、学校教育ビジョンが令和7年度までであることから、次期教育ビジョン策定に向けて計画していく。																																																			

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり	

事業番号	1501	事務事業名	学校普通教室等冷房化事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	地球温暖化による気温の上昇により、夏期の学習環境の改善が求められており、普通教室・特別教室における冷房化を順次進めるものである。また、建設年次の古い学校においては、空調設備も総じて老朽化しており、順次更新していく必要がある。これらの空調設備の更新時期に合わせ、省エネルギー化を推進し、学校の学習環境の改善を行う。										
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)										
	平成17年度以降に校舎の改築を行った金明小、湖北小、橋立小中学校については普通教室に冷房機能のある空調設備を導入している。 平成25年度以降、冷房未設置の小中学校について順次整備を進めており、令和元年度に全小中学校において普通教室の冷房化が完了した。 それ以降、順次特別教室の冷房化を進め、令和6年度は庄小、山中小学校の特別教室の冷房化が完了した。										
	令和6年度決算										
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)		
	①	一般会計	10	2	3	1	1	校舎等整備費(補助)	103,101		
②	一般会計	10	3	3	1	1	校舎等整備費(補助)	3,915			
③											
	関連決算額合計							107,016			
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続		
	効果・波及効果		達成率				分析結果				
	普通教室整備率	目標	100%			=	100 (%)	令和元年度に整備完了			
		実績	100%								
	特別教室整備率	目標	85%			=	100 (%)	令和6年度の目標は予定通り完了			
		実績	85%								
		目標				=	(%)				
		実績									
	内部評価の決定理由		近年の気温上昇により夏場の普通教室等の授業において、集中力低下や学習意欲の低下、さらには体調不良となる可能性もあることから、冷房化により夏場の学習環境は大きく向上する為、有効性は高く、継続して行う必要がある。								
次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)											
今後の方向性	今後も空調が設置されていない特別教室について、国の補助事業を活用し、早期の全校整備に努めていく。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり	

事業番号	1502	事務事業名	学校トイレ洋式化整備事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	近年の生活様式の変化により、家庭、公共施設、一般商業施設等において洋式トイレが普及しているなか、現在の児童・生徒は和式に不慣れになり、学校現場からはトイレを我慢する場面もあるとの指摘がでている。また、学校施設は避難所に指定されていることから、避難時における高齢者等の利便性の向上を図る為、校舎(教室棟)及び体育館のトイレの洋式化を行う。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	平成27年度から校舎(教室棟)にされているトイレの50%程度を洋式化する計画を進め、中学校は平成30年度をもって、小学校については令和元年度をもって計画が完了した。 令和5年度からは、各学校において現在の児童・生徒数に応じ必要なトイレ数の90%を洋式トイレとすることを目標に計画を進めており、令和6年度は錦城小、山代小、庄小、勅使小学校のトイレ洋式化工事を実施した。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	2	3	90	1	校舎等整備費(補助・繰越明許分)	20,042	
②	一般会計	10	2	3	1	2	校舎等整備費(単独)	1,727		
③	一般会計	10	3	3	1	2	校舎等整備費(単独)	1,210		
	関連決算額合計							22,979		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率					分析結果		
	トイレ洋式化率(便器数に対する洋式トイレの割合)		目標	50%		=	120 (%)	平成30年度に目標の50%を達成し、現在は60%に達した。		
			実績	60%						
	必要なトイレ数の90%以上が洋式トイレとなっている学校の割合		目標	90%		=	100 (%)	令和6年度の目標は予定通り完了。		
			実績	90%						
			目標			=	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		生活様式が変化する中で洋式トイレしか使用出来ない児童も増えてきており、洋式トイレの必要性が増加している為、児童・生徒が安心して学習、生活出来る環境づくりとしての有効性は高く、継続して行う必要があると考える。							
次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)										
今後の方向性	各学校において児童・生徒数に応じて必要なトイレ数の90%の洋式化が完了した。今後はより洋式トイレの待ち時間が少なくなるよう洋式トイレの増設を行う。また、避難所の機能強化を図るため、体育館のトイレについても洋式化を進める。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり	

事業番号	1503	事務事業名	小学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	小学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。 また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。 施設修繕については、箇所付けした予算は計画通り修繕を行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。なお、箇所付けした工事としては、錦城小学校の屋外階段修繕工事や錦城東小学校の高架水槽修繕工事などを行った。 また、建物に関する点検や遊具の点検、消防設備点検などの必要な点検を的確に実施した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	2	1	2	1	一般経費	194,246
②	一般会計	10	2	1	2	2	維持補修費	32,730	
③									
	関連決算額合計							226,976	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	消防設備点検業務 実施校数	目標	17校			=	100 (%)	令和6年度は予定通り全校分実施した	
		実績	17校						
	建物定期点検業務 実施校数	目標	4校			=	100 (%)	令和6年度は予定通り実施した	
		実績	4校						
		目標				=	(%)		
		実績							
	内部評価の決定理由		各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めている。 施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行っている。 また、建物や設備の点検を的確に行い、その結果に応じて修繕工事の実施や修繕計画の策定に繋げており、安心・安全な教育環境を維持するにあたって、有効性は高く継続して実施する必要がある。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
大規模な修繕については、長期的視野のもと修繕計画を策定し、予算確保に努めるとともに、学校活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施 策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり	

事業番号	1504	事務事業名	中学校施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	教育庶務グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	中学校それぞれの学校運営の重点ポイントに合わせた予算の編成と適正な執行を行うとともに、光熱水費をはじめとした経費節減に努める。 また、安全・安心な学校施設を維持するため、大規模な修繕を計画的に行いながら緊急の修繕にも対応し、教育活動に支障のないよう施設の適正管理に努め、教育環境の質の向上を図る。										
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)										
	学校配当予算については、費目の割り振りについて学校の希望を調査し、学校ごとの特色、必要性に応じた予算とした。 施設修繕については、箇所付けた予算は計画通り修繕を行うとともに、緊急の修繕については現場確認を行い、学校と協議しながら修繕方法等を決定し、適切な工事を行った。なお、箇所付けた工事としては、錦城中学校のテニスコート改修工事や山中中学校の暖房用ボイラー修繕工事などを行った。 また、建物に関する点検や消防設備点検などの必要な点検を的確に実施した。										
	令和6年度決算										
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)		
	①	一般会計	10	3	1	2	1	一般経費	105,405		
	②	一般会計	10	3	1	2	2	維持補修費	21,289		
③											
	関連決算額合計							126,694			
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率					分析結果			
	消防設備点検業務 実施校数	目標	6校			=	100 (%)	令和6年度は予定通り全校分実施した			
		実績	6校								
	建物定期点検業務 実施校数	目標	2校			=	100 (%)	令和6年度は予定通り実施した			
		実績	2校								
		目標				=	(%)				
		実績									
	内部評価の決定理由		各学校とも限られた配当予算の中、予算執行を工夫しながら、適正な学校運営、施設管理に努めている。 施設修繕については、現場確認を行いながら優先度を見極め、授業等に支障がないよう適切な対応を行っている。 また、建物や設備の点検を的確に行い、その結果に応じて修繕工事の実施や修繕計画の策定に繋げており、安心・安全な教育環境を維持するにあたって、有効性は高く継続して実施する必要がある。								
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)									
大規模な修繕については、長期的な視点のもと修繕計画を策定し、予算確保に努めるとともに、学校活動に支障のないよう緊急的な補修にも対応し、安全・安心な学校施設が維持できるよう適正管理を実施する。											

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)③4
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	④魅力ある学校教育内容の充実		

事業番号	1505	事務事業名	小中学校ICT整備事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

実施状況

内部評価

今後の方向性

事務事業を実施する目的と概要

ICTを有効に活用した教育の実現と効率的な校務処理及びその結果生み出される教育活動の質の改善を目的として、国の整備目標に基づき、各小中学校における校務・教育用(学習用)パソコンを整備する。

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

令和2年度に、国施策(GIGAスクール構想)により、児童生徒に一人一台のPC端末を整備した。
令和3年度には、学校保健特別対策事業費補助金の活用により、オンライン授業に不足している備品の配備を行った。
令和4年度については校務用PCの更新を行い、授業用のChromebook端末を増設し、スムーズに授業が進行できるよう支援を行った。加えて児童生徒用のChromebookを追加購入し、児童生徒用PCの統一を進め、小学校2年生以上はChromeOSの整備を完了した。
令和5年度は、今後の児童生徒用及び校務用の端末更新に係る端末の台数把握し、nextGIGAに向けて必要な整備計画を策定した。また、ネットワーク環境が不十分な学校に対して、環境改善を行った。
令和6年度は、GIGAスクールで先行導入していた児童生徒用端末のリース期間満了に伴う端末入替と校務用PCの一部更新を行った。また、公立学校情報機器整備事業に係る各種計画を公表したほか、加賀市教育情報セキュリティポリシーを策定した。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	2	2	1	7	ICT教育環境推進費(小)	124,493
②	一般会計	10	3	2	1	8	ICT教育環境推進費(中)	53,352
③								
関連決算額合計								177,845

有効性
(高い/普通/低い)

高い

費用対効果
(高い/普通/低い)

普通

内部評価
(拡充/継続/縮小/廃止)

継続

効果・波及効果

達成率

分析結果

児童生徒の端末保有率	目標	4,053台	=	100 (%)	経年や不注意による端末の破損台数が大幅に増加しており、端末の確保が難しくなっている。
	実績	4,053台			
	目標		=	(%)	
	実績				
	目標		=	(%)	
	実績				
内部評価の決定理由	目標		=	(%)	
	実績				
児童生徒におけるPC整備については、国の施策(GIGAスクール構想)に基づき、整備目標(児童生徒一人一台端末)は令和2年度に達成しているが、児童生徒のICT利活用は今後も必須であることから、より環境を向上していく。					

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

令和6年度は、令和2年度に導入した児童生徒用端末が4年目を迎え、経年による故障や不注意による破損件数が大幅に増加し、メーカーに修理に出した端末が戻ってくるまでに時間を要するようになった。令和7年度に実施予定の児童生徒用端末の更新時は、予備端末も学校及び教育委員会に確保をすることで、学校内で安定した端末を配置し、児童生徒の学びの機会損失とならないように努める。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑤時代に即した、安全・安心の学習環境づくり	

事業番号	1506	事務事業名	学校給食施設の適正管理事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	加賀市立の学校給食施設において、適正な給食調理の環境づくりを進めるとともに、学校給食調理従事者の資質向上を図ることで、児童生徒に対して安全・安心な学校給食の提供を促進する。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	安全・安心な学校給食を実施するために、給食施設及び設備の整備や補修を行い適正な施設管理を行った。また、学校給食における食物アレルギー対応についても実施基準に基づき、適切に対応を行った。 このほか、学校給食調理従事者に衛生管理の徹底について紙面通知や研修会を実施し、日頃の作業の改善につなげている。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	6	2	2	3	その他の運営費	232,009
	②	一般会計	10	6	2	3	1	管理委託費	1,164
	③	一般会計	10	6	2	3	2	備品整備費	5,553
	④	一般会計	10	6	2	3	3	維持補修費	7,509
	⑤	一般会計	10	6	2	4	1	施設管理費	13,272
	関連決算額合計								259,507
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	特定給食施設等の巡回指導実施校数	目標	8施設		＝	100 (%)	令和6年度は予定どおり実施し、改善した。		
		実績	8施設						
	衛生管理研究会実施校数	目標	6施設		＝	100 (%)	令和6年度は予定どおり実施し、衛生管理の徹底を図るために改善の方策を検討した。		
		実績	6施設						
		目標			＝				
		実績							
	内部評価の決定理由		児童生徒に安全・安心な学校給食を提供することは行政の責務であるが、大きな問題もなく実施している。 今後も継続すべき事業である。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
学校給食は成長期の子どもにとって健全な食生活を育むために欠かせないものである。今後も学校給食が各教科において生きた教材となるように児童生徒に対して安全・安心な学校給食の提供をしていく。 このために、衛生管理の徹底を図ることを目的として改善の方策を検討し、調理従事者全員で共通理解して知識や技術力を高め、衛生管理能力の向上を図っていくべきである。また、アレルギー対応についても適正に対応していく。 この他、老朽化する給食施設及び設備の修繕等については、安全・安心な学校給食が提供できるよう適正管理を実施するほか、提供体制についても検討していく必要がある。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)②6
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	⑥スポーツ活動の振興		

事業番号	1601	事務事業名	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン開催事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	マラソンを通じて加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」を全国に情報発信するとともに、参加者同士が楽しみながら交流を深めることにより、加賀市のスポーツ振興と、スポーツツーリズムとしての観光交流人口の増加を目指す。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）									
	H28に、タレントの間寛平氏の監修のもと、全国的にも珍しい夜間に走る第1回目となる「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン」を開催した。夕暮れ時の美しい風景の中を走るコースは、ランナーの評判が良く、募集締切前に定員に達している。 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2024については、1,104人がエントリーし、1,019人が出走した。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	6	5	2	3	加賀温泉郷マラソン推進費	13,971	
	②									
	③									
	関連決算額合計								13,971	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)			継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	参加者数		目標	1,100人		=	100 (%)	参加者数は、ほぼ目標値に達し、今後も見込める数値である。		
			実績	1,104人						
			目標			=	(%)			
			実績							
			目標			=	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		全国的にも珍しい夜間に走るマラソン大会を通じて、加賀温泉郷を有する観光都市「加賀市」の全国発信、及び加賀市のスポーツ振興を目的として開催しており、これらの目的達成に大いに寄与するものと思われる。このことから今後の継続開催が必要である。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）								
タレントの間寛平氏が監修した大会で、夕暮れから夜間にかけての公道走行、多数のタレントによる応援、お笑いライブステージ等、一般的なマラソン大会とはまた違った趣のある大会である。回を重ねることによる大会認知度が向上しており、今後も参加者数は確保できる大会であることから、今後も内容の充実を図りながら、特徴ある大会として継続して開催していくこととする。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1602	事務事業名	加賀温泉郷ウオーク開催事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	市民のスポーツに対する意識・関心を高めるイベントを開催することで、参加を促し健康増進を図る。また、併せて加賀温泉郷を有する観光都市加賀市を全国発信する機会とする。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）									
	令和6年11月4日に、第1回目となる「加賀温泉郷ウオーク2024」を開催した。重要伝統的建造物群保存地区に指定されている橋立や、美しい海岸沿いのサイクリングロードなど、景観豊かなコースを巡るウォーキングは、参加者から大変好評を博した。 また、コース内でのガスエビの試食や、会場内のキッチンカー出店など、加賀の豊かな「食」を堪能できる点も、参加者の満足度を高めた。 参加人数については、市内外から817人となった。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	6	5	2	1	スポーツ活動推進費	3,819	
②										
③										
	関連決算額合計							3,819		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	参加者数		目標	1,000人		＝	82 (%)	参加者数は、目標数を少し下回り、今後は増加を見込める数値であった。		
			実績	817人						
			目標			＝	(%)			
			実績							
			目標			＝	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		老若男女問わず誰もが参加できるイベントとして、市民の皆さんに広く親しまれた。ウォーキングという特性上、体力レベルに関わらず気軽に挑戦できたため、市民誰もが参加できる機会を提供できたと評価している。特に家族連れの参加が多く、参加者からはふるまいなど好評をいただいた。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）								
今回の大会では募集期間が短く、参加者の増加を阻む要因となった。 次年度以降は募集期間を長く設定し、SNSの活用など広報活動を一層強化することで、より多くの参加者獲得を目指す。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1603	事務事業名	スポーツ教室の開催事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	市民がスポーツに関心を持ち、日常生活に取り入れ、健康で豊かな生活を営むことを目的とする。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	市民山登りについては、11月10日曜日に富士写ヶ岳登山を実施した。 消防職員及びスポーツ推進委員がサポートのもと、小学生を含め18名の市民の方々が参加した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①								
	②								
	③								
	関連決算額合計								0
	内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続		
		効果・波及効果	達成率				分析結果		
参加者数 (山登り)		目標	20	=	90 (%)	すぐに定員に達する好評を得ている事業である。			
		実績	18						
		目標		=	(%)				
		実績							
		目標		=	(%)				
		実績							
内部評価の決定理由		市民山登りは、スポーツ推進委員や消防職員のサポートを受けながら安心して登山できるため、初心者や親子にも参加しやすいものとなっている。							
今後の方向性		次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民山登りについては、毎年好評を得ており、直ぐに定員に達することから、開催回数を増やすなど検討していきたい。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1604	事務事業名	ニュースポーツ大会の開催事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

運動不足解消やニュースポーツの普及促進を目的とし、市民の誰もが気軽に参加でき、市民の健康増進、体力向上を目指す。

実施状況

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

ニュースポーツの普及事業として、気軽に楽しめるものを中心とした6種目で、12月1日曜日に「レクリエーションスポーツ大会」を開催した。36組72名が参加し、ニュースポーツを楽しんだ。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	6	5	2	1	体力づくり推進費	16
②								
③								
関連決算額合計								16

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
効果・波及効果		達成率		分析結果		
参加者数	目標	100人		=	72 (%)	全体数も昨年度とほぼ横ばいで、ほとんどが高齢者の参加である。
	実績	72人				
	目標			=	(%)	
	実績					
	目標			=	(%)	
	実績					
内部評価の決定理由		年齢性別問わず、誰もが参加できる大会として毎回好評を得ているが、若年層の参加が非常に少ない。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

ニュースポーツは子どもから大人まで楽しめるものであるため、比較的高齢の参加者が多い。若年層にも参加してもらえるように広く参加を呼び掛けていくとともに、大会のあり方についても検討していく。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1605	事務事業名	生涯学習・生涯スポーツ施設の有効活用事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要											
	体育施設の比較的利用の少ない日中の時間帯を有効活用できるように、高齢者などを対象としたスポーツ教室を開催し施設の利用促進を図る。 スポーツ施設の充実を図り、安全安心な生涯スポーツ活動を行うことができるよう、効率的な施設運営を行う。											
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）											
	指定管理者に対し、自主事業を実施し利用者の増加に努めるよう促している。 水泳プールにおいては、水泳教室等の自主事業を積極的に行っており、また、スポーツ振興事業団においては、ピラティス教室やパークゴルフの大会の開催など、利用者数の増加に努めた。											
	令和6年度決算											
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）			
	①											
	②											
③												
	関連決算額合計								0			
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）			普通	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続			
	効果・波及効果		達成率				分析結果					
	自主事業数		目標	6事業		＝	83 （％）	各指定管理者において、自主事業を実施してはいるが、更なる施設活用が必要である。				
			実績	5事業								
			目標			＝	（％）					
			実績									
			目標			＝	（％）					
			実績									
	内部評価の決定理由		年齢性別問わず、誰もが参加できる教室として毎回好評を得ているが、若年層の参加が少ない。 また、更なる施設の活用が可能であることから、各指定管理者における自主事業の実施を図っていく必要がある。									
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）										
指定管理者に対しては、これからも利用者の少ない施設や、利用者の少ない時間帯については、より施設を有効活用するよう指導を継続していく。 また、自主事業の実施により利益を得て、その分を指定管理料の削減に充てて、市の負担を軽減するといった指定管理者制度の本質についても指導し、自主事業の実施に向けた意識改革に繋げる。												

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1606	事務事業名	スポーツ競技の育成支援事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	市内競技団体の活動を補助し、競技力向上や各競技人口の拡大を図る。各競技団体の活発な活動は、団体加入者の増加やスポーツ成績の向上につながり、スポーツを通じた元気なまちづくりと、市出身のアスリート育成を目指す。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）								
	加賀市スポーツ協会への活動補助や市民スポーツ大会の委託料、各競技団体に対し県民スポーツ大会に参加するための費用に係る活動補助を交付した。 市民スポーツ大会は、夏季大会が5月から11月にかけて市内の体育施設等において開催、冬季大会は1月に小松市の大倉岳高原スキー場で開催し、35競技1,685人が参加した。 県民スポーツ大会夏季大会については、七尾市を主会場として8月3日、4日に開催予定であったが、能登半島地震の影響により中止となった。冬季大会については、2月22日、23日に白山市で開催し、32名が参加した。 また、全国規模の大会に出場した選手等（98個人（コーチ含む）及び7団体）に激励費を支給した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
	①	一般会計	10	6	5	2	2	体育育成推進費	7,924
②									
③									
	関連決算額合計							7,924	
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）			普通	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	県民スポーツ大会 優勝種目数	目標	12種目		＝	0 （％）	県民スポーツ大会夏季大会が能登半島地震により中止となった。		
		実績	0種目						
		目標			＝	（％）			
		実績							
		目標			＝	（％）			
		実績							
	内部評価の決定理由		市民スポーツ大会のついては、各競技協会を通じて市民に定着した大会となっている。 県民スポーツ大会については、各競技協会などが積極的に参加しており、各単位協会等のない種目等についても、スポーツ推進委員などの協力を得て参加するなど、少しでも成績を上げられるよう努力している。この大会は、多くの競技者にとって目標となっている大会であり、普段の練習成果を存分に発揮できる貴重な大会となっている。 また、激励費の支給を通じて競技スポーツ選手や団体の支援を行っており、競技力の向上や競技スポーツの振興を図っている。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）							
各大会においても若年層、特に若い女性の参加者が少ないことから、スポーツ協会に属する各競技団体の人材育成と若い人の拡大が図れる施策を図っていく。 また、激励費については、対象者に漏れがないよう情報収集を積極的に行い、優秀な競技スポーツ選手の支援に努めていく。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1607	事務事業名	スポーツ教室の開催の運営支援事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	スポーツ初心者など、誰もが気軽にスポーツに取り組み楽しむことのできる環境づくりを推進する。もって、幅広いスポーツの推進と健康増進を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	市内のスポーツクラブや、市スポーツ協会加盟団体等でスポーツ教室を行っており、少年教室においては、市スポーツ協会を通じて活動支援を行うとともに、市内各小学校に募集のチラシを配布している。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①								
	②								
	③								
	関連決算額合計								0
	内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
		効果・波及効果		達成率				分析結果	
少年教室数		目標	44教室	=	100	教室数の現状維持を保っていく。			
		実績	44教室		(%)				
		目標		=					
		実績			(%)				
		目標		=					
		実績			(%)				
内部評価の決定理由		継続して少年クラブ・教室については、活動支援を行っている。また、募集等に係るチラシも毎年市内各小学校に配布し周知している。							
今後の方向性		次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	今後もクラブ・教室の運営支援等を継続していく。また、積極的に情報提供を行っていく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1608	事務事業名	スポーツ推進委員による開催事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ

目的・概要

実施状況

内部評価

今後の方向性

事務事業を実施する目的と概要

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

令和6年度決算

関連決算額合計

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

生涯スポーツ推進の一環として、スポーツ推進委員による各団体のニーズに合わせたニュースポーツの指導（講義・実技）を行う。
町内行事やおたっしやクラブなどの団体を中心に、各々が自分で行うことが出来るように指導し、継続してニュースポーツに取り組んでもらうきっかけ作りとする。

毎年のレクリエーションスポーツ大会に加え、いきいき大集合やまちづくり単位の大会での指導が増えた。
また、スポーツ推進委員の研修会にも参加し、専門的な知識や先進地事例を学んでいる。

令和6年度決算

関連決算額合計

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

有効性
(高い/普通/低い)

普通

費用対効果
(高い/普通/低い)

普通

内部評価
(拡充/継続/縮小/廃止)

継続

効果・波及効果

達成率

分析結果

ニュースポーツ大会の指導数

目標

5大会

=

60
(%)

まちづくり単位の大会の指導する機会が増えた。

実績

3大会

ニュースポーツ講習の開催数

目標

5回

=

400
(%)

指導数としては増加したが、一部の委員のみが指導してる。

実績

20回

内部評価の決定理由

ニュースポーツの大会開催や指導は増加したが、一部の委員や地区に偏る傾向があるため、更なる活用をしてもらうための委員の紹介等を実施していく。

各地区のスポーツ推進委員が中心となり、各地区においてニュースポーツの普及促進を図っていく。
また、ニュースポーツ講習会においても、講師を務めるなど、各種団体においてもニュースポーツなどの普及促進していく。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑥スポーツ活動の振興	

事業番号	1609	事務事業名	スポーツ施設の充実事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

スポーツ施設を、利用者の安心安全と利便性の向上が図れるよう整備を行う。

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

令和6年度においては、加賀体育館の屋根雨漏り改修、武道館大規模改修に係る実施設計、山中健民体育館のトイレ洋式化、スポーツセンターのメインアリーナ床改修、山中球場駐車場整備、中央公園野球場のディフェンスマット及び雨漏り改修など行った。
また、水泳プール整備に係る官民連携調査業務を行い、調査の結果、加賀温泉駅南側に建設することとし、公募型プロポーザル方式により新プールを整備することとした。
今後も、公共施設マネジメントに則り、計画的に改修及び統合等を実施し、利用者の安心安全及び利便性を図っていく。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	6	6	20	4	加賀体育館整備費	36,300
②	一般会計	10	6	6	20	6	武道館整備費	29,590
③	一般会計	10	6	6	20	9	山中健民体育館整備費	6,655
④	一般会計	10	6	6	20	12	かが健康グリーンパーク整備費	299
⑤	一般会計	10	6	6	20	13	スポーツセンター整備費	12,518
⑥	一般会計	10	6	6	20	14	山中球場整備費	5,555
⑦	一般会計	10	6	6	20	15	その他体育施設整備費	58,300
⑧	一般会計	10	6	6	91	6	水泳プール整備費(繰越明許費)	17,710
関連決算額合計								166,927

有効性
(高い/普通/低い)

普通

費用対効果
(高い/普通/低い)

高い

内部評価
(拡充/継続/縮小/廃止)

継続

効果・波及効果	達成率				分析結果	
利用者数(全体)	目標	410,500人		=	67 (%)	老朽化が激しい施設が多く、使用に支障を来している施設もあることから、計画的な改修等を行っていく必要がある。
	実績	275,564人				
	目標			=	(%)	
	実績					
	目標			=	(%)	
	実績					
内部評価の決定理由	体育施設において、安心安全な利用と、利便性を向上するために改修すべき点がみられることから、各施設の優先度を見極めながら充実事業を継続していく。					

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

公共施設マネジメントの基本方針やスポーツ推進計画の基本施策に従い、重複している施設について、統廃合を含めた適正配置を検討する。
また、経年劣化の激しい施設については、利用者の安全確保の点からも、計画的に整備を行っていく。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1701	事務事業名	中谷宇吉郎自然科学と芸術による研究教育事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	学校教育グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	加賀市と一般財団法人中谷宇吉郎記念財団とが連携・協力をし、中谷宇吉郎博士の研究領域であった「自然科学」と造詣が深い「芸術」をテーマとする新しい学問を加賀の地から立ち上げ、世界へと発信し、そこから付加価値を生み出すことを目指す。 市外で中谷宇吉郎博士にちなんだ教育事業・企画展示を行うことで、加賀市について関心をもってもらおうことを目指す。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	岡崎ディレクター、中谷美二子はじめ、研究者、アーティスト、有識者によるテキスト等をアーカイブとしてWEB上に残し維持管理を続けている。 多摩六都科学館において、ちきゅうラボの企画展示として『「天から送られた手紙」にふれてみよう～雪と氷がおしえてくれること2025～』を実施。開催が3年目となり、会期を2週間から4週間に延長したことで、来場者数も以前より増加した。展示準備に向け多摩六都科学館スタッフは、古川義純(雪の科学館館長)と北大低温研が行った雪の観察に同行し新たに雪の結晶のレプリカを制作した。平日は都内の幼少中学生団体に向けた観察の機会を設けた。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	1	2	3	4	教育振興事業費	313
	②								
③									
	関連決算額合計							313	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	加賀市の知名度向上		目標	加賀市の知名度向上		=		展示会場の来場者には中谷宇吉郎博士の功績と加賀市について印象は残った。	
			実績	展示会場にリーフレット設置					
			目標			=	(%)		
			実績						
			目標			=	(%)		
			実績						
	内部評価の決定理由		展示会場に雪の科学館のリーフレットやガイドブックを設置し、加賀市の知名度向上を図っていた。 教育事業・企画実施について、雪の科学館友の会の協力を得て、北海道十勝岳で撮影した「雪のレプリカ」の作成動画は好評だった。これらにより、さらに全国各地の科学館や学校、図書館、児童館などに巡回できる展示パッケージがさらに充実したと考える。						
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	一般財団法人中谷宇吉郎記念財団は、「中谷宇吉郎アーカイブセンター構想」を持ち、雪の科学館が所蔵する貴重な資料の安全な保存管理と、さらにその資料価値を後世に正しく伝え、そのことが、加賀ならではの教育と歴史、文化のさらなる発展につながることを目指す。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)①2
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1702	事務事業名	市民文化講演会開催事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	時宜に応じた旬の講師を招き、市民の誰もが気軽に参加できる市民文化講演会を開催し、市民の教養や文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会を提供することを目的とする。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	令和6年度の市民文化講演会は、加賀市医師会と共催し、脳科学者の茂木健一郎氏を講師に「人工知能AIが帰る近未来の社会」と題して実施した。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	1,240	
	②									
	③									
	関連決算額合計								1,240	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	講演会参加者数	目標	1,000			=	69 (%)	著名な講師を招くことで、多くの市民が参加し、教養を高めることができた。		
		実績	689							
		目標				=	(%)			
		実績								
		目標				=	(%)			
		実績								
	内部評価の決定理由		時宜に応じた講師を招いての講演会であり、市民の教養・文化知識を高め、豊かなライフスタイルを見出す機会の提供となっている。また、長年継続して開催している講演会であり、毎年期待している市民が多いことから、今後も継続が必要である。令和6年度は、加賀市医師会との共催であったことから、市単独より広く周知でき、より質の高い会になったとともに、費用対効果も高かった。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
これまでは比較的年齢層が高い市民が聴講に来たが、若者層の聴講も視野に入れ、高齢者のみならず若年層も楽しめる話題の講師の人選を行うとともに、市の他の事業や関係団体との連携や人の集まりやすい会場での開催など、工夫を凝らした企画をすることで、継続して市民の参加を促せるよう努める。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)①2
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり		
施策	⑦生涯学習の振興		

事業番号	1703	事務事業名	ふるさと学習の推進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	児童がふるさとの歴史や伝統文化に触れ理解を深めることにより、ふるさとへの愛情と誇りを持つ心を育てることができる。また、親子が一緒に活動することで、共通の話題に触れることができ、子どもの意欲や関心も深まり、バランスのとれた心身の成長が促されることを目的とする。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	市内の小学生と保護者を対象に「すすめ！ふるさと探検隊 加賀のいいとこ大発見！！」と題して市内の名所・施設等を巡る親子ラリーを実施し、10か所達成ごとに認定証を交付している。 令和6年度の認定者は延べ6人で、50か所を達成した探検隊長1人、60か所を達成した探検大使1人を表彰した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	3
②									
③									
	関連決算額合計							3	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	探検隊長年間達成者数	目標	10		=	10 (%)	コロナ禍が落ち着き行動に変化が生じ、達成者数が減少傾向にある。		
		実績	1						
	探検大使年間達成者数	目標	10		=	10 (%)	コロナ禍が落ち着き行動に変化が生じ、達成者数が大減少傾向にある。		
		実績	1						
		目標			=	(%)			
		実績							
	内部評価の決定理由		達成率は想定より大幅に下回ったが、親(保護者)と一緒に行動することにより、家庭での共通の話題が増え、また、市内の名所・旧跡等を巡ることにより、郷土の歴史や文化に触れ、ふるさとへの愛着が形成されるため、今後も継続する。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
ふるさと探検隊を実施することで、ふるさとへの愛着を育み、親子の絆を深めることにつながっている。 今後も、多くの探検隊長・探検大使を目指し、たくさんの児童が参加してくれるよう周知に努め、小学校と連携を図りながら取り組んでいく。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1704	事務事業名	かがやき市民大学の促進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	広く市民が生涯学習に親しむきっかけづくりとして、自己申告による点数獲得運動(100点運動)を展開し、獲得した点数により、単位認定証の交付を行い、市民の自発的な生涯学習を推進する。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	延べ15名の自己申告があり、獲得した点数に応じて、認定証や称号授与書の交付、市広報への掲載を行った。令和6年度は2,000点達成後も11名の方が新たに100点運動を続け、3,000点獲得に迫る勢いがあり、継続的に活動する市民が増加していると捉えている。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
	関連決算額合計							0	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続		
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	認定証交付件数		目標	30	=	50	長期的に続けている方が大部分であり、新規等の件数が伸び悩んでいる。		
			実績	15		(%)			
			目標		=				
			実績			(%)			
			目標		=				
			実績			(%)			
内部評価の決定理由		2,000点達成後も運動を継続する参加者が増加傾向にあり、生涯学習の推進に寄与している。今後も、生涯学習に取り組むきっかけづくりとして、そして、新規等件数が増えるよう広く進めていく必要がある。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	広く生涯学習に親しむきっかけとして、手軽に取り組める事業であり、広報やHP、また、地区広報誌等でPRすることにより、多くの市民の参加を図る。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1705	事務事業名	蔵書の充実事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

事務事業を実施する目的と概要

目的・概要

乳幼児から高齢者まで、すべての市民の多様な要望に応じるため幅広い分野の資料を収集する。

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

利用者や知の情報拠点としての蔵書バランス等を考慮して司書が週1回選定会議を行っており、一般書4,303冊、児童書1,546冊、視聴覚資料96点を新たに受け入れた。受入れのうち130冊は利用者からリクエストされた図書資料を購入した。
電子書籍については、同じ本を複数人で読める児童書の読み放題パックを含め1,522冊購入した。また雑誌の読み放題サービスなど、紙媒体とは違うサービスを提供し、幅広い世代に対応できる蔵書の充実を図った。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	2,971
②	一般会計	10	5	3	1	2	図書館等購入費	19,285
③	一般会計	10	5	3	1	7	図書館事業費	3,288
関連決算額合計								25,544

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続
効果・波及効果		達成率		分析結果	
一人当たりの蔵書数 (蔵書数÷人口)	目標	(R5) 4.9冊	=	97 (%)	一人当たりの蔵書数をほぼ維持できている。
	実績	(R6) 4.8冊			
蔵書回転率 (貸出冊数÷蔵書数×100%)	目標	(R5) 0.9回	=	100 (%)	蔵書の回転率を維持できている。
	実績	(R6) 0.9回			
デジタル図書館蔵書数	目標	(R5) 40,645点	=	100 (%)	電子書籍は期間や貸出回数で利用アクセスがなくなるものもあり、蔵書が減少していくが、その分を見越して購入しており、蔵書数を維持している。
	実績	(R6) 40,696点			
内部評価の決定理由		利用者のニーズを把握し、バランスを考慮した選書によって蔵書全体を充実させることで、蔵書数や蔵書回転率の維持(向上)ができています。			

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

図書を選ぶ際には、可能な限り利用者が要望する資料を選書するよう努める。蔵書数と図書の分類に配慮し、バランスの良い蔵書の維持と適切な除籍を行い、今後も蔵書管理を行っていく。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1706	事務事業名	レファレンス(相談機能)能力の向上事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館	

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

利用者から情報や資料を求められたときに迅速・的確に提供するため、レファレンス（相談機能）を高める。

実施状況

事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）

資料を探している利用者に適切な資料を提供したり、情報を提供したりした。郷土に関する難易度の高い相談にも応じ幅広くレファレンスを行うとともに専門性の高いものを中心にレファレンス事例を蓄積して共有した。また研修を受け、職員のレファレンス能力の向上に努めた。
両館でのレファレンス件数 5,936件

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
①	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営	315
②	一般会計	10	5	3	1	7	図書館事業費	4,250
③								
関連決算額合計								4,565

内部評価

有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）	普通	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）	継続	
効果・波及効果		達成率			分析結果	
レファレンス件数	目標	(R5) 4,848件		=	(%)	昨年から1,088件増加している。経験値を増やすことでレファレンス能力の向上に繋がっている
	実績	(R6) 5,936件				
	目標			=	(%)	
	実績					
	目標			=	(%)	
	実績					
内部評価の決定理由		積極的にレファレンスを受け、経験値を増やして、レファレンス事例集を作成して共有するとともに、研修会を行い、職員全体のレファレンス能力を向上させている。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）

今後も、レファレンス事例集を作成し、職員間で情報を共有し、研修会に積極的に参加していくことで、職員のレファレンス能力の向上を図る。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1707	事務事業名	行政資料・郷土資料の充実事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	利用者をはじめ、市議や市職員が必要とする情報を迅速に提供するため、行政資料や郷土資料を集積し、充実させる。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	行政資料や地区広報等を収集し、利用者に県内市内に関する情報を提供できるよう市政図書室に配置した。地域の文化や資料を次世代に継承するため、郷土資料のデジタル化を進め、デジタル化した記録映像や音声デジタル図書館内の独自資料ページで公開し、視聴できるようにした。 令和4年度から引き続き国文学研究資料館の補助(10/10)を受け、特別蔵書である聖藩文庫のスキナ撮影を行い、デジタル化した資料を国文学研究資料館が運営する国書データベースで公開した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営費	151
②	一般会計	10	5	3	1	2	図書等購入費	220	
③	一般会計	10	5	3	1	7	図書館事業費	7,522	
関連決算額合計								7,893	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	聖藩文庫デジタル化 点数	目標	6,350冊		=	19 (%)	聖藩文庫の全デジタル化を目指す。デジタル化したものは国書データベースで公開した。		
		実績	1249冊						
	郷土資料デジタル化 点数	目標	838点		=	55 (%)	図書館所有の郷土資料の全デジタル化を目指す。デジタル化したものは、デジタル図書館の独自資料ページで公開した。		
		実績	464点						
		目標			=	(%)			
		実績							
	内部評価の決定理由		郷土資料の収集やデジタル化に努めており、自館の郷土資料を活用して利用者からのレファレンスに対し、適切な対応ができています。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
郷土資料や聖藩文庫については、経年劣化によって視聴不能となる前にデジタル化を進めることで、郷土の歴史や文化を後世に伝えていく。 また、公開可能なものは順次公開して来館しなくても視聴できるようにし、利便性の向上を図る。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1708	事務事業名	自動車文庫・地区巡回サービスの充実事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	図書館から離れた遠隔地区住民の利便性を高め、読書活動を幅広く推進するために、市内を巡回して図書館サービスを提供する。										
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)										
	自動車文庫が入れない保育園と大規模小学校を除いた市内34か所の各施設を3週間に1回、巡回した。貸出冊数 11,599冊 地区巡回サービスでは、10地区会館を巡回して予約資料の貸出や返却資料の回収を行った。また、行政サービスセンター内に設置した返却専用ブックポストへの返却本回収も行った。返却冊数 5,560冊(内行政サービスセンター返却2,798冊)										
	令和6年度決算										
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)		
	①	一般会計	10	5	3	1	1	図書館運営	2,126		
②	一般会計	10	5	3	1	7	図書館事業費	3,874			
③											
	関連決算額合計								6,000		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続		
	効果・波及効果		達成率				分析結果				
	自動車文庫貸出冊数	目標	(R5) 11,599冊			=	104 (%)	R5年度より501冊増えており、園児及び児童が読書に親しんでいる。			
		実績	(R6) 12,100冊								
	地区会館巡回サービス取扱冊数	目標	(R5) 4,738冊			=	91 (%)	R5年度より392冊減っているが、一定の利用は維持している。			
		実績	(R6) 4,346冊								
	行政サービスセンター返却冊数	目標	(R5) 2,241冊			=	124 (%)	R5年度より557冊増えている。利用者の利便性の高い場所(ショッピングセンター内)に設置したことの効果が出ている。			
		実績	(R6) 2,798冊								
	内部評価の決定理由		自動車文庫および地区巡回サービスとも好評であり、継続を求める声が多い。また行政サービスセンターの返却専用ブックポストも一定の利用がある。								
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)									
自動車文庫については、学校や保育園の統廃合があった場合は、ステーションや巡回経路の見直しを行うとともに、これまで行けなかった施設の巡回を検討し、より多くの子どもたちに図書を提供していく。自動車文庫用の新刊購入や定期的な入れ替え等で魅力ある蔵書構成に努める。 地区巡回サービスと行政サービスセンター内の返却専用ブックポストの利用については、一定の利用があることから、引き続き遠隔地区住民への便宜を図るため、継続実施する。また、ホームページ等でサービスの周知を行い、さらなる利用者増を目指す。											

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1709	事務事業名	青少年健全育成の推進事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	地域ぐるみでの青少年の健全育成、非行被害防止を考える社会づくりを目指し、安全で安心な子育て環境を充実、実現し、心身ともに健やかな児童生徒の育成を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）								
	青少年健全育成の啓発、遊戯環境の浄化の推進活動のひとつとして、例年「グッドマナーキャンペーン」に取り組んでいる。9月のグッドマナーキャンペーンでは、延べ4,232人が学校や保育園、駅、通学路などで挨拶や交通ルールに関する声かけや見守りを行った。 また、石川県の「親子のホットネット大作戦」チラシを小中学生の保護者に周知し、インターネット利用に潜む危険性と、家庭でのルール作りや日常生活の見守りの大切さを啓発した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	1
②									
③									
	関連決算額合計							1	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	グッドマナー キャンペーン参加者数	目標	5,000人		＝	85 (%)	多少参加者数の増減はあるものの、継続して行うことにより毎年多くの協力を得られている。		
		実績	4,232人						
		目標			＝	(%)			
		実績							
		目標			＝	(%)			
		実績							
	内部評価の決定理由		グッドマナーキャンペーンでは、今後も子どもの安全確保や公共マナーの遵守に向けた見守り活動を継続して実施していく。また、インターネット利用における危険性の周知や、家庭内での適切なルールづくりを促すため、引き続き啓発活動に取り組む必要がある。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）							
グッドマナーキャンペーンを通じて、学校や保育園、駅、通学路などにおいて、あいさつの励行や交通ルールの声掛け、登校時の見守り活動への協力を引き続き呼びかけていく。 また、情報機器は日々進化しており、今後ますます子どもたちの保有率が高まることが予想される。子どもたちがインターネットの加害者にも被害者にもならないよう、正しい使い方の周知と、親子でのルールづくりの大切さについて、継続的な啓発活動を行っていく必要がある。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_1. 安心の子育てと地域に根ざした教育による笑顔あふれるまちづくり	
施策	⑦生涯学習の振興	

事業番号	1710	事務事業名	読書活動推進事業の充実事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	中央・山中図書館	

事務事業を実施する目的と概要

令和5年3月策定の加賀市市民読書活動推進基本計画に基づき、「市民読書の日」や「読書活動推進月間」を中心に読書活動を幅広く推進するために事業を行う。

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

中央図書館、山中図書館でそれぞれ月1回の定例おはなし会を行った。また大人向け講座と子ども向け講座を8回行った。読書活動推進月間である11月には「KAGA LIB FESTA」を開催し、絵本バッグ作成やデジタル図書館を使ったクイズなどを行った。延べ706人参加
保育園を職員が訪問し、読み聞かせを行ったり、小学校等の子たちの来館を受入れ、図書館サービスの紹介や館内探検を行った。保育園等：延べ12園、493人参加 小学校等：延べ13校、343人参加

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	2	3	7	読書活動推進	131
②	一般会計	10	5	3	1	7	図書館事業費	16,599
③								
関連決算額合計								16,730

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
効果・波及効果		達成率		分析結果		
おはなし会参加人数	目標	600人		=	117 (%)	コロナ禍で停止していた定期的なおはなし会を6年度から再開させた。土日開催のため、家族単位での参加者が多い。
	実績	(R6) 706人				
大人向け、子ども向け講座参加人数	目標	(R5) 518人		=	136 (%)	昨年度より188人増えている。利用者の興味を引く講座を開催したため
	実績	(R6) 706人				
	目標			=	(%)	
	実績					
内部評価の決定理由		定期的なおはなし会や子ども向け・講座大人向け講座を開催し、図書館に来館する機会を増やすことで、本に親しみを覚え、読書活動の推進に繋がっている。				

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

地域の情報拠点として、市民が読書活動を行える環境を整え、毎月23日の市民読書の日を中心とした行事等を実施し、子どもから大人まで、また障がいの有無にかかわらず、すべての市民が読書に親しむ機会の拡充など読書活動を推進していく。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤1
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり		
施策	①戦略的な観光振興策の推進		

事業番号	2103	事務事業名	北前船日本遺産推進事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	日本遺産のストーリー「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」に関連する全国52自治体で構成する「北前船日本遺産推進協議会」を中心に、広域連携して情報発信や普及啓発、環境整備等のさまざまな事業に取り組み、地域活性化の推進とともに、国内外からの観光誘客を目指す。 加えて、加賀市独自の北前船普及啓発活動に取り組むことにより、地域文化の振興や北前船文化の継承等につなげていく。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）									
	北前船日本遺産推進協議会は、北前船の寄港地を中心に16道府県52自治体が加盟している。シリアル型日本遺産のメリットを活かし、全国規模での北前船ブランドの確立を目指して地区ブロックでの事業を実施した。協議会全体としては、旅行商品の開発、ホームページの整備や関連商品の開発などの普及啓発事業をはじめ、オンラインセミナーの開講やデータベースの整備など、北前船の文化遺産を活用した事業を展開した。また、北陸ブロック（加賀市ほか全12自治体）では、カードラリーやグッズの製作など地域での周遊性を高める事業を実施するとともに、課題の共有や今後の事業についての意見交換を行った。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）	
	①	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	610	
②										
③										
	関連決算額合計							610		
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）		普通		内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	北前船の里資料館 入館者数	目標	12,000		＝	80.6 （％）	前年度比で約1～2割増加。目標達成率は8割を超えている。			
		実績	9,677							
		目標			＝	（％）				
		実績								
		目標			＝	（％）				
		実績								
	内部評価の決定理由		ブロック事業（カードラリー）や他市事業関連で来館者が増加傾向にあるほか、広域展開によるスケールメリットを活かした集客効果が現れつつある。日本遺産全体の事業である御周印帳事業にも参画しており、さらなる集客効果が見込める。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）								
引き続き、北前船日本遺産推進協議会でのブロック単位、全国単位での事業を展開することで、北前船のブランド力を高めていく。さらに、地元団体とともに、北前船のふるさと船主集落としての橋立独自の魅力を向上させ、他地域との差別化を図っていく。 教育委員会（文化課）では、文化的な側面から、北前船の里資料館を拠点とした北前船文化の発信や、全国北前船研究会と協力した学術的セミナーを行うなどの活動を継続していく。										

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり	
施策	⑥伝統文化の継承・活動充実	

事業番号	2602	事務事業名	伝統文化・芸能伝承の支援事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	市指定無形民俗文化財である「山中節」の継承と振興を図ることを目的に、山中節全国コンクールの開催に対し助成を行う。 古九谷の歴史・文化的意義を再評価し、発祥の地である加賀市を継続的にPRするため、古九谷修古祭の開催に対し助成を行う。 事業実施により、加賀市を代表する伝統文化・芸能を伝承するとともに、全国に広く発信し、知名度を高める。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）								
	山中節全国コンクールは、全国の民謡愛好者が山中温泉に集い、毎年9月に開催している。令和6年度は9月1日に実施し、少年少女の部に12名、大人の部に76名の参加があった。 古九谷修古祭は、令和元年度以降、主催者が開催を見送っている状況。								
	加賀市								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	2	3	3	文化振興推進費	600
②									
③									
	関連決算額合計							600	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		高い		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	山中節全国コンクール参加者数		目標	75		=	117.3 (%)	前年度を上回る参加者があり、目標値を越えている。	
			実績	88					
			目標			=	(%)		
			実績						
			目標			=	(%)		
			実績						
	内部評価の決定理由		山中節全国コンクールは、市指定無形民俗文化財である「山中節」の継承と、さらなる発展の場となっており、今後も、山中節の普及および後継者育成のために継続すべきと考える。						
	今後の方向性								
いずれも民間の実行委員会の事業であるため、活動の活性化を促しながら、継続的に支援し、伝統文化の継承と発展を目指していく。地域住民や若年層の積極的な参加も必要であるため、教育委員会（文化課）としては、住民や若者達に対し、郷土の伝統文化に触れる機会を設けることで興味を持って参加したいと思えるような仕掛けを検討していく。 古九谷修古祭は実行委員会による主体的な活動が基盤となっており、事業の継続等については、九谷磁器窯跡整備の進捗をふまえ、引き続き主催者の意向を確認していく。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり	
施策	⑥伝統文化の継承・活動充実	

事業番号	2603	事務事業名	松尾芭蕉・中谷宇吉郎・深田久弥などの全国発信事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	世界で初めて人工的に雪の結晶を生成した低温科学の先駆者である中谷宇吉郎、『日本百名山』で知られる深田久弥、『おくのほそ道』の旅程で山中温泉、大聖寺に立ち寄り句を詠んだ松尾芭蕉など、当市ゆかりの偉人達を広く全国発信するために各種企画展の開催や広報活動を行う。また、人物に関連した事業への参加や関係自治体との連携を行う。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）								
	中谷宇吉郎に関しては、開館30周年を迎えた中谷宇吉郎雪の科学館の記念事業を開催した。深田久弥に関しては、深田久弥山の文化館で、久弥の業績にまつわる展示（常設展、企画展）、久弥にまつわる本を読む「読書会」（月1回）、外部講師を招いて山や自然に関する講演を行う「聞こう会」等のイベントを開催した。松尾芭蕉に関しては、芭蕉の館で、松尾芭蕉や奥の細道にちなんだ展示（常設展、企画展）、「奥の細道を読む会」（月1回）等のイベントを開催した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
	①	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費（雪の科学館）	26,350
内部評価	②	一般会計	10	5	3	11	1	管理委託費（山の文化館）	8,008
	③	一般会計	10	5	3	20	1	管理委託費（芭蕉の館）	3,650
	関連決算額合計								38,008
	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）			普通	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数（雪の科学館・山の文化館・芭蕉の館）		目標	38,835		＝	88.59 （％）	約9割達成しており、ほぼ目標値を達成している。	
			実績	34,404					
			目標			＝	（％）		
			実績						
			目標			＝	（％）		
			実績						
	内部評価の決定理由		中谷宇吉郎雪の科学館では、オンライン企画を継続して実施しているほか、北海道大学低温科学研究所と連携協定を結び、雪や氷、宇宙などの講演会などを開催するなど積極的な事業展開を行っている。近年の登山・アウトドアブームにより『日本百名山』への関心はいまだに高く、深田久弥の知名度も向上しつつある。芭蕉を含め、これら加賀市ゆかりの人物の業績を顕彰し、情報発信することは市の文化的土壌をPRする上でも有効であり、継続すべきと考える。						
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）								
	著名な人物のゆかりの地として、当市をいかにPRしていくかが課題であり、周知や発信の方法を検討していく。中谷宇吉郎については、雪の科学館が中心となり、全国的な発信を行っているが、今後はもっと専門性を活かしたイベントの実施や効果的な情報発信に努めていく。深田久弥については、深田久弥山の文化館を中心として、深田久弥 終焉の地である荏岐市と相互連携した情報発信を検討していく。芭蕉については、芭蕉の館を中心に、山中温泉の歴史や文化も感じられるような展示を行っていく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり	
施策	⑥伝統文化の継承・活動充実	

事業番号	2604	事務事業名	文化体験プログラムの充実事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	九谷焼美術館	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	九谷焼窯跡展示館で「絵付け体験」、「蹴ロクロ体験」を実施し、市を代表する伝統工芸のひとつ、九谷焼の技術の高さを自らの体験で実感してもらい、より身近に感じてもらうとともに、工芸への理解を深めてもらうことを目的とする。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）									
	九谷焼窯跡展示館では、かつての伝統的な「錦窯」（薪で焚く絵付け窯）での焼成を一般公開している。また、「絵付け体験」、「蹴ロクロ体験」を年間を通じて実施している。（絵付け体験：255人、蹴ロクロ体験：128人）（指定管理事業として実施）									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）	
	①	一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	16,800	
	②									
③										
関連決算額合計								16,800		
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	高い		費用対効果 （高い/普通/低い）		普通		内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）	継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	陶芸体験教室 参加数 （絵付け・蹴ロクロ体験）		目標	700		＝	54.7 （％）	体験者数は前年度に比べると減少している		
			実績	383						
	入館者数		目標	8,000		＝	96.3 （％）	入館者は目標値に近い数値となっている		
			実績	7,703						
			目標			＝	（％）			
			実績							
	内部評価の決定理由		体験者数は減少しているものの、入館者数は概ね目標に近い集客があるため、継続すべきと考える。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）								
興味を引くテーマや観光客のニーズに応じた企画展・イベント等を行うとともに、体験施設としての独自性を広く情報発信することで、更なる入館者の増加につなげていく。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	2. 観光と歴史文化の振興による賑わいのあるまちづくり	
施策	⑥伝統文化の継承・活動充実	

事業番号	2605	事務事業名	市民文化活動の促進と支援事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	各展観施設において来館者に展示の理解を深めてもらうため、ボランティア解説員による展示解説を行う。来館者の満足度向上と解説員の学習意欲の高揚や生きがい創出、社会貢献につなげる。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	ボランティア解説員を展観施設ごとに育成し、団体客や希望者の事前予約を受けて展示解説を行った。石川県九谷焼美術館および北前船の里資料館では、新しい解説員も数名増えている。 【解説員の人数と実績】 (市の直営施設)石川県九谷焼美術館:9名、116回、北前船の里資料館:7名 139回 (指定管理施設)深田久弥山の文化館:1名、310回 ※中谷宇吉郎雪の科学館と九谷焼窯跡展示館は、実験や体験等の専門性が必要なため、職員が対応。 ※魯山人寓居跡いろは草庵は、ボランティアガイドはおらず、職員が案内対応。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	3	5	4	九谷焼美術館運営費	58
②	一般会計	10	5	3	6	3	北前船の里資料館運営費	70	
③									
	関連決算額合計							128	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)		高い		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	展示解説を行った回数	目標	560		=	100.9 (%)	目標値を超えている		
		実績	565						
	ボランティア解説員数	目標	20		=	85.0 (%)	目標値の8割以上を達成している		
		実績	17						
		目標			=	(%)			
		実績							
	内部評価の決定理由		来館者が解説員による解説、案内を受けることにより、展示資料への理解が深まり、満足度も高くなるため、事業として有効である。また、解説員にとっても郷土の歴史を学ぶ意欲が向上し、その知識が活かされる。生涯学習の場にもなっており、継続すべきと考える。						
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	解説ボランティアの養成講座を実施していくことで、新たな人員の確保と人材育成を引き続き行っていく。また、既存の解説員や解説団体に対しては、テキストとなる専門解説書の貸し出しや学芸員による解説指導など継続的な活動支援を行っていく。個人の来館者も気軽に利用できる解説員の体制づくりを検討していく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	3(2)②2
基本方針	_3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり		
施策	②IoTなどを活用した人材育成と新産業・研究への支援		

事業番号	3208	事務事業名	コンピュータクラブハウス加賀運営事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要				
	コンピュータクラブハウスは、学校外での子どもたちの居場所のひとつであり、得意分野や隠れた才能を発掘し、伸ばすことができる場である。 また、家庭や学校外で子どもたちが包括的なプログラミングを楽しみ、最新のテクノロジーに触れることで、創造性や自己肯定感を育み、ひいては将来のキャリア形成への意識を醸成し人材育成に繋げる。				

実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)							
	子どもたちが、家庭・学校外において「いつでも」「安全に」「テクノロジーに触れられる」コミュニティを確立し、運営することで発展的な学習の支援を実施している。 令和6年度は、従来の活動に加えて、デジタルスキルの更なる底上げを図ることを目的に、子どもたちの興味関心に合わせた各種ワークショップを多数実施した。また、実践の場として、十万石まつりでプロジェクションマッピングを披露し、様々なテクノロジー・アートに触れる機会と、達成感・成就感を得られる場を提供した。							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	5	2	3	6	ICT学習推進費	22,970

内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	廃止
	効果・波及効果		達成率			分析結果
	年間参加者延べ数	目標	1,800	=	136	令和5年度にSTEAM FES KAGAを実施したことにより、認知度が向上し大幅な参加者増に繋がった。
		実績	2,445		(%)	
	新規参加者数	目標	180	=	93	リピーターの獲得は出来たが、新規利用者数の増加は一步届かなかった。
		実績	168		(%)	
		目標		=		
		実績			(%)	
内部評価の決定理由		令和6年度は、年間199日開催し、過去最多となる延べ2,445人の子どもが来館し、プログラミングや最新のテクノロジーに触れ専門性を高めることができた。来館者の増加は、令和5年度に、かが交流プラザさくらで「STEAM FES KAGA」を開催したことが要因と考えられ、コンピュータクラブハウス加賀に興味を持つ子どもが増えたものと判断できる。 今後、学校STEAM教育の内容を踏まえながら、クラブハウスとして取り組む内容を再検討するため、一旦休止することとした。				

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)				
	小学校1年生から実施している学校STEAM教育を踏まえ、一部の児童生徒だけではなく、全ての児童生徒を対象とした事業とする等、市として取り組むべき総合的な事業の再検討を行う。				

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_3. ものづくりと雇用創出で活力と勢いのあるまちづくり	
施策	④地元就職の促進とPRの推進	

事業番号	3401	事務事業名	ロボレーブ世界大会派遣事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	学校指導課・教育庶務課	グループ	学校指導グループ・学校教育グループ

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

GIGAスクール構想が本格的に始動するなか、ロボレーブ世界大会への参加は、ICTやSTEAMに関心を抱かせるだけでなく、ものづくりの楽しさと大切さを認識する絶好の機会となり、またDX人材育成の礎となる。さらに、世界各国の多様な子どもたちと交流することとおして、国際親善や国際協調の心を養うことができ、グローバルな視野を持った子どもたちを育むことができる。

実施状況

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

令和6年度の世界大会(開催地:オーストラリア)は、燃料費の高騰により渡航に係る費用が従来と比較して大幅に増額となったため、大会出場を取りやめた。

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	1	2	3	5	教育交流活動費	0
②								
③								
関連決算額合計								0

内部評価

有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
効果・波及効果		達成率		分析結果		
実施しなかったため、 評価せず	目標	2チーム 6名		=	0	同左
	実績	0名			(%)	
	目標			=		
	実績				(%)	
	目標			=		
	実績				(%)	
内部評価の決定理由		ロボレーブ大会に児童生徒が参加することによって、プログラミング学習やSTEAM教育の推進に大きな成果を上げている。世界大会に出場することで、今後ますます重要となるDX人材育成、グローバルな視野を持つ人材育成のためにも必要な事業である。				

今後の方向性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

ロボットの性能は日々進化しており、過去の世界大会の際、加賀市の子どもたちが使用している既存のロボットでは他国の選手と対等に競うことが難しかったため、加賀市の子どもたちが世界大会で十分に力を発揮することができるロボットなどの機器と指導体制を整備し、今後の国際大会及び世界大会に臨みたい。

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_5. みんなが手を取りいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
施策	①市民交流・まちづくり活動の活性化	

事業番号	5103	事務事業名	公民館大会の開催事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	公民館の活動紹介や各地区の生涯学習の発表を行う公民館大会(隔年)を開催することで、広く市民に周知し、生涯学習の推進やまちづくり活動の充実を図ることを目的とする。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	公民館大会は、隔年開催のため、令和6年度は開催されなかった。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	2	3	1	生涯学習推進費	0
②									
③									
	関連決算額合計							0	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
			目標			=			
			実績			(%)			
			目標			=			
			実績			(%)			
			目標			=			
			実績			(%)			
	内部評価の決定理由		公民館長が中心となって企画・運営することで地域との連携が生まれ、公民館活動や生涯学習への理解が深まっている。また、活動事例を発表することで、公民館を中心とした地域コミュニティの活性化や地域間交流につながっている。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
公民館長の任期は2年であるため、大会は隔年開催としているが、1年目から地域の特色を生かした公民館活動やまちづくり活動に取り組めるよう、地域住民との連携を図っている。また、こうした活動の事例発表を通じて、公民館を中心とした地域コミュニティの活性化を促進する。なお、令和7年度は県の公民館大会が加賀市で開催されることから、大会に向けて各館が連携し、準備を進めている。									

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	5. みんなが手を取りいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
施策	②若者などの移住・定住の促進	

事業番号	5205	事務事業名	高校魅力化事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	教育庶務課	グループ	学校教育グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要									
	市内中学生や高校生が地域課題の解決等の探求的な学びへの実現に向けた取組や市内高校活動支援を推進する。これにより、若いうちに地元地域の良さを知ることによって地元への定着を促進するとともに、地域活動に中学生・高校生が参画することにより地域の活性化を図ることで、市内中学生の市内高校への進学率を上げ、教育環境の充実や将来の若者の定住促進を図る。									
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)									
	令和3年度に採用した高校魅力化スタッフ(地域おこし協力隊)3名のうち2名が引き続き、市内中学校・高校の総合的な学習8探究)の時間を支援した。 令和6年度は大聖寺高校での探究事業支援、校内予備校実施に向けた協力に加え、大聖寺実業高校における市議会議員との交流支援、加賀高校での地域人材交流会のコーディネート業務、部活動の地域移行に伴うSTEAMクラブの立ち上げ活動支援を行った。									
	令和6年度決算									
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)	
	①	一般会計	10	1	2	3	4	教育振興事業費	11,009	
②										
③										
	関連決算額合計							11,009		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		縮小		
	効果・波及効果		達成率				分析結果			
	市内中学生の 市内高校進学率		目標	70%		=	63.7 (%)	ここ数年は40%～45%の数値で推移。一方小松市への流出についてもここ4年程は40%前半で推移している。		
			実績	44.6%						
			目標			=	(%)			
			実績							
			目標			=	(%)			
			実績							
	内部評価の決定理由		年間を通して計画的に総合的な学習(探究)の時間の支援を継続的に行うことでより高校との関係構築を図ることができた。 令和6年度いっぱい地域おこし協力隊2名も任期満了に伴い退職となることから、縮小。							
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
令和6年度いっぱい地域おこし協力隊2名が任期満了に伴い退職となるが、今後も高校の魅力化を図るための活動に対する補助金や、退職した地域おこし協力隊が高校の探究活動の支援を実施し、引き続き高校魅力化を図っていく。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	成長戦略	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_5. みんなが手を取りいきいきと安心して暮らせるまちづくり	
施策	⑥ボランティア活動の推進	

事業番号	5601	事務事業名	地域ヤングボランティア育成事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要											
	地域で地道に善行を行っている青少年グループ及び個人に「加賀市青少年善行奨励賞『あすなろ賞』」を授与し、善行を奨励するとともに、報道等を通して周知を図ることで他の青少年の善行を促し、青少年健全育成活動の推進を目的とする。											
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）											
	令和6年度は、地域貢献活動に積極的に取り組む加賀高校キャリアアップ部に授与。駅周辺の清掃や児童との交流、花植え等を通じ奉仕の精神を育み、地域とのつながりを深めている様子を新聞各紙、加賀ケーブルテレビで広く周知し、青少年の善行を促した。											
	令和6年度決算											
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）			
	①	一般会計	10	5	5	2	1	青少年健全育成奨励費	5			
	②											
	③											
	関連決算額合計								5			
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）			普通	内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続			
	効果・波及効果		達成率				分析結果					
	表彰者数（団体・個人）	目標	4		＝	25 （％）	新聞等で周知を図り、更なる広報活動が必要。					
		実績	1									
		目標			＝	（％）						
		実績										
		目標			＝	（％）						
		実績										
	内部評価の決定理由		広い周知活動を行うことにより、青少年の善行を促す機会が提供できる。 また、「加賀市青少年善行奨励賞『あすなろ賞』」対象の個人及び団体を石川県知事表彰に繋げるため、今後も継続が必要。									
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）										
今後も広く推薦依頼を行い、善行を行っている個人又は団体を表彰する。あすなろ賞を受賞した個人及び団体の活動内容を精査し、石川県知事表彰『石川県青少年育成表彰』につなげ、青少年善行活動を奨励していく。												

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり	
施策	②良好な歴史的景観の保全	

事業番号	6201	事務事業名	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要										
	平成17年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀橋立伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。										
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)										
	保存修理事業として土蔵1件、納屋1件、脇門1件の工事が完了した。併せて、地域活性化を図るため加賀橋立まちなみ保存会による北前船の里まつりの保存啓発事業について活動を支援している。										
	令和6年度決算										
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)		
	①	一般会計	10	5	4	8	1	加賀橋立伝統的建造物群保存地区保存整備費	12,719		
②											
③											
	関連決算額合計								12,719		
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)		高い		費用対効果 (高い/普通/低い)		高い		内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果			達成率				分析結果			
	「橋立ブランド」を強化することで県内外はもとより海外からの誘客が期待できる			目標		特定物件(建築物)全ての保存修理工事を完了する		=	42		特定物件(建築数)の修理数が橋立町(45/108件)となり、着実に実績数を残してきている。
				実績		108件中45件の保存修理工事が完了した			(%)		
				目標				=			
				実績					(%)		
				目標				=			
				実績					(%)		
	内部評価の決定理由			北前船の船主集落を保存整備し、地域の文化遺産として後世へ継承することの重要性にあわせ、観光資産としても非常に価値があることから、継続すべきと考える。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)										
	未修理事業の保存修理事業を継続して進めるため、所有者等と綿密に連絡を取りながら保存事業の重要性を理解してもらう。また、保存修理が完了した物件に関し文化遺産・観光資源としての有効活用を検討していく。										

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤5
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6202	事務事業名	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	平成23年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された加賀市加賀東谷伝統的建造物群保存地区において、保存計画に基づき、後世に伝える地域の財産として伝統的建造物群の保存修理事業を実施し、文化基盤の向上を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	主屋1件、納屋1件修理した。次年度からの工事要望件数は増加しており、保存修理事業件数は増加する見込み。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	4	10	1	加賀東谷伝統的建造物群保存地区保存整備費	14,015
	②								
内部評価	③								
	関連決算額合計								14,015
	有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)			高い	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	景観(町なみ)を整備することで県内外はもとより海外からの誘客が期待できる		目標	特定物件(建築物)全ての保存修理を完了する		=	40 (%)	4町での特定物件(建築物)の修理数が荒谷町(14/43件)、今立町(19/58件)、大土町(16/22)、杉水町(6/13件)となり着実に実績を残してきている。	
			実績	4町136件中55件の保存修理工事が完了した					
			目標			=	(%)		
			実績						
			目標			=	(%)		
			実績						
内部評価の決定理由		山村集落を保存整備し、地域の文化遺産として後世へ継承することの重要性にあわせ、観光資源としても非常に価値があることから、継続すべきと考える。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	未修理事業の保存修理事業を継続して進めるため、所有者等と綿密に連絡を取りながら保存事業の重要性を理解してもらう。また、保存修理が完了した物件に関し文化遺産・観光資源としての有効活用を検討していく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤3
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6203	事務事業名	加賀大聖寺藩十万石文化再生事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	大聖寺藩十万石の城下町において、核となっていた藩邸屋敷跡周辺の史跡を、文化財的価値を損なうことなく復元整備し、文化財保護と観光資源としての活用を図る。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況（令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ）								
	加賀市歴史的風致維持向上計画（令和3年3月策定）に基づき、重点区域の整備に関連する委員会を1回開催した。また、大聖寺鴻玉荘において、大聖寺藩にまつわる企画展を3回行った。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額（千円）
	①	一般会計	10	5	2	3	5	文化財活用事業費	2,731
②	一般会計	10	5	3	21	6	大聖寺鴻玉荘企画事業費	129	
③	一般会計	10	5	4	4	6	文化財保存活用費	326	
	関連決算額合計							3,186	
内部評価	有効性 （高い/普通/低い）	普通	費用対効果 （高い/普通/低い）		普通		内部評価 （拡充/継続/縮小/廃止）		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	江沼神社庭園 整備委員会		目標	4回		＝	25	1回のみの開催だったが、必要な議論 や情報が得られた。	
			実績	1回			(%)		
	大聖寺鴻玉荘 企画展		目標	3回		＝	100	当初の計画通りに実施できた。	
			実績	3回			(%)		
			目標			＝	100		
			実績				(%)		
	内部評価の決定理由		加賀市歴史的風致維持向上計画は、令和12年度までが計画期間であることから、計画期間内においては大聖寺藩邸庭園を中心に、優先順位を決めながら地区全体の整備を計画的に実施していく必要があるため。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等（内部評価を踏まえ）							
加賀市歴史的風致維持向上計画において、歴史的風致の向上を図るために整備が必要と位置付けられた16事業については、計画期間内で優先順位を決めながら順次実施していく。具体的な整備方針については、随時、整備委員会や地域住民、関係機関などの意見も聞きながら、評価や見直しを行っていく。									

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6204	事務事業名	文化財の適正管理事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	貴重な財産である文化財の保護・継承を行うとともに収集保存に努め、文化の向上に役立てる。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	歴史文化遺産の適切な収蔵・管理を行い、貸出や閲覧などを行った。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	4	3	1	光熱水費	303
	②	一般会計	10	5	4	3	2	管理委託費	5,786
内部評価	③	一般会計	10	5	4	3	3	その他管理費	175
	④	一般会計	10	5	4	3	4	維持補修費	1,172
	関連決算額合計								7,436
	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	資料の貸出等による 文化財の活用件数	目標	15		=	93.3 (%)	目標値に近い貸出実績があった。		
実績		14							
	目標			=	(%)				
	実績								
	目標			=	(%)				
	実績								
内部評価の決定理由		貸出や閲覧の希望があるため、今後も継続して事業を実施すべきと考える。							
今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	文化財保護施設の維持修繕等を計画的に実施し、収蔵品の適正な保存管理を行った上で、広く市民にも公開し、活用を図っていく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり	
施策	②良好な歴史的景観の保全	

事業番号	6205	事務事業名	景観保存活動の支援事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	重要伝統的建造物群保存地区である加賀橋立及び加賀東谷において、賑わい創出を目的とした建物の内部改修に対する費用の助成を行う。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	令和6年度 0件 (加賀橋立、加賀東谷ともに賑わい創出を目的とした建物の内部改修の申請がなかった)								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①								
	②								
	③								
	関連決算額合計								0
	内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		縮小
		効果・波及効果		達成率				分析結果	
建物内部の改修による伝建地区の賑わいの創出		目標	5件	=	0	令和6年度の改修申請はなかった			
		実績	0件		(%)				
		目標		=					
		実績			(%)				
		目標		=					
		実績			(%)				
内部評価の決定理由		ここ数年、申請等はないが、賑わい創出のためには改修費等を助成できる仕組みを整えておくことが必要なことから、継続すべきと考える。							
今後の方向性		次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	事業の実施にあたっては、まちづくりファンドを財源としている。事業を継続するには、限られたファンドの財源を有効に活用するため、計画的に事業を実施することが必要である。財源については、ファンドに限らず観光庁など様々な事業の補助の活用を検討し、継続的に支援を行っていくことで重要伝統的建造物群保存地区における賑わい創出につなげていく。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系	1(2)⑤1
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり		
施策	②良好な歴史的景観の保全		

事業番号	6206	事務事業名	九谷磁器窯跡整備事業		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	九谷磁器窯跡は日本の中でも最初期に磁器生産が行われた地であり、九谷焼発祥の地として、国史跡の指定を受けている。史跡指定地は適切に保護、管理しているが、単なる保存にとどまらず公開活用することが必要であり、その方策として史跡公園整備を目指すものである。 九谷磁器窯跡の窯跡や作業場等の遺構は、盛り土で保護した上で、模型展示や説明板による解説を行う計画である。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	令和4年度以降開催していなかった九谷磁器窯跡整備委員会を開催し、今後の整備方針や普及啓発について議論を行った。 普及啓発事業として九谷磁器窯跡に関する市民フォーラムを12月に開催した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	4	5	1	古九谷窯跡環境整備費	274
②									
③									
	関連決算額合計							274	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)			普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	市民フォーラム開催	目標	1回		=	100 (%)	市民フォーラムを企画し、開催した		
		実績	1回						
		目標			=	(%)			
		実績							
		目標			=	(%)			
		実績							
	内部評価の決定理由		令和5年度に企画したものの能登半島地震の影響で開催できなかった市民フォーラムを当初の企画どおり開催し、九谷磁器窯跡に対する市民の理解を深めることができた。						
	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
今後の方向性	整備事業を再開させるため、整備委員会の開催と普及啓発事業を継続して行う。								

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	_6. 豊かな自然を守り育てる美しく快適なまちづくり	
施策	②良好な歴史的景観の保全	

事業番号	6207	事務事業名	文化的景観保護推進事業			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化財保護グループ	

目的・概要	事務事業を実施する目的と概要								
	国の重要文化的景観の選定を受けた加賀海岸地域の文化的・自然的価値の調査、保存活用の検討をする。								
実施状況	事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)								
	保存活用事業を実施している団体に対して補助を行った。 整備活用計画の再検討を行った。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	4	4	5	自然・文化遺産保存調査費	191
	②								
③									
	関連決算額合計							191	
内部評価	有効性 (高い/普通/低い)	普通	費用対効果 (高い/普通/低い)		普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)		継続	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	公開講座等による 文化的景観の紹介		目標	2回		=	50 (%)	公開講座は実施できなかったが大学の講座で加賀海岸地域を紹介した。	
			実績	1回					
			目標			=	(%)		
			実績						
			目標			=	(%)		
			実績						
	内部評価の決定理由		普及啓発活動により、地域住民だけでなく学生や市外の方にも加賀海岸の認知が広がっており、今後も継続した普及啓発活動が必要であると考えられるため。						
	今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
加賀海岸の整備活用方針について定める整備活用計画を策定し、計画的に整備をすすめるとともに、普及啓発事業を実施し、加賀海岸の価値について市内外に発信していく。									

令和6年度 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価 シート

【事務事業】

総合計画の体系	将来への備え	第2期加賀市まち・ひと・しごと総合戦略の体系
基本方針	デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)	
施策		

事業番号	9106	事務事業名	デジタル教育環境推進事業		
所管部局	教育委員会事務局 市民健康部	所管課	学校指導課 子育て支援課	グループ	—

目的・概要

事務事業を実施する目的と概要

現在の学校においては、児童生徒が課題提出の際に、一部デジタル学習ドリルを導入しているものの、問題数の少なさなどから、いまだに紙による課題提出が多い。さらに、保護者連絡においても各学校においてメール等を活用しているが、保育園卒園後や転校時に一貫性がなく、保護者が学校や保育園との連絡手段が多様化し、不便との声があがっている。子どもたちのキャリア教育を踏まえた個別最適な学習を構築するためAIDリルを導入し、デジタルを活用した「個別最適な学び」「協働的な学び」の推進し、魅力的な教育環境を整備する。また、保護者へ日々の保育記録(テキスト、画像、動画)を保護者連絡ツールを通じた共有はもとより、幼保小連携のために必要なPC・タブレット・デジカメといった機器を整備する。

実施状況

事業の進捗、目的の達成状況(令和6年度の主な成果やKPIの達成状況等を踏まえ)

令和5年度に以下の内容を整備し、サービス提供後も事業の評価を継続して行っている。

①全小中学校(23校)クラウド型デジタルAI学習ドリルの導入(ライセンス使用料)

②全小中学校(23校)保護者連絡ツールの導入(ライセンス使用料)

③全小中学校(23校)学級経営サポートシステム(学級満足度・いじめ防止・不登校傾向等調査)の実施

④保護者連絡ツール幼保小連携のための備品購入費

・パソコン 56台、デジタルカメラ 25台、タブレット 7台

⑤保護者連絡ツール幼保小連携のための通信利用料

・ポケットWi-Fi 通信料 5台×6月分 共有環境整備(DirectCloud) 12園

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	1	3	10	1	学校教育改革推進費	3,015
②								
③								
関連決算額合計								3,015

有効性 (高い/普通/低い)	高い	費用対効果 (高い/普通/低い)	普通	内部評価 (拡充/継続/縮小/廃止)	継続	
効果・波及効果	達成率			分析結果		
全国学力・学習状況調査(小6・中3)算数・数学の調査結果(県平均との差)	目標	0.0%		=	-	AIDリルの活用率向上や有効な利用場面を検討していく。
	実績	-5.0%				
保護者連絡ツールサービス 保護者の満足度	目標	75%		=	131	利用者から出ているサービスの不満点などを委託事業者と共有しながら、引き続きサービスの向上を図る。
	実績	98.2%				
	目標			=		
	実績					
内部評価の決定理由	これまで紙で行っていた宿題や連絡、アンケート等をデジタル化したことで、情報のペーパーレス化や教職員の負担軽減に繋げることができている。 また、保護者連絡ツールの導入により、保護者連絡や日々の保育記録を保護者連絡ツールを通じた共有ができたほか、幼保小連携のために必要な備品を整備したことなどから、保護者の満足度も高く、有効性は高い。					

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

子どもの多様な学び場、居場所を確保しながら、子ども一人ひとりの学習進度に応じたAIDリルの利用促進や満足度調査を実施し、事業を継続して評価する。また、保護者連絡ツールについては、保護者から声が出ているサービスの不満点などを事業者と共有しながら、引き続きサービスの向上を図っていく。

施設名	加賀市美術館							
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社							
指定期間	H6.4.1～R11.3.31				指定管理委託料(千円)	32,390		

事業番号	A01	事務事業名	加賀市美術館管理				
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ		

施設
の
設
置
目
的

市民の美術に対する関心を高め、その知識の普及及び教養の向上を図り、もって芸術文化活動の振興発展に寄与するため。

実
施
状
況

令和6年度の管理運営状況

各美術団体との共催展のほか、所蔵品を中心に郷土作家の紹介を行う常設展を年間を通じて開催した。また、昨年度から引き続き「神にささげられた宝—加賀國二之宮 菅生石部神社の文化財—」を開催した。企画展では、「魯山人の仕事—至高の美、書、画、器—」、「加賀 美術・工芸の足跡—時をかけぬけた作家たち—」のテーマで、加賀市ゆかりの作品や資料の展示を行った。この他にも、児童生徒や市民の発表の機会となる貸館展示を行った。市民や観光客に当市の伝統工芸や美術文化を紹介するとともに、市民の美術に対する関心を高めるためのワークショップを実施し、芸術文化活動の発展に努めた。

施設整備に関することでは、第4展示室の展示ケース内照明をLED化した。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	8	1	管理委託費	32,390
②	一般会計	10	5	3	8	2	維持補修費	2,309
③	一般会計	10	5	3	18	5	加賀市美術館整備事業費	1,925
関連決算額合計								36,624

内
部
評
価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)		
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	29	△	1	×	0	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	29	△	1	×	0	
効果・波及効果		達成率					分析結果			
入館者数	目標	33,500			=	82	目標の達成率は8割を超えている			
	実績	27,397				(%)				
	目標				=					
	実績					(%)				
	目標				=					
	実績					(%)				
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行っている。北陸新幹線の開業と、加賀温泉駅前という立地を活かして効果的な情報発信を行うことで、より一層の来館者増が期待できる。								

今
後
の
方
向
性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

加賀市の玄関口であるJR加賀温泉駅前にあり、市民にとって交通の便もよく、観光客の入り込みも十分見込める立地条件をさらに活かしていく必要がある。加賀市の美術工芸について積極的に情報発信を行い、魅力的な展示企画やイベントの実施と合わせて効果的な広報をすることで、入館者の増加につなげていく。

加えて、多言語化を進めることで、外国人観光客の来館も促す。令和6年度からは魯山人寓居跡いろは草庵と一体化した管理運営をしているので、それを活かした事業実施や体制づくりを行っていく必要がある。

施設名	中谷宇吉郎雪の科学館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社・一般財団法人中谷宇吉郎記念財団		
指定期間	R2.4.1～R7.3.31	指定管理委託料(千円)	26,350

事業番号	A02	事務事業名	中谷宇吉郎雪の科学館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	中谷宇吉郎に関する資料を収集、保存、展示をし、その科学的知識の普及、および学術と文化の発展に寄与すること。								
	令和6年度の管理運営状況 令和6年度は開館30周年の節目であることから、例年の企画事業の他に、「開館30年のあゆみ展」、絵本原画展、ワークショップ、科学映画上映会の特別事業を開催した。年間を通じてさらに充実した事業展開となった。また、令和3年度から実施している北海道大学低温科学研究所との連携事業も引き続き行った。								
実 施 状 況	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	3	7	1	管理委託費	26,350
	②	一般会計	10	5	3	7	2	維持補修費	1,049
	③	一般会計	10	5	3	7	5	その他管理費	1,562
	④	一般会計	10	5	3	7	6	企画事業費	760
	関連決算額合計								29,721
	モニタリング結果 (指定管理施設のみ) 内部評価 (優/良/可/不可)								
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
内 部 評 価	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	30,585		=	71.2 (%)	来館者は前年より増加傾向にあり、目標達成率は7割を超えている。		
		実績	25,628						
		目標			=	(%)			
		実績							
		目標			=	(%)			
		実績							
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づき、適正な管理運営を行っている。来館者への展示解説や実験コーナーでの解説などサービスの向上に努めており、アンケートの結果からも来館者の満足度が高いことが窺える。引き続き北海道大学低温科学研究所などと連携して事業を進めていくことで、科学博物館としての存在価値を高めることが期待できる。							
今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	災害復旧による一年間の閉館を経て、令和8年度からの再開館後にはこれまで以上に魅力ある科学館であることが求められる。中谷宇吉郎や雪・氷の低温科学を軸とする科学普及事業、参加型、体験型のワークショップを開催するなど、次世代に科学のおもしろさを伝える施設として普及啓発、情報発信を行っていく必要がある。また増加傾向にあるインバウンドに対応できる体制を整えることも必要である。								

施設名	北前船の里資料館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料(千円)	

事業番号	A03	事務事業名	北前船の里資料館	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	北前船に関する資料等の収集、保存、展示をし、その知識の普及や学術・文化の発展に寄与すること。
-----------------------------	--

令和6年度の管理運営状況
全国の中でも北前船主を多く輩出した、船主のふるさと加賀橋立に位置する北前船の専門資料館として、北前船に関する資料を展示し、定期的に情報発信している。北前船のストーリーが日本遺産に認定されたことをきっかけに認知度が高まり、ふるさと学習の面から子ども達への学習の機会を提供するとともに、観光施設として観光誘客に努めた。また、昨年度修復した船絵馬を中心に関連資料を展示する企画展や北前船セミナーを開催した。

実施状況

令和6年度決算								
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	6	1	管理委託費	8,888
②	一般会計	10	5	3	6	2	維持補修費	798
③	一般会計	10	5	3	6	3	運営費	670
④	一般会計	10	5	3	6	4	光熱水費	575
⑤	一般会計	10	5	3	6	4	その他管理費	108
⑥	一般会計	10	5	3	6	6	企画事業費	910
関連決算額合計								11,949

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○		△		×	優
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○		△		×	
効果・波及効果		達成率				分析結果	
入館者数	目標	11,000		＝	88.0	入館者数は増加傾向にあり、目標達成率は9割に近づいている。	
	実績	9,677			(%)		
企画事業の参加数	目標	80		＝	83.8	参加者数は昨年度の約4割増となり、目標達成率は8割を超えている。	
	実績	67			(%)		
	目標			＝			
	実績				(%)		
内部評価の決定理由		適正に施設管理を行っている。施設運営にあたっては、北前船に関心を持ってもらえるような企画展や関連事業を開催することで集客を図った。また、ボランティア解説員による案内サービスを提供することで、来館者の満足度を高めている。					

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)
	加賀橋立の北前船文化は日本遺産に認定されており、重要な文化資源であるとともに観光資源でもある。北前船日本遺産を構成する52自治体との連携も視野に入れ、地元のアイデンティティともいえる北前船の文化や歴史を市内外に向けてPRしていくことで、来館者の増加と次世代への文化継承を目指す。 今後は、老朽化する施設の適切な維持管理や、インバウンド客の国籍構成の変化といった課題にも対応していく必要がある。

施設名	石川県九谷焼美術館		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料(千円)	

事業番号	A04	事務事業名	九谷焼美術館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 九谷焼美術館

施設
の
設
置
目
的

郷土の誇りである伝統工芸「九谷焼」の歴史や存在意義を市内外に宣伝・発信することで、文化愛好層を広げ観光振興ひいては地場産業九谷焼の振興・発展につなげていく。当館が魅力ある事業を展開することによって、訪れた来館者に充足感を与え、リピーターを増やすだけでなく、全国的に高い評判を得ることを目指す。教育面では、市民や子どもたちが郷土の誇りとして「九谷焼美術館」を上げるような施設となることで、文化都市、観光都市としての大きなアイデンティティの確立に寄与していく。

実
施
状
況

令和6年度の管理運営状況

第47回伝統九谷工芸展・選抜加賀展を開催したほか、特別展として、「開窯200年記念吉田屋窯」前期展・後期展を開催した。また、吉田屋窯の図録の発行及びガイドブックの更新を行った。
企画展として、「加賀市・台南市友好交流記念 第21回九谷焼絵皿コンクール展」を開催し、イラストを募集したところ、国内の小学校から2,095点、台南市から1,510点の応募があった。優秀作品として選ばれた16点は、九谷焼作家が応募イラストをもとに大皿に絵付けをし、展示した。それ以外の入賞したイラストも展示した。表彰式は9月23日に行った。

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	5	1	管理委託料	18,656
②	一般会計	10	5	3	5	2	維持補修費	7,421
③	一般会計	10	5	3	5	4	運営費	6,768
④	一般会計	10	5	3	5	5	光熱水費	8,691
⑤	一般会計	10	5	3	5	6	その他管理費	888
⑥	一般会計	10	5	3	5	7	企画事業費	26,614
関連決算額合計								69,038

内
部
評
価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○		△		×	優
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○		△		×	
効果・波及効果		達成率				分析結果	
入館者数	目標	25,000		＝	80.2 (%)	昨年度より約2,800人多く、目標達成率は約8割となっている。	
	実績	20,048					
	目標			＝	(%)		
	実績						
	目標			＝	(%)		
	実績						
内部評価の決定理由		九谷焼をPRする中核施設として、適切な管理運営を行っている。運営については、展示企画に創意工夫し内容の充実に努める一方、費用対効果を意識しながら美術館としての魅力と展示品の質を確保するよう努めている。 また、必要に応じて館内解説を行い、来館者の満足度を高めている。					

今
後
の
方
向
性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

九谷赤絵全国巡回展(令和6年～令和8年度)を開催する。全国6か所(北海道、兵庫、愛知、広島、滋賀、石川)を順に巡る計画であり、九谷焼、特に赤絵の魅力を全国に発信していく。巡回展以外では、古九谷や再興九谷を中心とする企画展を開催し、より多くの集客を図っていく。

施設名	魯山人寓居跡いろは草庵		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	15,400

事業番号	A05	事務事業名	魯山人寓居跡いろは草庵管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	山代温泉に滞在し、文化や工芸に影響を及ぼした北大路魯山人に関する資料を収集し、保存し、及び展示し、その知識の普及並びに学術及び文化の発展に寄与するため。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	北大路魯山人が山代温泉を訪れた際に滞在した、吉野屋別荘の建物のうち、仕事部屋、書斎、囲炉裏などを当時のままに公開している。施設の管理運営の委託を行い、魯山人と山代温泉との関わりや魯山人の作品などを展示している。 令和6年度は「魯山人のしごと」を共通テーマとし、魯山人が日々の生活を美しくするために生み出した作品を展示する企画展を3回開催した。							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	5	3	10	1	管理委託費	15,400
	② 一般会計	10	5	3	10	2	維持補修費	759
	③ 一般会計	10	5	3	10	5	その他管理費	55
	関連決算額合計							16,214

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	29	△	1	×	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	28	△	2	×	
	効果・波及効果		達成率				分析結果	
	入館者数	目標	14,400		＝	71.2	昨年度に比べて入館者数は約2割増加し、目標達成率は7割を超えている。	
		実績	10,254			(%)		
		目標			＝			
		実績				(%)		
		目標			＝			
		実績				(%)		
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づく指定管理者によって適正に施設管理が行われている。温泉街に近い好立地に位置することから、従来にはない、多面的な視点から取り上げた斬新な企画を実施することで、更なる来館者の増加が期待できる。						

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
----------------------------	----------------------------------	--	--	--	--	--	--	--

企画展は毎回類似する傾向があり、施設の設置目的には忠実であるがマンネリ化も否めないことから、観光協会や旅館組合、指定管理者が一体で管理運営をしている加賀市美術館等と連携を図っていくことで、趣向の変わった企画展や施設の特徴を活かしたイベント等を行っていく。また、外国人観光客の来館を促すため、英語での案内サービスなどの対応を進めることで、更なる入館者の増加を目指す。

施設名	九谷焼窯跡展示館		
(指定)管理者	加賀九谷陶磁器協同組合		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	16,800

事業番号	A06	事務事業名	九谷窯跡展示館管理		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	九谷焼美術館

施設 の 設 置 目 的	吉田屋窯以降の再興九谷に関する資料を収集・保存・展示し、市民の九谷焼に関する教養を深めるとともに、学術及び文化レベルの向上を促進する。また、九谷焼の制作に関する知識を普及し、九谷焼の振興にも寄与していく。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	施設の運営、維持管理等の委託を行い、市民や観光客等の九谷焼に関する関心と理解を高め、普及に努めた。年間4回の企画展を開催したほか、体験事業として絵付け体験、蹴ロクロ体験を行った。ふるさと学習として市内小学性の見学を受入れ、錦窯焼成事業(3/29実施)として、伝統的な薪の錦窯(上絵付窯)に実際に火を入れ、入館者に公開した。							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	5	3	9	1	管理委託費	16,800
	② 一般会計	10	5	3	9	2	維持管理	972
	③							
関連決算額合計								17,772

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△		×		優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△		×		
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	8,000		=	96.3	入館者は昨年度より約1800人多く、目標に近い数値となっている。		
		実績	7,703			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づき、適正に施設の管理運営を行っている。九谷焼を理解してもらう企画展や、窯焚き、体験事業を行っているほか、館内スタンプラリーの実施やグッズ制作などの事業を積極的に実施し、来館者の満足度の向上につなげている。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	国指定史跡の九谷磁器窯跡を公開するだけでなく、九谷焼の歴史や技術を深く知ることができる体験施設として、その独自性を強調し、新たな体験事業やイベント等を検討しながら積極的に情報発信していくことで、更なる入館者数の増加につなげていく。							

施設名	深田久弥山の文化館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人深田久弥と山の文化を愛する会		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	8,008

事業番号	A07	事務事業名	深田久弥山の文化館管理		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ	文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	深田久弥と山(登山、山の生活文化及び山の精神文化等)に関する資料を収集し、保存し、及び展示し、市民の教育、学術及び文化の振興に寄与することを目的とするとともに、人々が自然と人間について考える交流の場。								
	令和6年度の管理運営状況								
実 施 状 況	深田久弥の業績を伝える常設展示の他、企画展として、深田久弥が歩いたルートに赤鉛筆のラインや山や谷の名前を記した地図を展示した「久弥と五万分の一地形図と赤鉛筆と」展と、文学誌「文学界」、「鎌倉文士」に掲載された深田久弥の作品を展示した『文学界』・「鎌倉文士」・深田久弥を開催した。 また、「第19回加賀市ふるさとの自然ふれあいコンクール」には市内の児童から198点の応募があり、そのうち受賞作品24点の展示を行った。毎月開催している「聞こう会」(ミニ講演会)では、外部から講師を招き、山や自然に関する講演会を実施した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	3	11	1	管理委託費	8,008
	②	一般会計	10	5	3	11	2	維持補修費	1,650
	③								
関連決算額合計								9,658	
内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○	15	△	×	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○	13	△	×	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	2,850		=	83.6	入館者数は昨年度とほぼ同数で、目標達成率は8割を超えている。		
		実績	2,383			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づいた運営、管理は適正に行われている。SNSを活用した情報発信やPR活動のほか、魅力あるイベント等を行うことで、登山愛好家や市民だけでなく、観光客の誘客も見込めることから、継続が望ましいと考える。							
今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	8月11日の山の日になんだイベントや、増築した資料文献室を有効活用して資料の整理・展示等を行うとともに、SNSを使った積極的な情報発信に努める。 また、令和3年に深田久弥 終焉の地である蕪崎市と共同宣言を締結したことを活かし、相互連携してPRしていくことを目指す。								

施設名	山中温泉芭蕉の館		
(指定)管理者	芭蕉の館		
指定期間	R3.4.1～R8.3.31	指定管理委託料(千円)	3,650

事業番号	A08	事務事業名	山中温泉芭蕉の館	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	山中温泉の歴史的な建造物を保存活用し、温泉街の景観形成を図り、広く市民の文化活動及び観光交流の振興に資する。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	松尾芭蕉や奥の細道、山中温泉にちなんだ常設展や企画展、俳句や習字に関する講演会を開催した。また、加賀市の伝統産業である山中漆器の作品を展示することで、地場産業の振興に寄与した。							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	5	3	20	1	管理委託品	3,650
	② 一般会計	10	5	3	20	2	その他管理費	296
	③ 一般会計	10	5	3	20	3	維持補修費	138
	関連決算額合計							4,084

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	11	△	4	×		良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	14	△	1	×		
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	5,400		＝	118.4	入館者は昨年度より約2割増加し、目標を上回った。		
		実績	6,393			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		概ね協定書、仕様書に基づき適正な管理を行っている。入館者は、昨年度より増加し、コロナ前の状況に回復しつつある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	松尾芭蕉を軸に山中温泉の歴史や文化を感じられる施設として魅力のある展示に努めていく。山中温泉商工会と連携して行っているアイズストリート事業への参画も一定の効果が見られることから、今後も継続し、入館者の増加を目指す。							

施設名	大聖寺鴻玉荘		
(指定)管理者	加賀市		
指定期間		指定管理委託料(千円)	

事業番号	A10	事務事業名	大聖寺鴻玉荘	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	大聖寺の歴史的な建造物を保存活用し、大聖寺の景観形成を図るとともに、市民及び観光客がその文化に触れる機会を創出する。								
	令和6年度の管理運営状況								
実 施 状 況	大聖寺ゆかりの資料を常設的に展示するとともに、ふるさとの人物をテーマにした企画展などを開催している。令和6年度は、前田利豊ほか、大聖寺藩の藩医や蓮如をテーマにした企画展を3回開催した。また、裏千家による茶会を開催した。								
	令和6年度決算								
		会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	①	一般会計	10	5	3	21	1	光熱水費	239
	②	一般会計	10	5	3	21	2	管理委託費	2,587
	③	一般会計	10	5	3	21	3	その他管理費	229
	④	一般会計	10	5	3	21	4	維持補修費	1,024
	⑤	一般会計	10	5	3	21	5	運営費	32
	⑥	一般会計	10	5	3	21	6	企画事業費	129
	関連決算額合計								4,240
内 部 評 価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)				○		△	×	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)				○		△	×	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	1,000		=	65.7 (%)	前年度より増加し、目標達成率は約7割となっている。		
		実績	657						
	企画事業の参加数	目標	200		=	100 (%)	目標達成できた。		
		実績	200						
		目標			=	(%)			
		実績							
内部評価の決定理由		適正に施設管理を行っている。茶会等の企画事業では、関係者の協力もあって前年度よりも参加者が増加した。							
今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)								
	引き続き、主屋での企画展を開催していく。また、離れでは地元の催し等と連携したイベントを実施し、積極的に周知していくことで、市内をはじめ市外からの来館を促す。将来的には貸館スペースとしても活用できないか検討していく。								

施設名	加賀依緑園		
(指定)管理者	株式会社リナシエンテ		
指定期間	H6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	6,600

事業番号	A11	事務事業名	加賀依緑園管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	山中温泉の歴史的な建造物を保存活用し、温泉街の景観形成を図るとともに、市民及び観光客がその自然、歴史及び文化を体感し、もって広く市民の文化活動及び観光交流の振興に資する。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	旅館時代の資料を活用し、山中温泉の歴史を展示している。また、自主事業として加賀市をはじめとして、石川県内で主に活躍中の若手工芸家の展示即売会を行い、石川県の伝統工芸の魅力を市民及び観光客に伝えた。							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	5	3	22	1	管理委託費	6,600
	② 一般会計	10	5	3	22	2	その他管理費	305
	③							
	関連決算額合計							6,905

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	24	△	6	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	25	△	5	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	入館者数	目標	9,000		＝	82.4	開園したばかりだが、目標達成率は8割を超えている。		
		実績	7,413			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づき、適正な施設管理を行うよう努めている。令和6年4月に開園してから、館の存在は徐々に周知されてはいるが、まだまだ周知不足の面もあることから、継続して情報発信を行うことで、入館者の増加が期待できる。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	山中温泉のほぼ中心部に位置する立地を活かし、観光協会や旅館組合等とともに、広報の強化や事業連携を行うことで、館の認知度向上と入館者の増加を目指す。日本人観光客やインバウンドのニーズに対応した企画展や館の特色を活かしたイベント等を実施していく。							

施設名	加賀体育館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	21,796

事業番号	B01	事務事業名	加賀体育館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	様々なスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービス向上に努める。
-----------------------------	----------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	様々なスポーツのための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 経年劣化により、一部アリーナ部分に雨漏りがあることから、屋根雨漏り改修を行った。 年間利用者数:34,458人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	1	1	管理委託費	21,796
	② 一般会計	10	6	6	1	2	維持補修費	278
	③ 一般会計	10	6	6	20	4	加賀体育館整備費	36,300
	関連決算額合計							58,374

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	50,000人		=	69	主に決まった団体のみ使用であり、空いている日中の活用を検討し、利用者増に繋げていく必要がある。		
		実績	34,458人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき適正な管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 現状の利用を維持できるように設備等の点検を行い、必要に応じて修繕していく。							

施設名	加賀市武道館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	4,250

事業番号	B02	事務事業名	武道館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	柔道・剣道・弓道など、それぞれの武道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	柔道・剣道・弓道のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 耐震改修含めた大規模改修を行うための実施設計を行った。 年間利用者数:14,615人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	11	1	管理委託費	4,250
	② 一般会計	10	6	6	20	6	武道館整備費	29,590
	③							
関連決算額合計								33,840

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	30,000人		=	49	指定管理者の自主事業などでも活用しているが、更なる利用者増に繋がる施設の活用方法を検討していく。		
		実績	14,615人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。 剣道場において、年間2期(全12回)にわたりヨガ教室を実施し、市民ニーズに応えたサービスを提供しているが、更なる活用も今後は検討して必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、利用者の安心・安全を図るため、令和7年度には、耐震化を含めた大規模改修を行う。							

施設名	大聖寺グラウンド		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	1,063

事業番号	B03	事務事業名	大聖寺グラウンド管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年サッカーやソフトボール競技など、それぞれのスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年サッカーや少年野球などのための施設提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数:8,277人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,063
	②							
	③							
	関連決算額合計							1,063

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		=	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。		
		実績	51,166人			(%)			
	その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき適正に施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。
----------------------------	---

施設名	大聖寺テニスコート		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	1,327

事業番号	B04	事務事業名	大聖寺テニスコート管理		
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ	スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	テニス競技のための施設の提供および施設の維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数:10,622人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,327
	②							
	③							
関連決算額合計								1,327

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		＝	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。		
		実績	51,166人			(%)			
	その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

施設名	加賀市陸上競技場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	12,320

事業番号	B05	事務事業名	陸上競技場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	陸上競技やサッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	陸上競技やサッカー競技のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 毎年、トラック外周溝蓋を一定量ずつ交換しており、今年度も継続して実施した。 年間利用者数:19,993人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	7	1	管理委託費	12,320
	② 一般会計	10	6	6	7	2	維持補修費	179
	③							
関連決算額合計								12,499

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	35,000人		=	57	更なる利用者増に繋がる大会や合宿の誘致が必要。		
		実績	19,993人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、令和6年能登半島地震の影響により、トラックの一部が沈下しているなど、競技に影響があることから、令和7年度に復旧工事を行う予定である。更に、一部雨漏り等がある管理棟において、利用者の安心・安全を確保するために、修繕工事も実施していく。
----------------------------	--

施設名	加賀市相撲場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	2,980

事業番号	B06	事務事業名	相撲場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年相撲競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	----------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年相撲競技のための施設の提供及び維持管理等の運営委託を行い、スポーツなどによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数:2,871人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,980
	②							
	③							
	関連決算額合計							2,980

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		＝	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。		
		実績	51,166人			(%)			
	その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでおり、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

施設名	加賀市スポーツセンター		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	39,785

事業番号	B06	事務事業名	相撲場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。
-----------------------------	-------------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 利用者の安心安全のため、滑りやすくなっていたメインアリーナの床改修及び消防設備、トイレ排風機などの修繕工事を行った。 また、令和6年能登半島地震の影響により損壊した消火栓配管漏水修繕工事を行った。 年間利用者数: 43,987人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	10	1	管理委託費	39,785
	② 一般会計	10	6	6	10	2	維持補修費	1,822
	③ 一般会計	10	6	6	20	13	スポーツセンター整備費	12,518
	④ 一般会計	11	3	1	3	2	現年災害復旧費(単独)	2,860
	関連決算額合計							56,985

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	65,000人		＝	68	更なる利用者増に向けた大会誘致等が必要である。		
		実績	43,987人			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)									
	加賀体育館や水泳プールとともに利用者が多い施設であることから、指定管理者における自主事業の実施について促していく。 また、令和6年能登半島地震の影響によりメインアリーナの天井のウレタンパネルの一部落下など地震の影響により損壊した部分の修繕を令和7年度に実施するとともに、計画的に必要な修繕を行っていく。									

施設名	山中健民体育館		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	18,356

事業番号	B08	事務事業名	山中健民体育館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	様々なスポーツ競技を通じて市民の健康増進と市民のサービス向上に努める。
-----------------------------	-------------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	様々なスポーツのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 駐車場のラインが消えている部分もあったことから、駐車場のライン工事を行った。 また、一部和式トイレであったことから、改修工事により全て洋式化を図った。 年間利用者数:17,995人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	13	1	管理委託費	18,356
	② 一般会計	10	6	6	13	2	維持補修費	253
	③ 一般会計	10	6	6	20	9	山中健民体育館整備費	6,655
	関連決算額合計							25,264

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	13	△	2	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	22,000人		=	82	更なる利用者増に向けた大学の合宿誘致などを検討する。		
		実績	17,995人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 現状の利用を維持できるように設備等の点検を行い、必要に応じて修繕していく。 また、令和6年能登半島地震の影響により落下したアリーナの天井ウレタンパネル等については、施設のLED化に併せて改修(撤去)を行う。							

施設名	山中弓道場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	1,500

事業番号	B09	事務事業名	山中弓道場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	弓道を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	------------------------------

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	弓道のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数: 4,046人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	16	1	管理委託費	1,500
	②							
	③							
関連決算額合計								1,500

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)						内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	5,000人		＝	81	主に決まった団体のみの利用であることから、更なる利用者増に向けた大会の誘致などが必要である。		
		実績	4,046人			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に、利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされており、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、施設の老朽化もかなり進んでおり、利用者も限定されていることから、統廃合を検討していく。							

施設名	加賀市中央公園野球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	5,640

事業番号	B10	事務事業名	中央公園野球場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年野球および社会人野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 また、利用者の安心・安全を図るため、内外野のディフェンスマット及び雨漏り改修を行い、更に、故障した合併処理浄化槽などの緊急修繕を行った。 年間利用者数:5,667人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	3	1	管理委託費	5,640
	② 一般会計	10	6	6	3	2	維持補修費	573
	③							
関連決算額合計								6,213

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	22,000人		=	30	スコアボードの故障や施設の老朽化が利用状況に大きく影響している。		
		実績	5,667人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 しかし、施設の老朽化が激しく、利用環境が悪いことから、早急に必要な改修を実施し、利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 痛みが激しく使用に支障がある部分を優先し、計画的に修繕を実施していく。							

施設名	山中球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	4,800

事業番号	B11	事務事業名	山中球場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 また、山中武道館跡地を駐車場として整備した。 年間利用者数:4,361人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	17	1	管理委託費	4,800
	② 一般会計	10	6	6	17	3	その他管理費	5,520
	③ 一般会計	10	6	6	20	14	山中球場整備費	5,555
	関連決算額合計							15,875

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	7,500人		＝	58	更なる利用者増に向け大会の誘致などが必要である。		
		実績	4,361人			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に、利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされており、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

施設名	片山津球場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	705

事業番号	B12	事務事業名	片山津球場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年野球や社会人野球などの野球競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	野球のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技による市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 また、積ブロック目地修繕及び道路標識の邪魔になっていた通学路沿いの樹木の枝打業務を行った。 年間利用者数:8,398人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	767
	② 一般会計	10	6	6	18	2	維持補修費	451
	③							
	関連決算額合計							1,218

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果	達成率				分析結果		
	利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		＝	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。	
		実績	51,166人			(%)		
	その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			＝			
		実績				(%)		
		目標			＝			
		実績				(%)		
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 特に、利用者による清掃など丁寧な利用により適切な施設管理がなされており、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。						

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

施設名	山代グラウンド・動橋グラウンド		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	1,163

事業番号	B13	事務事業名	グラウンド(山代・動橋)管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年野球や少年サッカーなどの競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年野球や少年サッカーなどのための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、野球競技、サッカー競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数: 山代グラウンド 5,641人 動橋グラウンド 5,491人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	1,163
	②							
	③							
	関連決算額合計							1,163

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		＝	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。		
		実績	51,166人			(%)			
	その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

施設名	加賀市中央公園テニスコート		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	8,685

事業番号	B14	事務事業名	中央公園テニスコート管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループスポーツ推進グループ

施設の設置目的	テニス競技を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
---------	---------------------------------

実施状況	令和6年度の管理運営状況							
	テニス競技のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、テニス競技などによる市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 年間利用者数:9,866人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	6,821
	②							
	③							
	関連決算額合計							6,821

内部評価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)	○	15	△	0	×	0	優
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)	○	15	△	0	×	0	
効果・波及効果		達成率			分析結果		
利用者数 (その他施設)	目標	70,000人		=	73	更なる利用者増に向けて、大会の誘致や練習場としての活用が必要。	
	実績	51,166人			(%)		
その他施設(片山津野球場、相撲場、テニスコート(大聖寺・中央)、グラウンド(大聖寺・山代・動橋))	目標			=			
	実績				(%)		
	目標			=			
	実績				(%)		
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めて行く必要がある。					

今後の方向性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、ゆーゆー館テニスコートが休止(実質廃止)になったことから、中央公園テニスコートに集約し、次年度以降に夜間照明設備を設置する予定である。							

施設名	水泳プール		
(指定)管理者	株式会社エム		
指定期間	R6.4.1～R7.3.31口	指定管理委託料(千円)	23,000

事業番号	B15	事務事業名	水泳プール管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	水泳や水中ウォーキング等を通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	--

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	水泳等のための施設の提供および維持管理等の運営委託を行い、市民の健康増進と市民サービスの向上と施設の適正管理に努めた。 また、天井修繕や排水バルブ取替、温水ヒーターポンプ修繕など、施設使用に支障が出た緊急的な修繕を行った。なお、天井修繕により、1カ月間屋内プールが使用できなかったことによる休業補償を指定管理者に支払った。 年間利用者数:44,301人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	2	1	管理委託費	25,257
	② 一般会計	10	6	6	2	2	維持補修費	11,739
	③ 一般会計	10	6	6	91	6	水泳プール整備費(繰越明許費)	17,710
	関連決算額合計							54,706

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	14	△	1	×	0	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	65,000人		=	68	老朽化が激しく、建替えを計画している施設であるが、自主事業等で利用者増に向けていく。		
		実績	44,301人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 利用者を対象とした自主事業を積極的に行うなどして利用者数の増加に繋がる努力をしている。 また、施設管理についても、定期的な点検を行い、職員、スタッフが自分たちができることは自分たちですという取り組む姿勢は利用者から好評を得ている。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							
	屋内プール整備について、令和5年度から行ってきた官民連携事業検討において、サウンディング調査の結果を踏まえ、市民の健康増進や賑わいの創出を図ることができるよう加賀温泉駅南側へ建設することとし、公募型プロポーザル方式により新プールを整備することとした。 令和7年度に工事施工を行い、令和8年度春にオープン予定である。							

施設名	橋立自然公園運動広場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	4,300

事業番号	B17	事務事業名	橋立自然公園運動広場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に務める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年サッカーの試合や練習および地元グラウンドゴルフ愛好者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。 また、かが健康グリーンパークでのグラウンドゴルフの通年利用と橋立自然公園運動広場でのグラウンドゴルフの通年利用の料金が同一となるための条例改正を行った。 年間利用者数:12,526人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	4,300
	②							
	③							
	関連決算額合計							4,300

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	10,000人		=	125	グラウンドゴルフとサッカー関係者が相互に調整し、うまく活用に繋がっている。		
		実績	12,526人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービスの向上にも積極的に取り組んでおり、利用促進に努めている。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、芝生の良好な状態の保持に努めるよう、指定管理者に依頼していく。							

施設名	黒崎多目的広場		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	2,610

事業番号	B18	事務事業名	黒崎多目的広場管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	少年サッカーやグラウンドゴルフなど、青少年から高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に務める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	少年サッカーやグラウンドゴルフ利用者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。 年間利用者数:4,633人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	18	1	管理委託費	2,610
	②							
	③							
	関連決算額合計							2,610

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)						内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	4,000人		＝	116	更なる施設の有効活用を検討し、利用者増に繋げていく。		
		実績	4,633人			(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
		目標			＝				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。 また、芝生の良好な状態の保持に努めるよう、指定管理者に依頼していく。							

施設名	加賀市セミナーハウスあいりす						
(指定)管理者	Paradies・のと楽・仁志会グループ						
指定期間	R3.4.1～R8.3.31			指定管理委託料(千円)	9,244		

事業番号	C01	事務事業名	セミナーハウスあいりす管理			
所管部局	教育委員会事務局	所管課	生涯学習課	グループ	生涯学習グループ	

施設
の
設
置
目
的

住民交流及び生涯学習活動の場を提供し、もって市民福祉の増進に資するため設置している。

実
施
状
況

令和6年度の管理運営状況

令和6年1月1日に発生した能登半島地震に伴い、被災者の受入を積極的に行った結果、前年度より宿泊者数、貸館利用者数は増加した。利用件数は、被災者受入を優先したこと、また、余震等の影響により、研修・宿泊ともに減少となった。

		R5年度		R6年度	
○利用状況	研修施設	639件	9,328人	548件	9,997人
	宿泊施設	102件	2,181人	99件	2,416人

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	3	1	管理委託費	9,244
②	一般会計	10	5	3	3	2	維持補修費	3,188
③	一般会計	10	5	3	3	3	その他管理費	46
関連決算額合計								12,478

内
部
評
価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)								内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	28	△	0	×	2	可
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	30	△	0	×	0	

効果・波及効果	達成率			分析結果	
貸館利用者数	目標	16,617	=	60	目標はコロナ禍前である平成30年度実績値。クロスガーデン加賀等の競合施設の増加も影響している。
	実績	9,997		(%)	
宿泊者数	目標	4,484	=	91	目標は平成30年度実績値。1月の震災以降の被災者受入が実績を底上げしている。
	実績	4,065		(%)	
	目標		=		
	実績			(%)	

内部評価の決定理由

協定書・仕様書に基づき概ね適正な指定管理を行っているが、保守管理が行き届いていない点を確認されたため、口頭により改善指示を行った。その後、一部は改善された。一方で、改善されていない点については、早急に改善指示を行った。また、震災等が発生した際には避難所となる施設であることから、老朽化しつつある館内設備についても、長寿命化に繋がる行き届いた維持、管理を期待する。

今
後
の
方
向
性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

災害発生時の避難所や対策本部としての役割もある施設であり、研修・宿泊利用は当然のことながら、万一の災害発生時の機能にも支障をきたさないよう、施設の維持・管理を徹底するよう求めていく。

また、営業面においても、企業、団体、学校(大学、高校、中学)に対し、施設利用を促す活動を積極的に展開するとともに、魅力ある自主事業の企画・運営を行い、利用者数の増加を図るよう働きかけていく。

施設名	加賀市文化会館		
(指定)管理者	加賀市総合サービス株式会社		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	35,386

事業番号	C02	事務事業名	加賀市文化会館管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	文化課	グループ 文化推進グループ

施設 の 設 置 目 的	集会その他の各種行事に使用することで、市民の福祉の増進に資するとともに、市民の文化の振興および教養の向上を図る。
-----------------------------	--

実施 状 況	令和6年度の管理運営状況
	令和6年度から株式会社コーワに代わり、加賀市総合サービス株式会社が指定管理者として運営している。自主事業では、落語公演やオーケストラ・アンサンブル金沢の公演を行ったほか、喫茶コーナーを実施した。貸館件数や利用人数は令和5年度と比較して増加傾向にある。

実施状況

令和6年度決算								
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	4	1	管理委託費	35,386
②	一般会計	10	5	3	4	2	維持補修費	2,101
③	一般会計	10	5	3	4	5	その他管理費	145
④	一般会計	10	5	3	14	2	文化会館整備事業費	28,468
関連決算額合計								66,100

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)						内部評価 (優/良/可/不可)	
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	29	△	1	×	良
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	28	△	2	×	
	効果・波及効果		達成率				分析結果	
	貸館利用者数	目標	65,200		=	66.6	前年度比で約1割増加し、目標達成率は7割に近い。	
		実績	43,426			(%)		
	利用料収入(円)	目標	14,214,000		=	94.9	目標達成まであとわずかである。	
		実績	13,492,000			(%)		
		目標			=			
		実績				(%)		
内部評価の決定理由		協定書、仕様書に基づき、管理運営、維持管理は適正に行われている。目新しい新規事業が見られない中でも貸館利用者は増加したことから、従来とは違う趣向の自主事業の開催やイベント誘致を行っていけば、さらなる稼働率の向上が期待できる。						

今後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)
	新たな自主事業を実施して市民の文化振興に努めるとともに、営業活動を積極的に行い、集客効果のあるイベント等を誘致し、利用者数の増加を目指していく。 建物や設備が老朽化していることから、長寿命化を図るため、計画的に施設の維持管理を行っていく。

施設名	中央図書館						
(指定)管理者	加賀市						
指定期間				指定管理委託料(千円)			

事業番号	G03	事務事業名	中央図書館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	中央図書館	

施設
の
設
置
目
的

市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。

実
施
状
況

令和6年度の管理運営状況

令和6年4月1日から株式会社図書館流通センターに窓口等業務の一部を委託し、民間のノウハウを取り込んだ図書館サービスを行った。資料の収集や資料に関する相談のほか、令和5年3月策定の加賀市市民読書活動推進基本計画に基づき、「市民の読書の日」や「読書活動推進月間」を中心に、子どもや大人を対象とした各種講座を開催した。加えて、保育園を訪問しての読み聞かせや小学校児童の校外学習の受入れなど、読書活動を促すための事業を行った。

施設・設備の整備については、能登半島地震の影響による冷温水管給水管漏水修繕工事、書架修繕などを行った。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	8,393
②	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	3,710
③	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	325
④	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	4,024
関連決算額合計								16,452

内
部
評
価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○		△		×	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○		△		×	
効果・波及効果		達成率				分析結果	
来館者数	目標	(R5) 131,842人		=	104 (%)	R5に比べて5,439人増加した。定期的なおはなし会の開催や各種事業を行った効果があつたといえる。	
	実績	(R6) 137,281人					
	目標			=	(%)		
	実績						
	目標			=	(%)		
	実績						
内部評価の決定理由		資料及び情報の提供やレファレンス(相談対応)、祝日開館するなどサービスの向上に努めたことで、入館者は増加した。 読書活動を促す事業を継続実施しており、内容の充実が図られている。 施設管理面では、不具合に対応して適切に修繕を行っている。					

今
後
の
方
向
性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

令和6年度から窓口等業務の一部を民間事業者へ委託し、市の常勤職員は、より専門性の高い業務や地域のニーズへの対応等を中心に行っていく。民間ならではの発想やノウハウを取り入れた事業やスタッフ研修等を行うことで、サービスを向上させ、さらなる利用促進や読書活動の推進を目指す。

築30年以上経過していることから、施設の長寿命化を図るための大規模改修を視野に入れ、財源を確保することが課題。

施設名	山中図書館						
(指定)管理者	加賀市						
指定期間				指定管理委託料(千円)			

事業番号	G04	事務事業名	山中図書館管理			
所管部局	教育委員会	所管課	生涯学習課	グループ	山中図書館	

施設
の
設
置
目
的

市民の教養、調査研究、レクリエーション等のため、図書、記録、その他必要な資料を収集、整理、保存して市民の利用に供する。また、市民の社会教育における学習活動の支援や学校教育の援助、家庭教育の向上に努める。

実
施
状
況

令和6年度の管理運営状況

令和6年4月1日から株式会社図書館流通センターに窓口等業務の一部を委託し、民間のノウハウを取り込んだ図書館サービスを行った。資料の収集や資料に関する相談のほか、令和5年3月策定の加賀市市民読書活動推進基本計画に基づき、「市民の読書の日」や「読書活動推進月間」を中心に、子どもや大人を対象とした各種講座を開催した。加えて、保育園を訪問しての読み聞かせや小学校児童の校外学習の受入れなど、読書活動を促すための事業を行った。
施設・設備の整備については、事務室照明器具修繕工事を行った。

令和6年度決算

	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
①	一般会計	10	5	3	1	3	光熱水費	2,747
②	一般会計	10	5	3	1	4	管理委託費	2,540
③	一般会計	10	5	3	1	5	その他管理費	145
④	一般会計	10	5	3	1	6	維持補修費	31
関連決算額合計								5,463

内
部
評
価

モニタリング結果 (指定管理施設のみ)							内部評価 (優/良/可/不可)
維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○		△		×	良
利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○		△		×	
効果・波及効果		達成率				分析結果	
来館者数	目標	(R5) 21,649人		=	144 (%)	R5に比べて9,668人増加した。定期的なおはなし会の再開や各種事業を行った効果があったといえる。	
	実績	(R6) 31,317人					
	目標			=	(%)		
	実績						
	目標			=	(%)		
	実績						
内部評価の決定理由		中央図書館と休館日をずらし、祝日は開館するなどして読書の機会を確保した。また、利用者の求めに応じて資料や情報の提供、レファレンス(資料相談)等を行った。読書活動を促す事業を実施し、入館者が大幅に増加した。 施設管理面では、不具合に応じて適切に修繕を行っている。					

今
後
の
方
向
性

次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)

令和6年度から窓口等業務の一部を民間事業者へ委託し、読書活動を促す事業や予算及び施設の管理等を市の常勤職員も含めて中央図書館に集約し、効率的な運営を引き続き図っていく。民間事業者ならではの発想やノウハウ等を取り入れることで、サービスは維持していく。

能登半島地震によって山中温泉文化会館、山中児童センターが閉館したため、山中図書館の一部を山中温泉地区まちづくり推進協議会に場所提供しているが、今後は、図書館機能の面での中央図書館との統合の可能性も見据え、市全体の公共施設マネジメントの中でどのように有効活用していくかが課題。

施設名	かが健康グリーンパーク		
(指定)管理者	特定非営利活動法人加賀市スポーツ振興事業団		
指定期間	R6.4.1～R11.3.31	指定管理委託料(千円)	26,470

事業番号	G08	事務事業名	かが健康グリーンパーク管理	
所管部局	教育委員会事務局	所管課	スポーツ課	グループ スポーツ推進グループ

施設 の 設 置 目 的	パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフなど、子どもから高齢者までを対象としたスポーツを通じて市民の健康増進と市民サービスの向上に努める。
-----------------------------	---

実 施 状 況	令和6年度の管理運営状況							
	パークゴルフやグラウンドゴルフ、マレットゴルフ利用者のための施設の提供と維持管理等の運営委託を行い、スポーツによる市民の健康増進や市民サービスの向上に努めた。 また、常時意見箱を設置し、利用者の要望等に応じるための改修・改善を行うなど、利用者の利便性向上を図っている。 また、コース案内看板の改修工事を行った。 年間利用者数:17,816人							
	令和6年度決算							
	会計	款	項	目	細目	細々	細々目名	決算額(千円)
	① 一般会計	10	6	6	21	1	管理委託費	26,470
	② 一般会計	10	6	6	20	12	かが健康グリーンパーク整備費	299
	③							
関連決算額合計								26,769

内部評価	モニタリング結果 (指定管理施設のみ)						内部評価 (優/良/可/不可)		
	維持管理 (適正な施設の維持管理・運営がなされたか)		○	15	△	0	×	0	優
	利用促進 (施設の効用を最大限活用し、施設の設置目的に沿った成果及びサービスの向上に努めたか)		○	15	△	0	×	0	
	効果・波及効果		達成率				分析結果		
	利用者数	目標	25,000人		=	71	企業やまちづくり団体等への大会の誘致など利用者増に繋げていく。		
		実績	17,816人			(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
		目標			=				
		実績				(%)			
内部評価の決定理由		協定書・仕様書に基づき概ね適正な施設管理を行っている。 また、利用者に対するサービス向上にも積極的に取り組んでいるが、更なる利用促進に努めていく必要がある。							

今 後 の 方 向 性	次年度以降における課題、今後の具体的な方針等(内部評価を踏まえ)							
	市民利用者の要望やニーズの変化に応じ、市民に対する更なるサービスの向上に向け努力するよう指定管理者に対して管理指導を実施していく。							

■ 教育委員会の会議開催状況

開催数 16 回
議案 40 件
報告 61 件

開 催 日	審 議 内 容
令和 6 年第 4 回 定例会 (R6.4.24)	議案第17号 加賀市教育委員会が所管する公の施設の管理に係る規定の整備に関する規則（案）について 議案第18号 加賀依緑園管理運営規則（案）について 議案第19号 山中温泉芭蕉の館管理運営規則（案）について 議案第20号 加賀市いじめ等生徒指導連絡協議会委員の解嘱及び委嘱について 議案第21号 加賀市教育支援委員の解嘱及び委嘱について 議案第22号 加賀市立学校における学校運営協議会員の解嘱及び委嘱等について 議案第23号 加賀市教育総合支援センター運営検討委員の委嘱等について 議案第24号 加賀市社会教育委員の委嘱について 議案第25号 加賀市家庭教育推進会議委員の解任及び選任について 議案第26号 加賀市スポーツ推進委員の委嘱について 議案第27号 加賀市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 議案第28号 令和 6 年度加賀市教科書採択の基本方針（案）について
	報告第13号 不登校支援プランについて 報告第14号 令和 6 年度学校訪問の実施について 報告第15号 令和 6 年加賀市成人式の開催結果について 報告第16号 加賀市公民館連合会役員について 報告第17号 石川県九谷焼美術館の館長の委嘱について 報告第18号 九谷赤絵全国巡回展（東京展）の開催について 報告第19号 加賀市・台南市友好都市交流記念第21回九谷焼絵皿イラストコンクール作品募集について 報告第20号 「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2024」の開催について
令和 6 年第 2 回 臨時会 (R6.5.1) (※非公開審議)	議案第29号 令和 6 年度中学校教科用図書の選定について（非公開）
令和 6 年第 5 回 定例会 (R6.5.28)	議案第30号 加賀市教育委員会職員の職の設置に関する規則の一部を改正する規則（案）について 議案第31号 令和 6 年度 6 月補正予算（案）について（非公開）
	報告第21号 橋立小中学校の義務教育学校への移行について

令和 6 年第 6 回 定例会 (R6.6.28)	報告第22号 令和 6 年 6 月加賀市議会定例会の答弁について 報告第23号 加賀市小中学校教職員夏季全体研修会の開催について 報告第24号 山月記・名人伝学校公演開催事業について 報告第25号 九谷赤絵全国巡回展【東京展】の開催結果について 報告第26号 加賀市中央公園屋内プール再整備に向けたニーズ調査の結果について
令和 6 年第 7 回 定例会 (R6.7.30)	報告第27号 地域クラブの登録状況について 報告第28号 市内小学校におけるフッ化物洗口の開始について 報告第29号 令和 6 年度運動会・体育祭の開催日について 報告第30号 令和 6 年度加賀市グッドマナーキャンペーンについて 報告第31号 第21回九谷焼絵皿イラストコンクール 審査結果について 報告第32号 「加賀温泉郷ウオーク」大会開催概要について 報告第33号 第76回石川県民スポーツ大会夏季大会の中止について
令和 6 年第 3 回 臨時会 (R6.8.22)	議案第35号 加賀市立中学校教科用図書の採択について（一部非公開）
令和 6 年第 8 回 定例会 (R6.8.22)	議案第36号 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について 議案第37号 令和 6 年度 9 月補正予算（案）について（非公開） 議案第38号 橋立小中学校義務教育学校について 報告第34号 令和 6 年 8 月加賀市中学生議会について 報告第35号 令和 6 年度加賀市教育総合支援センター業務評価計画書について 報告第36号 市民文化講演会の開催について 報告第37号 加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2024の参加申込状況について
令和 6 年第 9 回 定例会 (R6.9.26)	議案第39号 江沼神社庭園（旧大聖寺藩邸庭園）保存活用計画（案）について 報告第38号 令和 6 年 9 月加賀市議会定例会の答弁について 報告第39号 不登校事業の目標値と実現に向けた取り組みについて 報告第40号 台湾国立嘉義大学附属実験国民小学校交流事業について 報告第41号 2024 KAGA Education PLAYER'S Dayについて 報告第42号 「すゑひろがりずと楽しむ狂言の世界」公演について 報告第43号 加賀市屋内プール整備基本計画について 報告第44号 「加賀温泉郷寛平ナイトマラソン 2024」の開催結果について 報告第45号 任期満了に伴う教育委員会委員の任命について
令和 6 年第 4 回 臨時会（書面表決） (R6.10.4)	議案第40号 加賀市いじめの防止等対策委員会臨時委員の委嘱について

令和6年第10回 定例会 (R6.10.15)	報告第46号 教育情報セキュリティポリシーの策定について 報告第47号 KAGA STEAM Presentation 2024について 報告第48号 令和6年度加賀市グッドマナーキャンペーン実施報告について 報告第49号 第35回北前船寄港地フォーラム in 加賀・福井及び第6回地域連携研究所大会の開催について 報告第50号 加賀温泉郷ウオーク2024について
令和6年第11回 定例会 (R6.11.27)	議案第41号 令和6年度12月補正予算要求(案)について(非公開) 議案第42号 九谷磁器窯跡環境整備委員会の委員改選について 議案第43号 加賀市伝統的建造物群保存地区計画変更の告示について 報告第51号 令和6年度卒業式 教育委員会等出席割(案)について 報告第52号 令和7年度入学式 教育委員会等出席割(案)について 報告第53号 令和6年度市民文化講演会結果報告について 報告第54号 (仮称)九谷フォーラムの開催について 報告第55号 加賀温泉郷ウオーク2024の開催結果について
令和6年第12回 定例会 (R6.12.20)	報告第56号 令和6年12月加賀市議会定例会の答弁について 報告第57号 令和6年度12月補正予算(追加分)について 報告第58号 令和7年加賀市成人式の開催について 報告第59号 中谷宇吉郎雪の科学館 災害復旧工事に伴う休館について 報告第60号 (仮称)新加賀市屋内プール整備事業に係る事業者選定委員会の結果について
令和7年第1回 定例会 (R7.1.22)	報告第1号 令和6年度小・中学校卒業式の日程について 報告第2号 STEAM Presentation の報告について 報告第3号 橋立海青学園の進捗状況について 報告第4号 BE THE PLAYER FESについて 報告第5号 海の民話について
令和7年第2回 定例会 (R7.2.20)	議案第1号 令和6年度3月補正予算(案)について(非公開) 議案第2号 令和7年度当初予算(案)について(非公開) 報告第6号 教育情報セキュリティポリシーの策定・発効について 報告第7号 加賀温泉郷ウオーク2025募集開始について 報告第8号 小・中学校入学式の日程について

令和7年第3回 定例会 (R7.3.19)	議案第3号	加賀市公立学校管理規則の一部を改正する規則について
	議案第4号	加賀市立学校通学区域規則の一部を改正する規則について
	議案第5号	加賀市教育委員会公印規則の一部を改正する規則について
	議案第6号	加賀市立小学校、中学校及び幼稚園の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例施行規則の一部を規制する規則について
	議案第7号	加賀市立学校における学校運営協議会に関する規則の一部を改正する規則について
	議案第8号	山中学校給食センター管理運営規則の一部を改正する規則について
	議案第9号	加賀市立図書館管理運営規則の一部を改正する規則について
	議案第10号	小・中学校および義務教育学の学校医等の解嘱及び委嘱について
	議案第11号	加賀市いじめの防止等対策委員会委員の委嘱について
	議案第12号	加賀市地区公民館の館長の任命について
	議案第13号	加賀市地域学校協働活動推進員の委嘱について
	議案第14号	加賀市能のまち推進協議会委員等の委嘱について
	議案第15号	令和7年度県費負担教職員の人事異動について（管理職）（非公開）
	報告第9号	3月定例会の答弁について
	報告第10号	令和7年度 学校閉庁日について
令和7年第1回 臨時会 （書面表決） (R7.3.24)	報告第11号	新給食センター整備提案書の受領について
	報告第12号	能登半島地震復興支援 車いすラグビーチャリティーマッチ in 石川・加賀市 の開催について
	報告第13号	加賀市の教育改革「学校教育ビジョン」の取り組みのご報告について
	議案第16号	令和7年度教育委員会事務局職員の人事異動について （課長級以上）

■教育委員会の主な活動

4月7日	令和6年成人式
4月8日	小・中学校入学式
4月18日	石川縣市町教育委員会教育長会議
4月18日	第1回石川縣市町教育委員会連合会理事会
4月18日	第3回県立夜間中学開設連携会議
4月20日	市民スポーツ大会総合開会式
4月24日	第4回教育委員会定例会
4月25日	第1回加賀市スポーツ推進委員会全体会議
5月1日	第2回教育委員会臨時会
5月7日	全国ICT教育首長協議会幹事会（zoom）
5月12日	市民体力測定会
5月16日	第1回いじめの防止等対策委員会
5月20日	加南地区教育委員会連絡協議会第1回教育長会議
5月26日	加賀市教育支援委員会
5月27日	石川県へき地教育振興会理事会
5月28日	第5回教育委員会定例会
5月31日	第1回社会教育委員会議
6月13日	教育総合支援センター運営委員会
6月24日	第1回加賀市スポーツ推進審議会
6月28日	第6回教育委員会定例会
7月3日	第25回伝統的建造物群保存地区保存審議会
7月8日	第2回いじめの防止等対策委員会
7月9日	「山月記・名人伝」学校公演
7月11日	第1回加賀市部活動地域移行推進委員会
7月18日	第1回加賀市通学路交通安全推進協議会
7月19日	第2回石川縣市町教育委員会連合会理事会
7月19日	第4回県立夜間中学開設連携会議
7月19日	加賀市中学生意見発表会
7月19日	全国高等学校総合体育大会等出場選手壮行会
7月22日	ふるさと探検隊長称号授与式
7月22日	第1回加賀温泉郷ウオーク実行委員会
7月26日	いじめ等生徒指導連絡協議会
7月26日	石川県社会教育委員研究協議会
7月30日	第7回教育委員会定例会
7月31日	北前船日本遺産推進協議会総会（書面議決）
8月2日	加賀市教職員夏季全体研修会
8月2日	加賀市生徒指導連絡協議会
8月3日	石川県民スポーツ大会夏季大会（～8月4日）（中止）
8月9日	第7回能のまち推進協議会
8月19日	第2回 石川県へき地教育振興会理事会
8月21日	第3回いじめの防止等対策委員会
8月22日	第8回教育委員会定例会、第3回教育委員会臨時会
8月26日	第37回全国北前船セミナー
8月29日	第36回加賀市児童生徒俳句表彰式
8月29日	第2回加賀温泉郷ウオーク実行委員会
8月30日	第2回加賀市スポーツ推進委員会全体会議
9月2日～ 9月6日	グッドマナーキャンペーン強調週間
9月2日・3日	ふれあいあいさつday
9月7日	加賀温泉郷寛平ナイトマラソン2024
9月14日	コンピュータクラブハウス十万石まつり出店
9月23日	第21回九谷焼絵皿コンクール展表彰式
9月25日	第2回加賀市通学路交通安全推進協議会
9月26日	第9回教育委員会定例会
9月30日	能楽教室ミニ発表会
10月1日	国民スポーツ大会等加賀市出場選手・監督壮行会

10月4日	第3回教育委員会臨時会
10月8日	芭蕉祭山中温泉全国俳句大会
10月10日	第2回加賀市スポーツ推進審議会
10月10日～ 10月11日	東海北陸社会教育研究大会 富山大会
10月15日	第10回教育委員会定例会
10月18日	2024 Kaga Education PLAYER's Day
10月20日	加南地区スポーツ推進委員研修会
10月25日	加賀市「学力向上研究校指定事業」研究発表会（庄小学校）
10月27日	市民文化講演会（茂木健一郎氏）
10月31日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（作見小学校）
11月1日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（湖北小学校）
11月2日	「すゑひろがりずと楽しむ狂言の世界」公演
11月3日	出張コンピュータクラブハウス（山代地区子ども会）
11月4日	加賀温泉郷ウオーク2024
11月5日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（錦城小学校）
11月6日	第4回いじめの防止等対策委員会
11月6日	第2回加賀市部活動地域移行推進委員会
11月10日	市民山登り（富士写ヶ岳）
11月12日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（錦城東小学校）
11月12日	加南地区教育委員会連絡協議会研究大会
11月14日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（金明小学校）
11月15日	第3回石川縣市町教育委員会連合会理事会
11月15日	第5回県立夜間中学開設連携会議
11月15日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（山中小学校）
11月16日～ 11月17日	ロボレーブ大会
11月20日	第26回伝統的建造物群保存地区保存審議会
11月21日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（南郷小学校）
11月23日	加賀市教育支援委員会
11月23日	KAGA LIB FESTA2024
11月27日	第11回教育委員会定例会
11月28日	第5回いじめの防止等対策委員会
12月1日	レクリエーションスポーツ大会
12月2日	第31回加賀市九谷磁器窯跡整備委員会
12月3日	本川弘一科学奨励賞表彰式
12月4日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（動橋小学校）
12月4日	家庭教育支援事業「親子ふれあい体験」（河南小学校）
12月6日	加賀市「学力向上研究校指定事業」研究発表会（山中中学校）
12月8日	石川県スポーツ推進委員研修会
12月9日	石川県指定事業「令和の日本型学校教育の具現化に向けた実証研究」研究発表会（山代中学校）
12月14日	Kaga STEAM Presentation
12月16日	加南地区教育委員会連絡協議会第2回教育長会議
12月20日	第12回教育委員会定例会
12月22日	市民フォーラム2024「九谷磁器窯跡を考える」
12月26日	第6回いじめの防止等対策委員会
1月15日	第7回いじめの防止等対策委員会
1月22日	第1回教育委員会定例会
1月24日	加賀市「学力向上研究校指定事業」研究発表会（東和中学校）
1月24日	第3回加賀温泉郷ウオーク実行委員会
1月31日	第8回能のまち推進協議会
2月13日	文化振興審議会
2月20日	第2回教育委員会定例会
2月22日	石川県民スポーツ大会冬季大会（～2月23日）
2月25日	中谷宇吉郎科学奨励賞表彰式
2月25日	文化財保護審議会
2月26日	北前船関係者交流会議（WEB開催）

2月26日	第1回加賀温泉郷寛平ナイトマラソン実行委員会
3月3日	三森良次郎奨学金選考会
3月14日	ふるさと探検大使称号授与式
3月14日	中学校卒業式
3月18日	小学校卒業式
3月18日	第2回社会教育委員会議
3月19日	第3回教育委員会定例会
3月19日	第8回いじめの防止等対策委員会
3月19日	第3回部活動地域移行推進委員会
3月20日	BE THE PLAYER FES
3月21日	加南地区教育委員会連絡協議会第3回教育長会議
3月24日	第1回教育委員会臨時会（書面開催）
3月25日	第3回加賀市スポーツ推進委員会全体会議